

ARCHI
T R E N D



リフォームエディション

リフォーム入門編

はじめに

アーキトレンド セット

本書は、これから ARCHITREND Z リフォームエディションを習得される方を対象に、プログラムの起動方法、画面まわりの機能、基本操作と、内装リフォームを例にリフォームプランの作成から印刷までの基本的な流れを解説したマニュアルです。

リフォームエディションには、以下のマニュアルが用意されています。

■ リフォーム入門編	製本版／PDF 版（完成データあり）
■ 水廻りのリフォーム編	PDF 版（完成データあり）
■ 外装リフォーム編	PDF 版（完成データあり）
■ 耐震補強編	PDF 版（完成データあり）
■ リフォーム見積編	PDF 版
■ リフォーム応用編	PDF 版（完成データあり）
■ リフォーム現況調査	PDF 版

※ マニュアルおよび完成データは、リフォームエディションのプログラム DVD に収録されています。詳しくはセットアップ画面の [マニュアル] ボタンから Manual フォルダを開いて、「はじめにお読みください.txt」をご覧ください。

表記について

本書では [] と 「 」 を以下の基準で使い分けています。

[] で括った語句：メニュー名、コマンド名、ダイアログボックス（本書ではダイアログと略します）の名前、ダイアログなどに表示される項目名などを示しています。

「 」 で括った語句：操作中に設定すべき値や選択すべき値、強調したい言葉などを示しています。

● バックアップについて

お客様が作られたデータはお客様にとって大切な財産です。万が一の不慮の事故による被害を最小限にとどめるために、お客様御自身の管理・責任において、データは必ず定期的に別の媒体（HDD、CD、DVD など）に保存してください。また、いかなる事由におきましても、データの破損により生じたお客様の損害は、弊社では補償いたしかねますのでご了承ください。

- 本書の画面は開発中のプログラムを使用しているため、実際に表示される画面とは内容が異なる場合があります。
- 本書で使用している団体名、個人名は、すべて架空のものです。実在する名称とは一切関係ありません。
- 本書の内容に関しては、将来予告なく変更される場合がありますのでご了承ください。

目次

1 基本操作	3	2 リフォームプランの作成	25
1-1 プログラムの構成	3	作成するプラン	25
1-2 プログラムを起動しよう	4	2-1 新しい物件を開く	26
マネージャーを起動する	4	新しい物件を作成する	26
リフォームエディションを起動する	4	物件情報を設定する	26
1-3 画面まわりを確認しよう	5	2-2 現況図の入力	28
[補足] フローティングバーの機能一覧	6	部屋を入力する	28
1-4 データを入力してみよう	7	建具を入力する	28
矩形の部屋を入力する	7	設備機器を入力する	30
多角形の部屋を入力する	8	立体を確認する	32
建具を入力する	9	建具の高さを変更する	33
1-5 画面を拡大・縮小するには	10	データを保存する	33
両ボタンドラッグによる画面操作	10	2-3 計画図データの作成	34
その他の方法	11	計画図を開く	34
1-6 データを選択するには	12	2-4 内装の変更	35
「要素範囲」で選択する	12	設備機器を入力する	35
複数選択状態から目的の部材を選ぶ	12	立体を確認する	36
属性種別毎に選択する	13	内壁仕上を変更する	37
1-7 データを編集してみよう	14	パースから素材を変更する	38
プロパティを変更する	14	変更前と比較する	39
データを削除する	15	図面化処理を実行する	39
トラッカーを使う	16	データを保存する	39
寸法エディットを使う	17	2-5 パースの作成	40
スポイトを使う	18	視点を設定する	40
1-8 立体を確認しよう	19	カメラを登録する	40
パースモニタを開く	19	カメラの名称を変更する	40
立体での画面操作	19	背景・光源を設定する	41
視点コントローラを使う	20	作成イメージを確認する	41
視点モニタを使う	20	太陽の方向を変更する	41
図面から視点を設定する	21	[補足] 品質レベルと環境光の設定	42
[補足] パース用フローティングバー の機能一覧	21	画像を作成する	43
1-9 物件変更とプログラムの終了	22	画像を保存する	43
データを保存する	22	画像を印刷する	44
リフォームエディションを終了する	22	パースモニタデータを保存する	44
1-10 【練習問題】 やってみよう	23	2-6 展開図の作成	45
新しい物件を作ろう	23	展開図を自動作成する	45
練習問題①：入力してみよう	23	他の面を作成する	46
練習問題②：編集してみよう	23	仕上仕様を入力する	46
解説①：入力してみよう	24	寸法を入力する	47
解説②：編集してみよう	24	データを保存する	48
		[補足] 図面名を変更するには	48

2-7 図面の印刷	49
図枠を配置する	49
図面を配置する	50
パースを配置する	51
マークを配置する	52
データを保存する	52
図面を印刷する	53
[補足] 図面のプロパティ	54
[補足] 図面の整列	55

【付録①】 計画図 2 の作成 _____ 57

【付録②】 内法からの入力 _____ 59

3 ARCHITREND Manager _____ 63

3-1 マネージャーの画面まわりを確認しよう	63
3-2 お客様・工事を登録するには	64
新しいお客様を登録する	64
工事を追加する	64
データフォルダを追加する	65
3-3 物件をバックアップ・リストアするには	66
A 物件圧縮ファイル (forz) に	
エクスポートする場合	66
物件データをエクスポートする	66
物件データを取り込む	67
B お客様データをエクスポートする場合	68
お客様データを書き出す	68
複数のお客様データを書き出す	68
お客様データを取り込む	69
C データフォルダ全体をバックアップする場合	70
データフォルダをバックアップする	70
データフォルダをリストアする	70
3-4 マスタをバックアップ・リストアするには	71
マスタを一括バックアップする	71

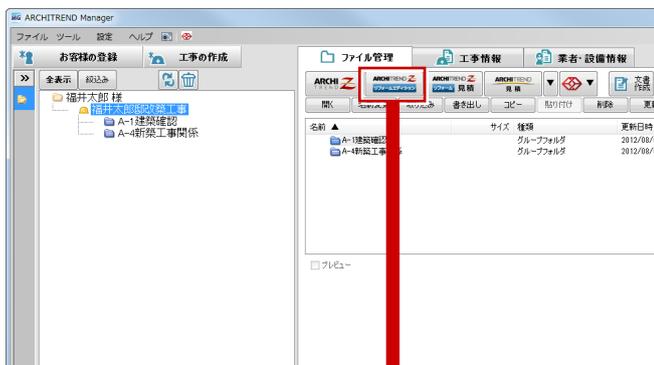
1

基本操作

この章では、プログラムの起動方法、画面操作、データの入力、編集方法といった ARCHITREND Z リフォームエディションの基本的な操作を解説します。

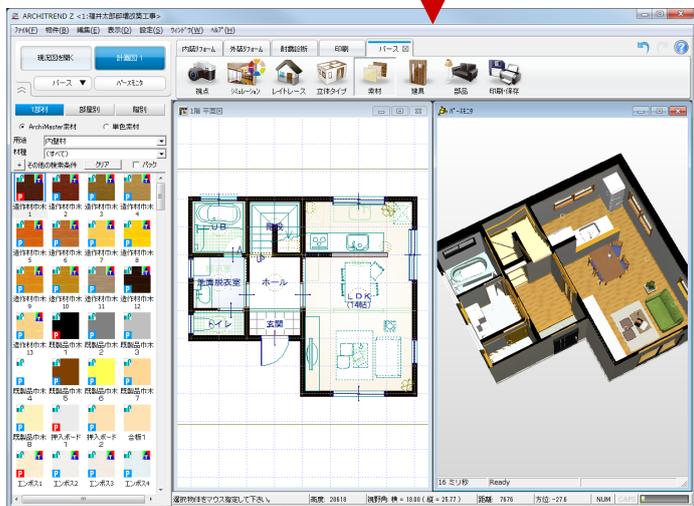
1-1 プログラムの構成

ARCHITREND Z リフォームエディションは、次のプログラムで構成されています。



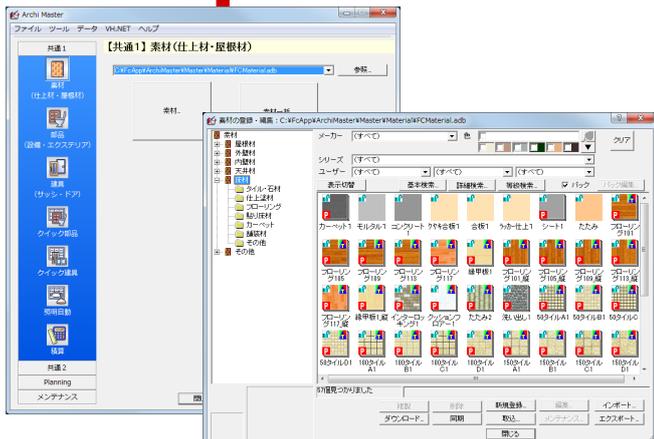
● ARCHITREND Manager (マネージャー)

弊社建築 CAD 全般で共通で使用できるファイル管理ツールです。
プランデータや書類などの各種データをお客様ごとにまとめて管理することができます。



● ARCHITREND Z (ゼット) リフォームエディション

簡単な操作で現況図・計画図を素早く作成できる3次元建築設計システムです。
リフォーム業務に完全特化し、設計図面やパースの作成、耐震診断まで幅広く対応します。



● Archi Master (アーキマスタ)

弊社建築 CAD 全般で共通で使用できる建材データベースです。
標準マスタ以外にも、国内最大規模の建材データサイト「Virtual House.NET」より実建材データをダウンロード（無料）して使用することができます。
<http://www.virtual-house.net/>

1-2 プログラムを起動しよう

マネージャーを起動する

- 1 デスクトップの「ATManager Ver8」アイコンをダブルクリックします。
- 2 [かんたんガイド] で [お客様の新規登録] をクリックします。
- 3 [お客様の登録] ダイアログで、お客様の名前や工事内容などを設定して、[登録] をクリックします。

[スタート] ボタンから起動するには
 をクリックして、[すべてのプログラム] - [FukuiComputerApplication] - [ARCHITREND Manager Ver8] をクリックします。



1
ATManager Ver8

2
ARCHITREND Manager
かんたんガイド
お客様の新規登録

※ ARCHITREND Virtual House Hearing を購入いただいている場合に表示されます。

お客様の登録

お客様No. 0001
 お客様区分 個人 法人
 お名前 【必須】 福井太郎
 フリガナ フキイトロウ

工事も作成する

工事No. 0001
 工事名称 【必須】 福井太郎邸改築工事
 工事内容 改築
 主構造 木
 建物階数
 ベントハウス 0 階
 地上 2 階
 地下 0 階

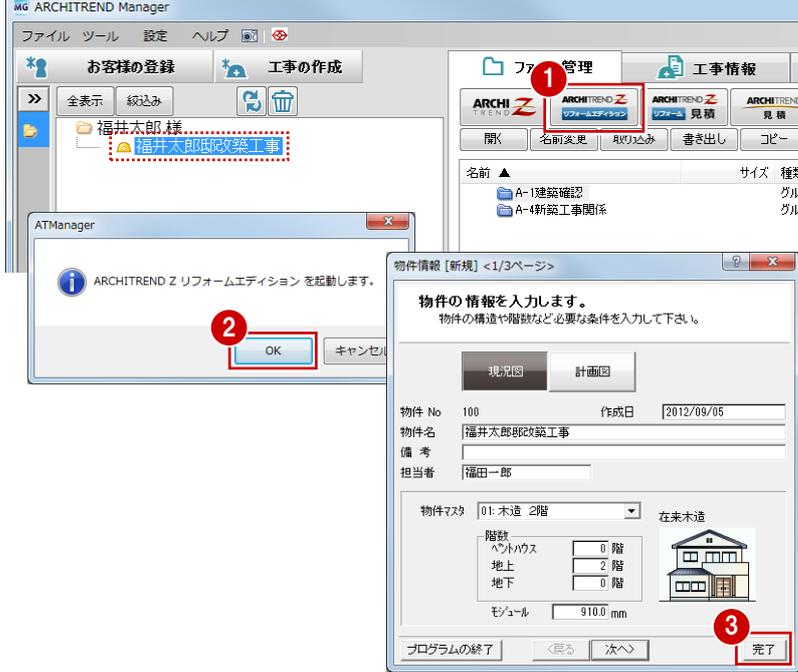
グループフォルダも作成する
 ARCHI Boxにも登録する

3
登録 キャンセル

※ 初めてマネージャーを起動したときのみ、[組織マスタの構築] ウィザードが表示されます。あとから登録する場合は [閉じる] をクリックして進んでください。

リフォームエディションを起動する

- 1 マネージャーのツリー表示部分で、登録した工事が選択されていることを確認して、[ARCHITREND Z リフォームエディション] をクリックします。
- 2 確認画面で [OK] をクリックします。
- 3 [物件情報] ダイアログで [完了] をクリックします。
 リフォームエディションが起動します。



1
ARCHITREND Z リフォームエディション

2
ARCHITREND Z リフォームエディションを起動します。
OK キャンセル

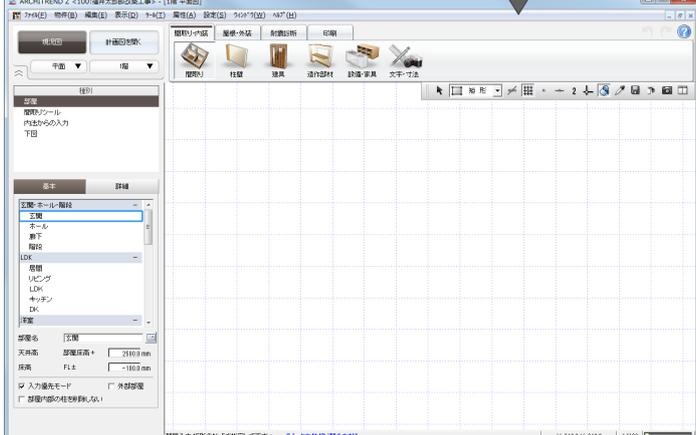
物件情報 [新規] <1/3ページ>

物件の情報を入力します。
 物件の構造や階数など必要な条件を入力して下さい。

物件 No 100 作成日 2012/09/05
 物件名 福井太郎邸改築工事
 備考
 担当者 福田一郎

物件マスタ 01: 木造 2階 在来木造
 階数
 ベントハウス 0 階
 地上 2 階
 地下 0 階
 モジュール 910.0 mm

3
完了



ARCHITREND Z <100:福井太郎邸改築工事> - [1階 平面図]

3Dモデル表示、ツールバー、設定パネル、3Dビューポート

1-3 画面まわりを確認しよう

入力画面について、各部の名称と機能を確認しましょう。

- タイトルバー**
作業中の物件および図面（ウィンドウ）の名前が表示されます。
- プルダウンメニュー**
目的別のメニューからコマンドを選択して処理を行います。
- 大コマンド（タブ）**
実行する機能を選択すると中コマンドのアイコンや図面が切り替わります。
- 中コマンド**
ここからコマンドを実行します。
- フロートティングバー**
入力中によく使われる機能がまとめられています（⇒P.6）。ドラッグして移動できます。
- ポップアップメニュー**
マウスの右クリックで表示されるメニューです。選択データに関連する機能や編集機能がまとめられています。（Shiftキー+F10キーでも表示可）
- メッセージツールチップ**
マウスをとめると、次の操作に関する説明が表示されます。
- メッセージバー**
選択した機能の名称や次の操作に関する説明が表示されます。
- グリッド**
現在の図面のグリッド間隔を表示します。クリックして変更可能です。
- スケール**
現在の図面の縮尺を表示します。
- メモリ消費量**
メモリの使用量を表示します。使用量が多くなるにつれ、バーの色が変わり、警告メッセージが表示されます。
- プロパティ**
選択している小コマンドのプロパティが表示されます。
- マウスカーソル**
CAD 領域では十字の形のカーソルが表示されます。
- 小コマンド**
選択した中コマンドに複数のサブコマンドがある場合は、ここから切り替えます。
- プロパティパネルを開閉します。**
- 図面の切り替え**
パース・展開図・立面図を開いたり、他の図面に切り替えます。選択可能な図面は現在アクティブな図面によって異なります。
- 階・面の切り替え**
図面の階や面を切り替えます。現在アクティブな図面によって表示される内容が異なります。

現況図と計画図

リフォームエディションの入力画面には、現況図のステージと計画図のステージがあります。コマンドやテーマカラーが異なりますが、基本的な操作は同じです。 ⇒ 計画図を開く操作は、P.34 参照

【現況図】

【計画図】

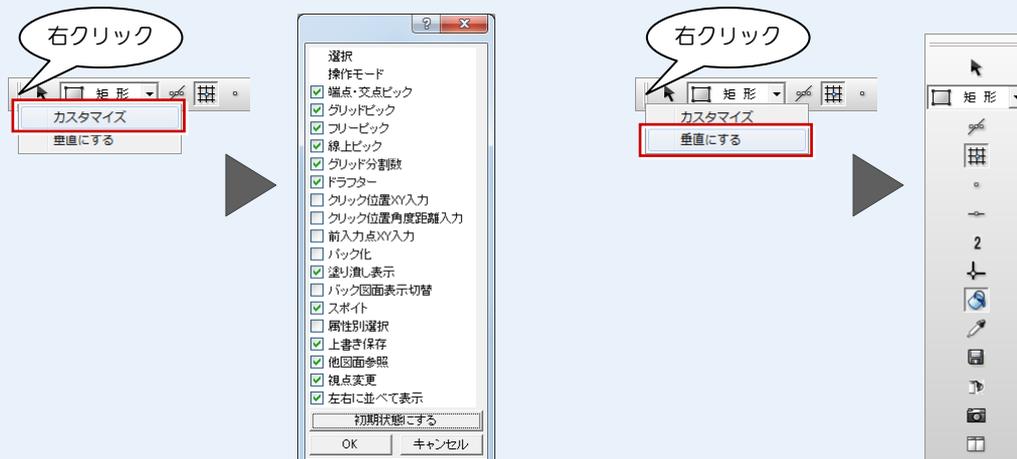
フローティングバーの機能一覧

(初期状態)

(全コマンド表示)

コマンド名	内容	参照ページ
選択	データを選択してプロパティを確認・変更します。またはデータの選択状態を解除します。	P.12
操作モード	データの入力方法や選択方法を切り替えます。	P.8, 12
端点・交点ピック	線・円弧の端点や線・円・円弧などの交点をピックします。補助点もピックできます。	P.7
グリッドピック	グリッド（マス目）やグリッド分割点をピックします。	P.7
フリーピック	CAD 領域上の任意の点をピックします。	P.7
線上ピック	線・円・円弧などの図形上の任意の点をピックします。	P.7
2	グリッド分割数 の場合に、グリッドを分割（分割数 2~10）することによって、分割された点もピックできます（N のときは分割なし）。	P.7
ドラフター	マウスの動きを水平垂直方向に固定します。スペースキーを押すことでも設定できます。	外装編 P.22
クリック位置 XY 入力	クリックした位置からの相対座標を指定して入力点を決定します。	
クリック位置 角度距離入力	クリックした位置からの距離と角度を指定して入力点を決定します。	
前入力点 XY 入力	前の入力点からの相対座標を指定して、次の入力点を決定します。	
バック化	データを要素単位で選択するか、要素を構成している個々のデータ単位で選択するかを切り替えます。	
塗り潰し表示	塗り潰しの表示/非表示を切り替えます。	
バック図面表示切替	参照データ（バック図面）として読み込む図面や表示/非表示を設定します。	P.36
スポイト	入力済みのデータから属性を取得し、同じデータを入力できる状態にします。	P.18
属性別選択	データを属性種別単位で選択します。	P.13
上書き保存	作業中のデータを上書き保存します。	P.22
他図面参照	他の図面を参照図面として別ウィンドウに表示させます。計画図では、現況図があれば現況図の同一図面が表示されます。	水廻り編 P.16
視点変更	図面上で視点位置と視点方向を指定して、パースの視点を決定します。	P.21
左右に並べて表示	作業中のウィンドウを左右に並べて表示します。	水廻り編 P.25

※ コマンドの表示/非表示を変えるには、フローティングバー上で右クリックして [カスタマイズ] を選びます。表示する項目にチェックを付けて、[OK] をクリックします。フローティングバーを垂直表示にすることも可能です。



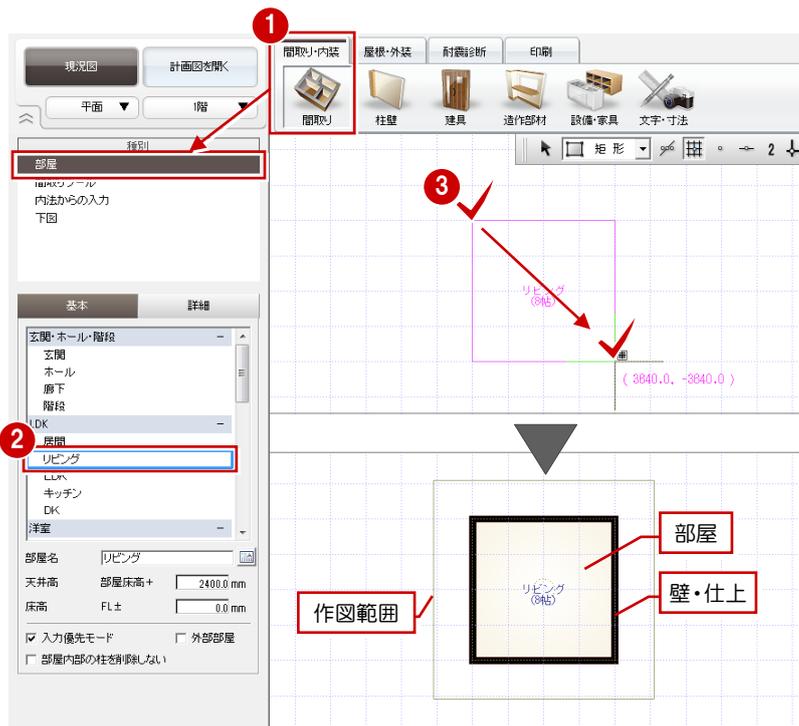
1-4 データを入力してみよう

矩形の部屋を入力する

- 1 間取りを入力する状態になっていることを確認します。
- 2 入力したい部屋（ここでは「リビング」）を選びます。
- 3 矩形の始点と対角点をクリックします。部屋と周囲の壁・仕上りが描かれて、作図範囲が設定されます。

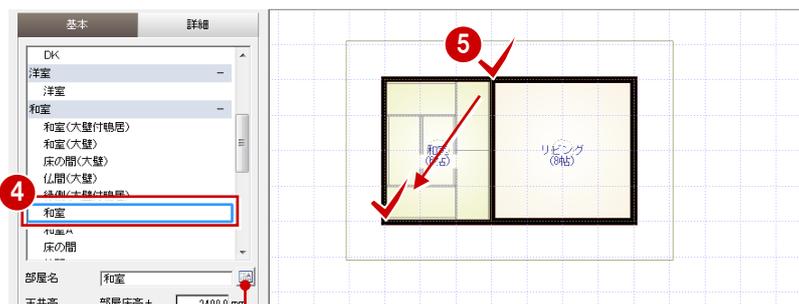
作図範囲とは

作業する範囲の目安となるものです。画面を全体表示（⇒P.11）にしたときに、この範囲が画面いっぱいに表示されます。なお、作図範囲が設定されるのは平面図 1 階のみです。



- 4 5 同様に「和室」も入力しましょう。和室の場合、畳も同時に配置されます。

⇒ 画面の拡大・縮小については、P.10 参照



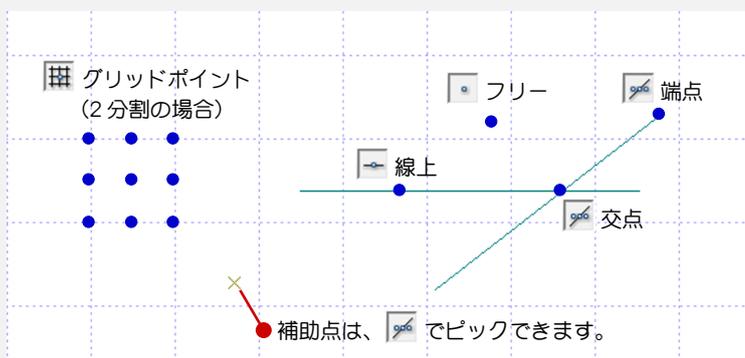
部屋名を縦書きにしたい場合は、ボタン  をクリックして ON の状態にします。

ピックモードについて

CAD 領域に点線線で表示されているマス目を「グリッド」といい、手書きで図面をかくときの方眼紙の役割をします。

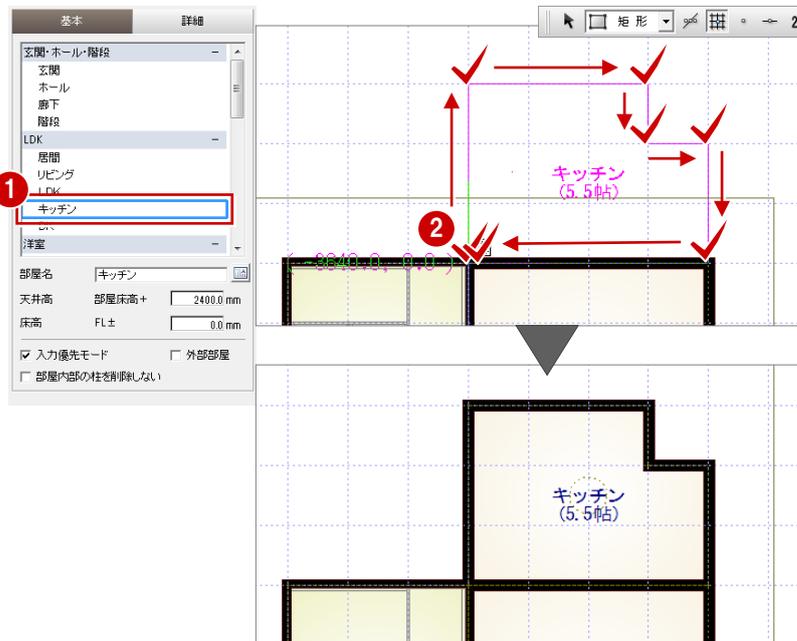
このグリッドや図面上のデータ（図形からできる頂点、線分）を利用して、マウスで正確な位置をつかむ（ピックする）機能を「ピックモード」といいます。

右図に示すポイントをつかみたいときは、該当するピックモードを切り替えます。



多角形の部屋を入力する

- ① 「キッチン」を選びます。
- ② 部屋の始点をクリックし、水平もしくは垂直の位置に2点目を取ると、一時的に多角形入力になります。
部屋のコーナーを順にクリックし、最後に開始点(1点目)と同じ位置をクリックします。



入力方法の切り替え

多角形の部屋は、操作モードを に変更して入力することもできます。部屋入力の2点目を任意の位置で取りたい場合はこちらの方法が便利です。

なお、入力方法は入力するデータによって異なります。

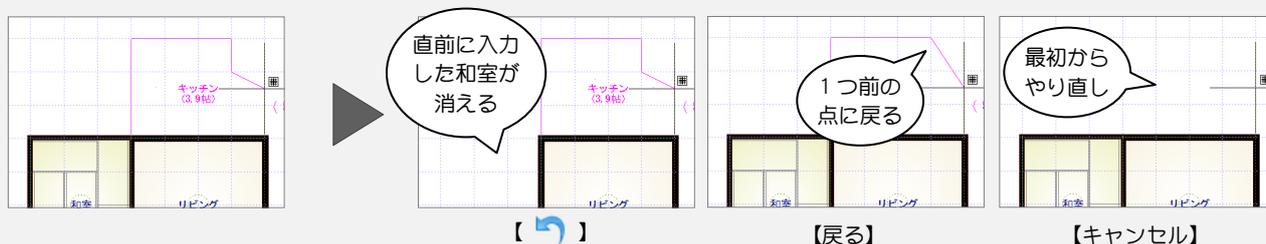
入力を間違えたときは

入力したあとで部屋の位置やサイズの間違いに気付いた場合は、 をクリックすると直前に行った操作が取り消されます。

は連続して10回前まで操作を戻すことができます。 で行った操作をやり直すには、 をクリックします。

入力の途中でクリックする位置を間違えた場合は、マウスを右クリックして「戻る」または「キャンセル」を選びます。

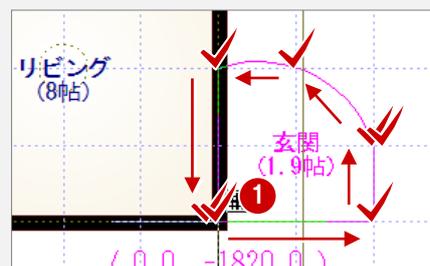
- ・「戻る」(Backspace キー)：最後にクリックしたポイントを取り消して1つ前のポイントに戻る
- ・「キャンセル」(Esc キー)：1点目から入力をやり直す



一部Rの部屋を入力するには

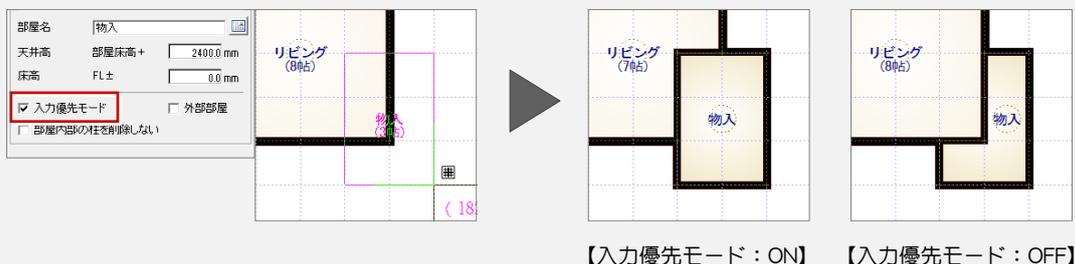
多角形の部屋を入力するときに、前と同じポイントをクリックすると、そこから円弧入力が始まるので、そのまま円弧の通過点、終点、残りの頂点をクリックします。円弧の開始点をクリックしたあと、Shift キーを押しながら通過点をクリックしても円弧入力が可能です。

なお、多角円形入力は、部屋の他にもポーチや屋根などの領域を入力するときに使用できます。



入力優先モード

部屋を入力するときに、入力済みの部屋と重なる場合、「入力優先モード」のチェックでどちらの領域を優先するかを切り替えられます。「ホール」「廊下」などは自動的に「入力優先モード」がOFFになり、矩形で範囲を指定しても、空いた領域に部屋を入力できます。

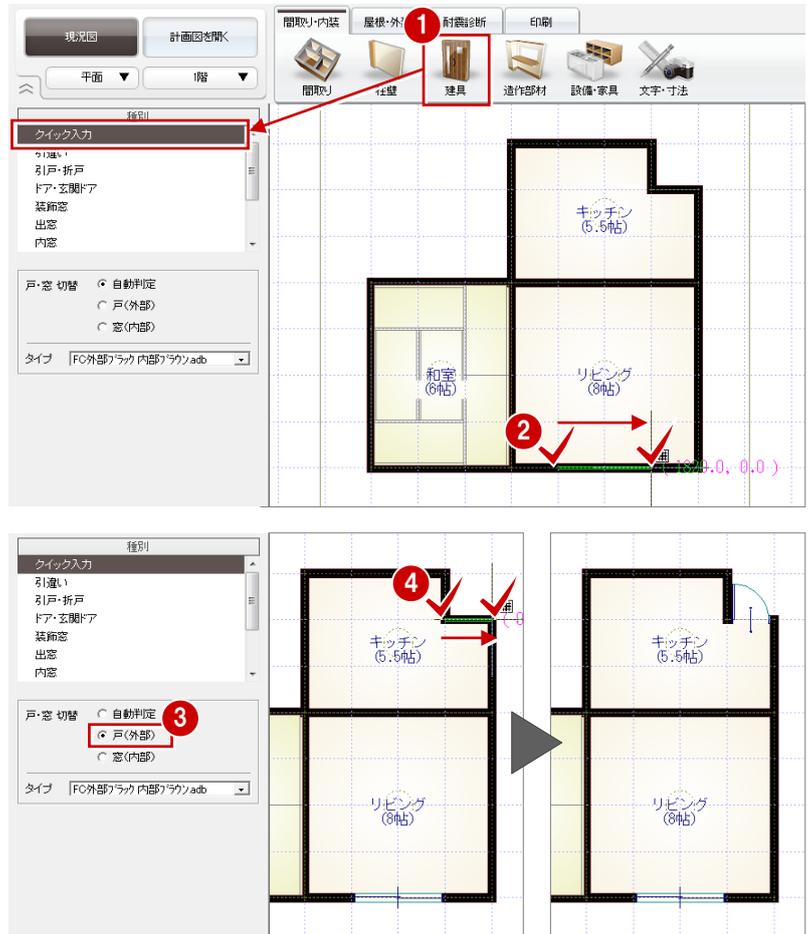


建具を入力する

- 1 [建具] をクリックして、[クイック入力] を選びます。
- 2 建具の始点と終点をクリックします。
- 3 4 もう1か所は、[戸（外部）] に変更して入力しましょう。
掃き出しが配置されます。

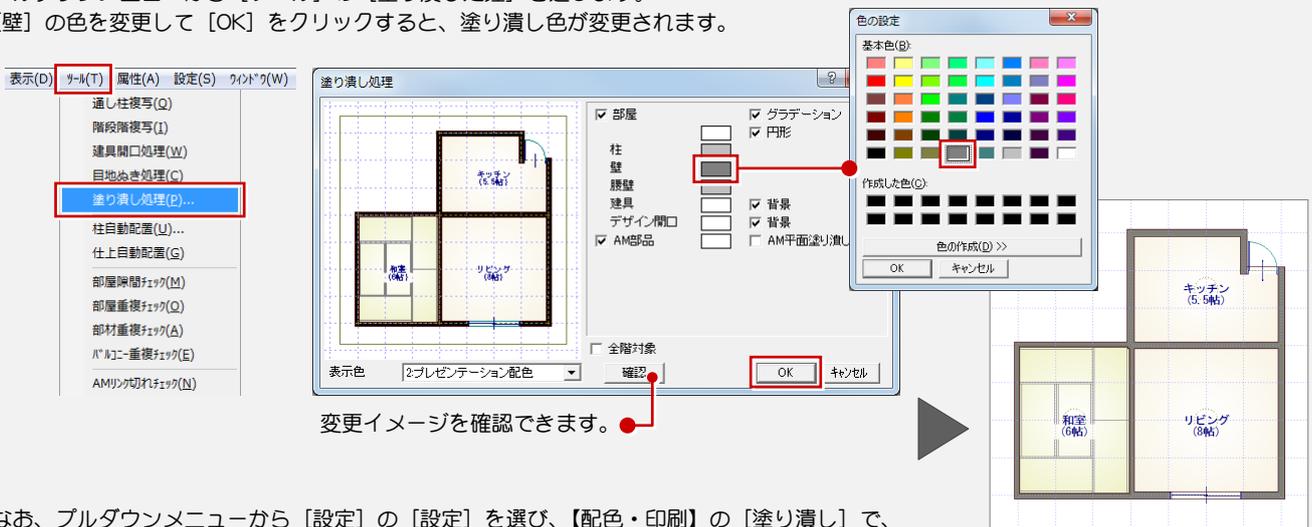
※ 建具のクイック入力は、入力場所（部屋のタイプや壁の種類「大壁・真壁」）と指定した2点間の距離から建具を自動判定して配置します。

⇒ 入力したい建具を選んで配置する方法は P.28 参照

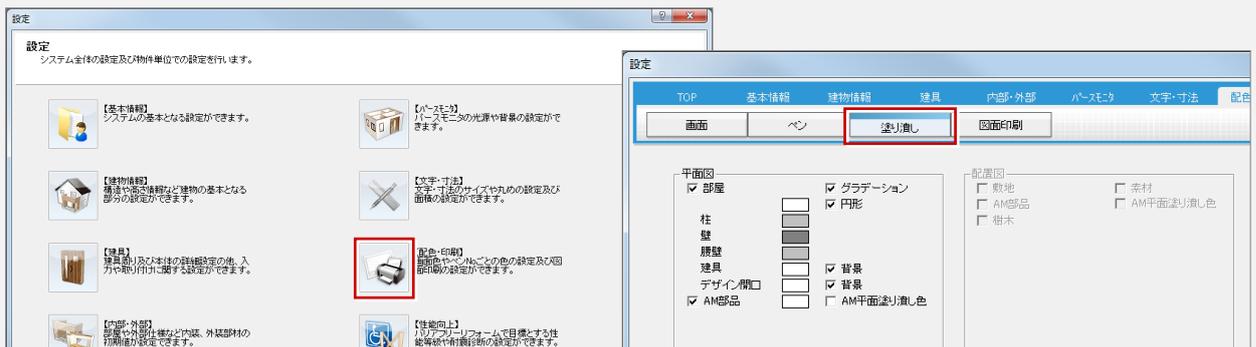


壁の塗り潰し色を変更するには

プルダウンメニューから [ツール] の [塗り潰し処理] を選びます。
[壁] の色を変更して [OK] をクリックすると、塗り潰し色を変更されます。



なお、プルダウンメニューから [設定] の [設定] を選び、【配色・印刷】の [塗り潰し] で、塗り潰し色を設定しておけます。



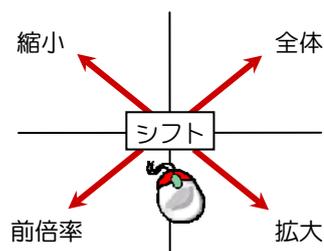
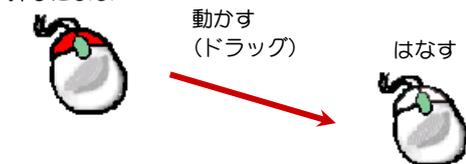
1-5 画面を拡大・縮小するには

両ボタンドラッグによる画面操作

CAD 画面の拡大・縮小といった操作を素早く行えるように、Jw_cad と同じ「両ボタンドラッグ」を採用しています。

両ボタンドラッグとは、マウスの左右ボタンを同時に押したまま、マウスを移動する操作方法です。

左右のボタンを
押したまま

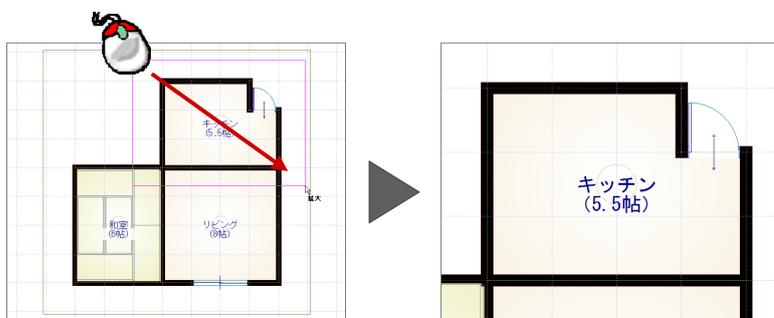


ドラッグ方向	画面操作
右下	拡大
右上	全体 (作図範囲)
左下	前倍率
左上	縮小
動かさない	シフト (表示移動)

【ドラッグ方向と画面操作の関係】

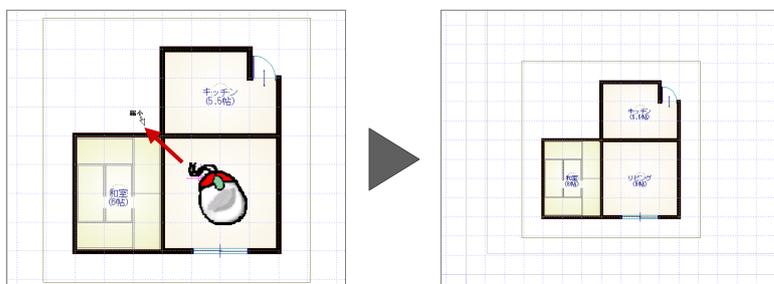
● 画面を拡大する

拡大したい範囲の左上でマウスの左右のボタンを同時に押し、そのまま右下方向へドラッグしてボタンをはなすと、指定した範囲が画面いっぱいに表示されます。



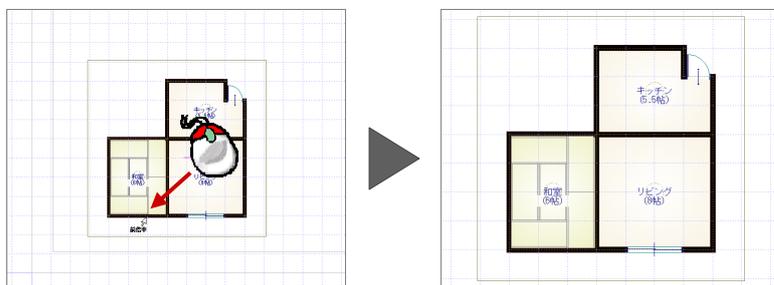
● 画面を縮小する

マウスの左右のボタンを同時に押し、そのまま左上方向へドラッグしてボタンをはなすと、画面の中心を基準に縮小されます。



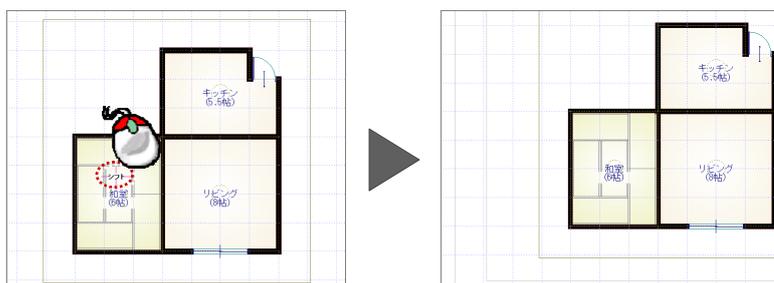
● 画面を前倍率に戻す

マウスの左右のボタンを同時に押し、そのまま左下方向へドラッグしてボタンをはなすと、1つ前の表示範囲に戻ります。



● 画面を移動する (シフト)

マウスの左右のボタンを同時に押し、動かさずにボタンをはなすと、その位置に画面の中心が移動します。



● 全体を表示する（作図範囲表示）

マウスの左右のボタンを同時に押し、そのまま右上方向へドラッグしてボタンをはなすと、作図範囲に設定しているエリアが画面いっぱいに表示されます。



作図範囲を設定するには

ポップアップメニューから「作図範囲」を選んだ後、再度、右クリックして「OK」を選ぶ（または Enter キーを押す）と、入力済みのデータ全体が納まるように作図範囲が設定されます。

また、対角にクリックして作図範囲を設定することもできます。

なお、作図範囲の設定は、 で元に戻すことができません。

作図範囲コマンドは、 をクリックすることで解除できます。

その他の方法

両ボタンドラッグのほかにもマウスホイールやキーボードを使って画面を操作できます。

マウスホイールによる画面操作

拡大・縮小	ホイールを上下に動かすと、画面が拡大縮小されます。	
表示移動	ホイールボタンを押したままマウスを動かすと、表示範囲が移動します。	

キーボードによる画面操作

拡大・縮小	Page Down キーを押すと、画面の中心を基準に拡大されます。 Page Up キーを押すと、画面の中心を基準に縮小されます。
作図範囲表示	Home キーを押すと、作図範囲が画面いっぱいに表示されます。
表示移動	←・↑・→・↓キーを押すと、指定した方向に表示が移動します。

1-6 データを選択するには

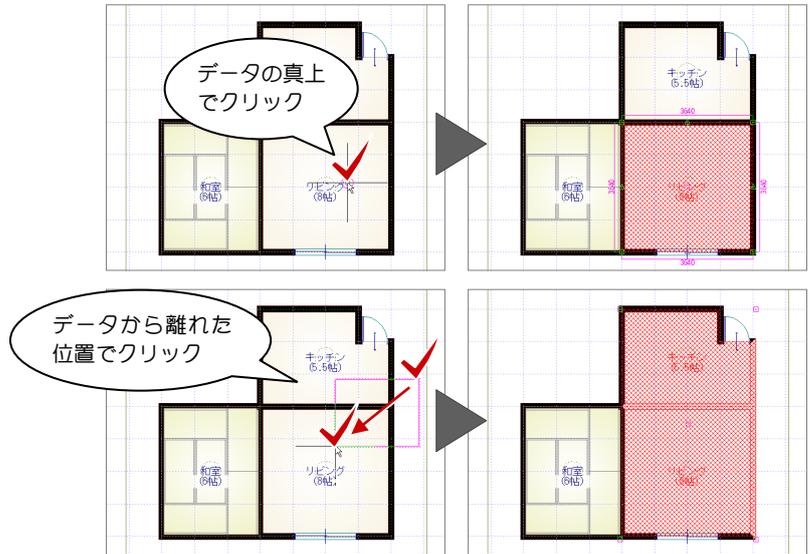
入力されているデータを編集するには、データを選択する必要があります。ここではデータを選択方法を紹介します。

「要素範囲」で選択する

フローティングバーの  をクリックすると、操作モードが  に変わり、データを選択できる状態になります。

- データの真上でクリック：
指定したデータが選択されます。
- データから離れた位置でクリック：
指定した位置が範囲指定の1点目になります。指定した矩形範囲に触れる、または含まれているデータが選択されます。

- ※ Ctrl キーを押しながらデータを選択すると、既に選択されているデータに追加できます。
- ※ データを選択している状態で、ポップアップメニューの[キャンセル]、または Esc キーを押すと、選択状態を解除できます。



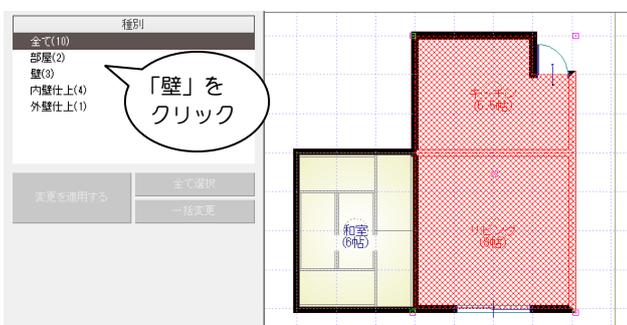
選択方法の切り替え

操作モードを変更することで、他にも次のような選択方法が使用できます。

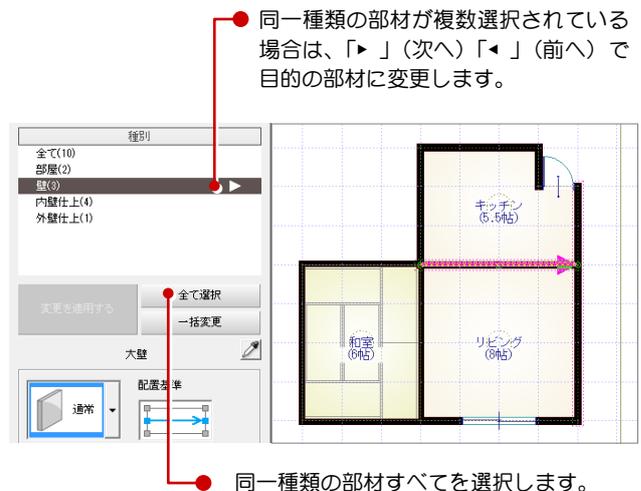
 要素	1クリックで指定したデータを選択します。
 線分加算	指定した2点間のラインに触れているデータを選択します。
 ボックスイン	指定した矩形範囲に完全に含まれているデータを選択します。
 ボックスオフ	指定した矩形範囲に触れている、または含まれているデータを選択します。

複数選択状態から目的の部材を選ぶ

複数種類の部材を選択している場合、パネルのリストから種別を選択することで、目的の部材だけを選ぶことができます。



【複数種類の部材を選択している状態】



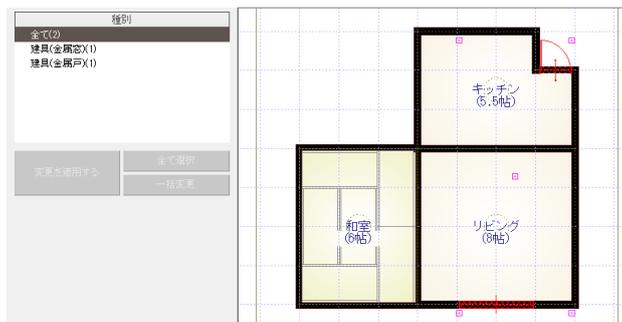
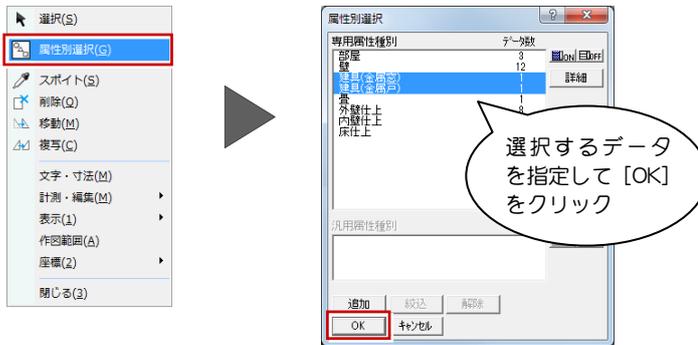
- 同一種類の部材が複数選択されている場合は、「▶」(次へ)「◀」(前へ)で目的の部材に変更します。

- 同一種類の部材すべてを選択します。



属性種別毎に選択する

ポップアップメニューの「属性別選択」をクリックすると、指定した属性のデータだけを選択できます。



データ選択の注意点

部屋データ付近には様々なデータがあります。

パネルには選択している部材のプロパティが表示されるので、何を選擇しているかプロパティパネルで確認しましょう。

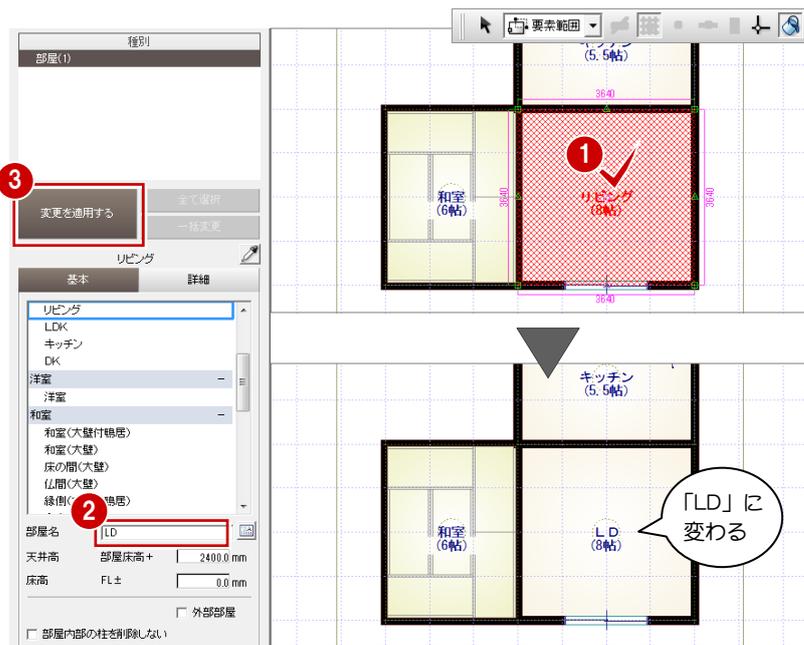


1-7 データを編集してみよう

プロパティを変更する

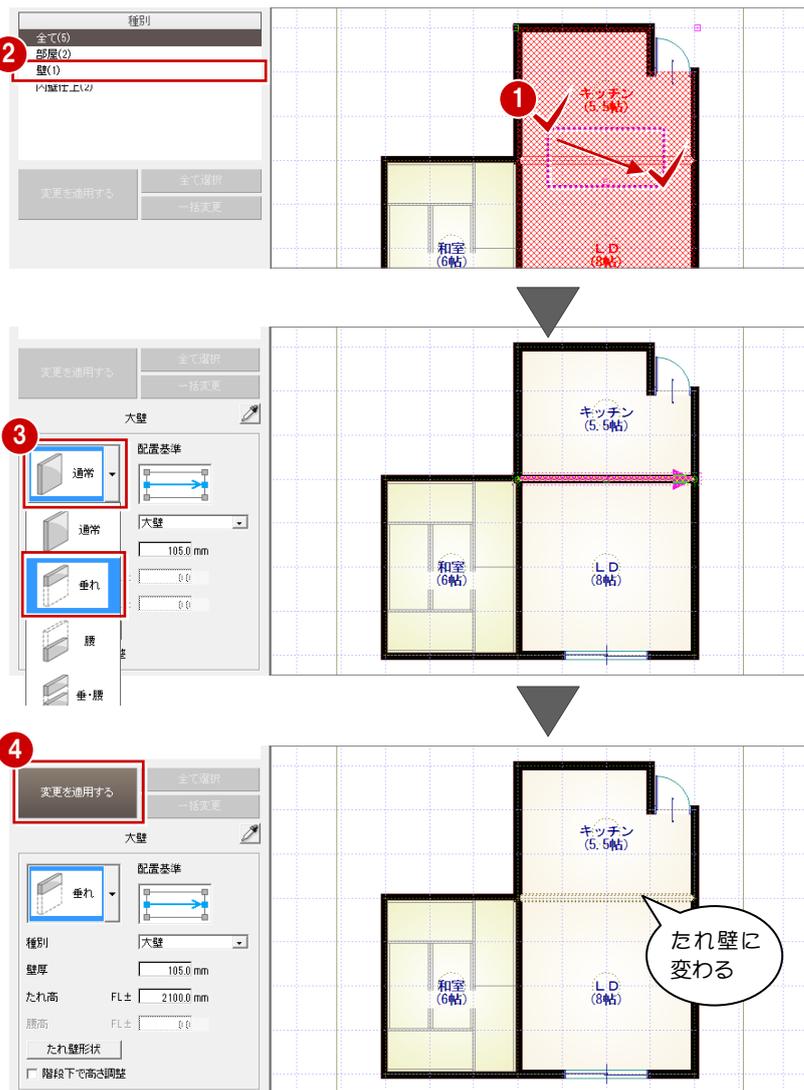
ここでは、部屋を1クリックで選択して、部屋名を変更してみましょう。

- 1 「リビング」を選択します。
パネルにプロパティが表示されます。
- 2 [部屋名] を「LD」に変更します。
- 3 [変更を適用する] をクリックします。

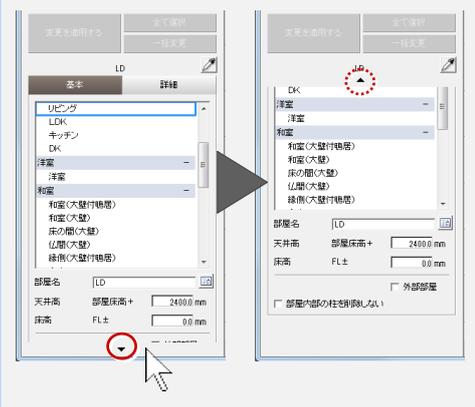


今度は、複数の部材を選択した後に壁を選んで、たれ壁に変更してみましょう。

- 1 選択したい壁の周辺を範囲選択します。
- 2 パネルのリストから「壁」を選択します。
目的の壁のプロパティが表示されます。
- 3 壁タイプを「通常」から「垂れ」に変更します。
- 4 [変更を適用する] をクリックします。

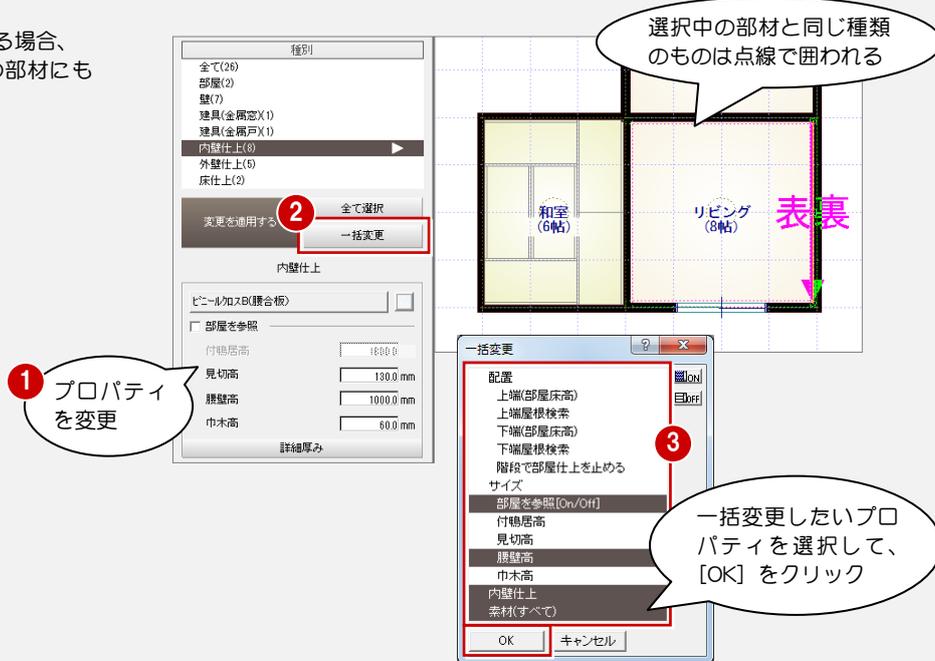


ウィンドウサイズが小さい場合
プロパティパネルがウィンドウに入りきらない場合は▼マークが表示されます。
▼マークの付近にマウスカーソルを当てると、スクロールして表示されます。



プロパティの一括変更

複数個の同一種類の部材を選択している場合、ある部材で設定したプロパティを他の部材にも一括して反映させることができます。



データを削除する

畳を削除してみましょう。

- ① 畳を選択します。
- ② ポップアップメニューから [削除] を選びます。または Delete キーを押します。

※ 選択したデータに関連する編集コマンドは、ポップアップメニューにまとめられています。なお、表示されるメニューは選択したデータにより異なります。



- ③  をクリックして元に戻しておきましょう。



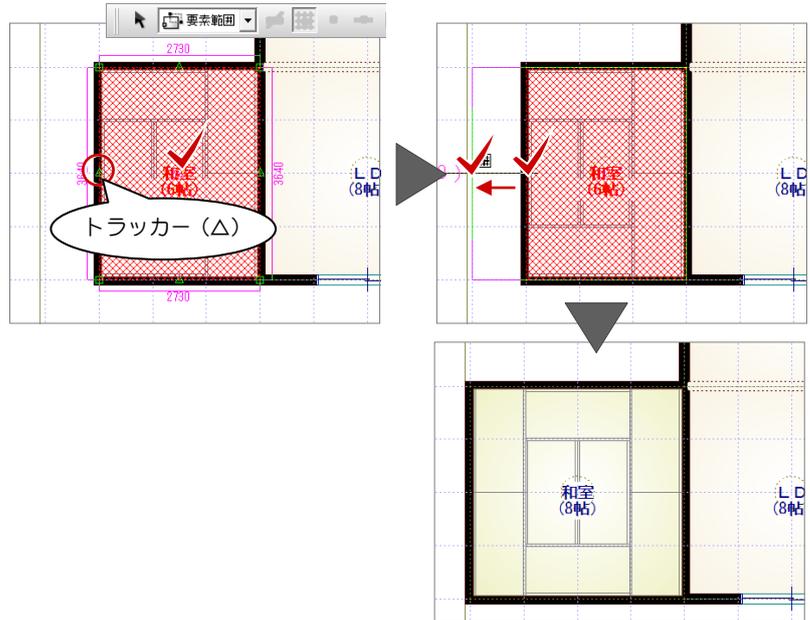
トラックを使う

データを選択すると、周囲にトラックが表示されます。このトラックを移動することで、領域変形などの編集ができます。

● 領域を変形する

部屋などの領域のデータは、トラック(△)をクリックして移動先を指定すると、領域を変形できます。

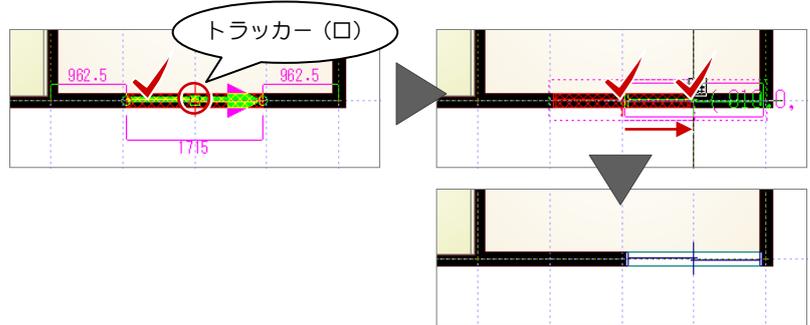
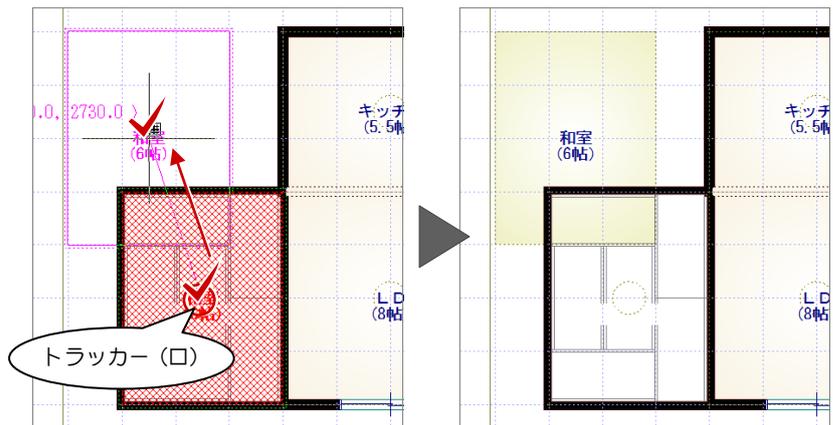
※ 部屋の場合、壁や仕上の再作成が実行されます。



● 移動する

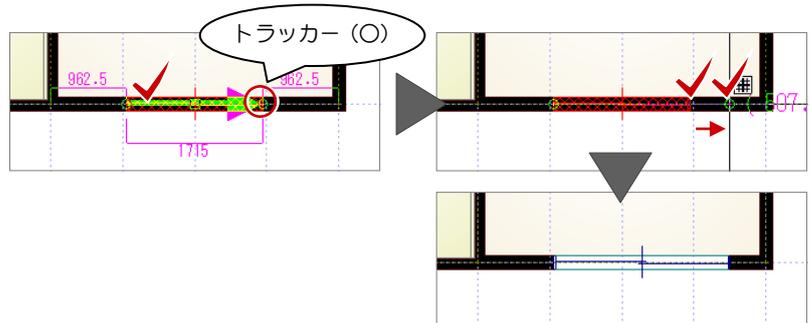
トラック(□)をクリックして移動先を指定すると、指定した位置までデータを移動できます。

※ Ctrl キーを押しながら、移動先をクリックすると選択データを複写します。



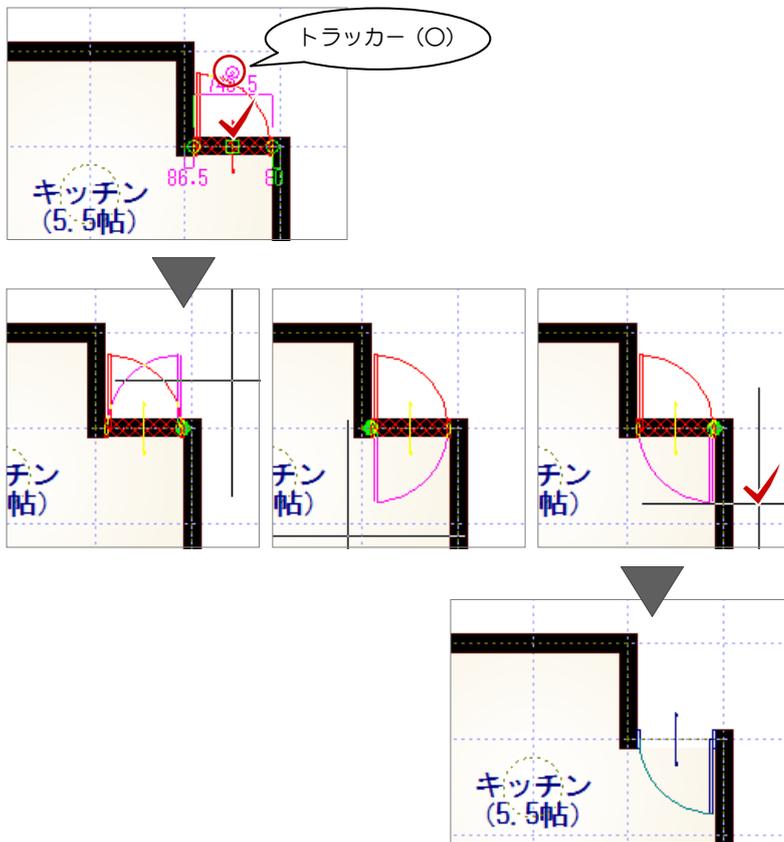
● 伸縮する

建具などの線分データは、トラック(○)をクリックして移動先を指定すると、指定した位置までデータを伸縮できます。



● 建具の開き勝手を変更する

開き戸や引き戸は、トラッカー（○）をクリックして方向を指定すると、開き勝手を変更できます。



※ ほかに、部材によってはトラッカーで回転も可能です。

※ ここでの操作は、 をクリックして元に戻しておきましょう。

寸法エディットを使う

データを選択すると、周囲に寸法線が表示されます。

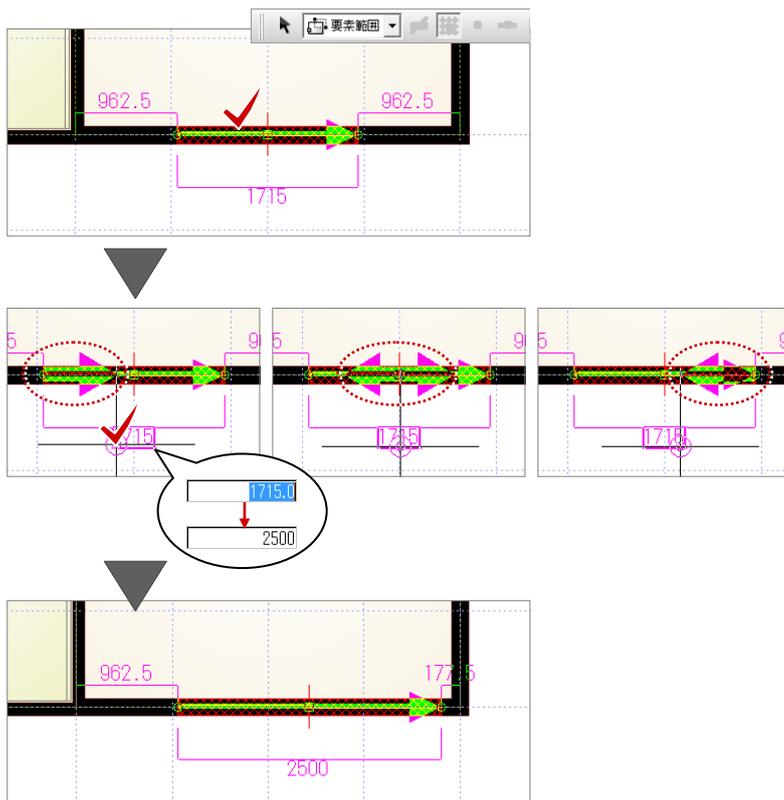
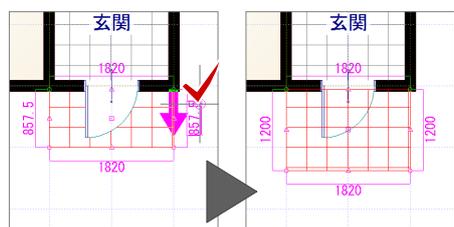
この寸法値を直接変更することで、サイズ変更や移動などの編集ができます。

● サイズを変更する

寸法値を囲む口の枠内でマウスの位置を動かすと、寸法変更の基準を示す矢印が切り替わります。

基準を確認しながら寸法値をクリックし、寸法を入力してEnterキーを押すと、指定した位置を基準にサイズが変更されます。

※ ポーチや屋根などの領域を変形することもできます。



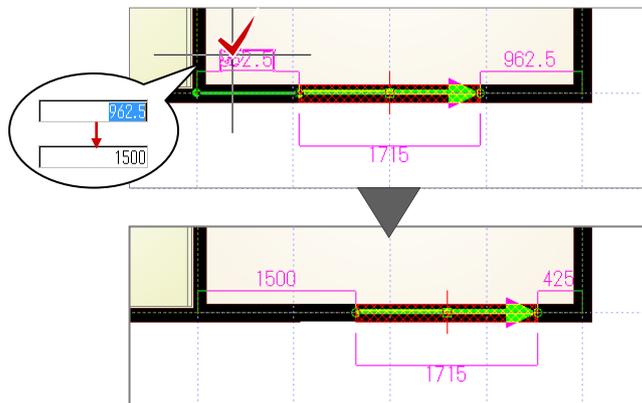
1 基本操作

● 移動する

部屋線や仕上線からの離れの寸法値をクリックし、寸法を入力して Enter キーを押すと、指定した距離まで移動できます。

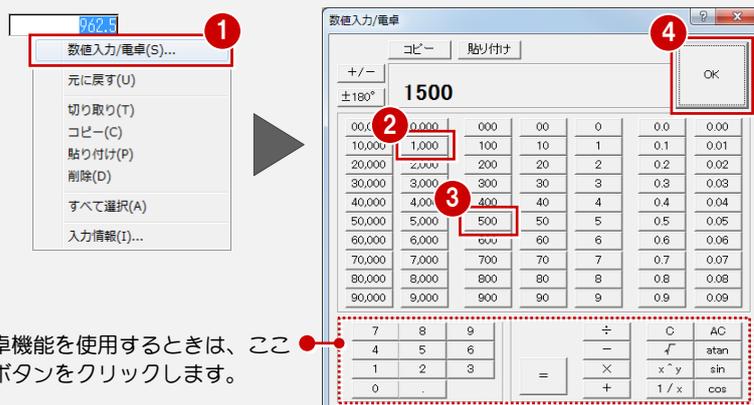
※ 離れの寸法が何を基準に表示されるかは、部材によって異なります。

※ ここでの操作は、 をクリックして元に戻しておきましょう。



数値入力・電卓機能

エディットボックスやセルなどの数値入力欄で右クリックし、ポップアップメニューから「数値入力/電卓」を選ぶと、数値入力や計算をマウス操作で行えます。



電卓機能を使用するときは、ここ  のボタンをクリックします。

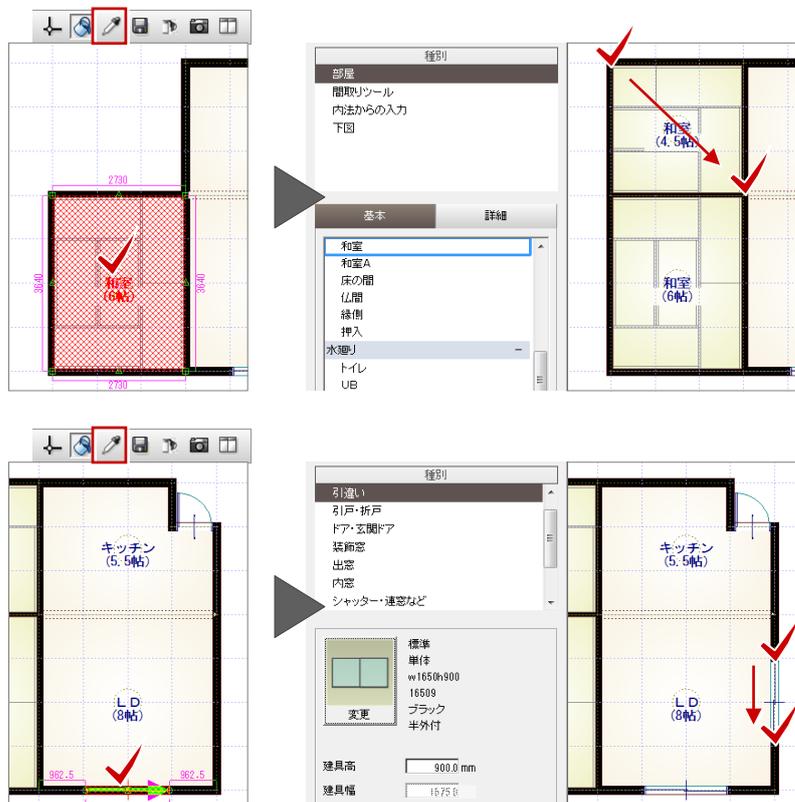
スポイトを使う

入力済みのデータを選択して、フローティングバーの  をクリックすると、同じデータを入力できる状態になります。入力コマンドを実行して、プロパティを設定する手間を省くことができます。

※  をクリックしてからデータを選択しても構いません。

※ 方位などスポイト対象外のデータもあります。また、データによって一部取得されないプロパティもあります。

※ ここでの操作は、 をクリックして元に戻しておきましょう。



データ選択時のプロパティ

選択するデータによっては、プロパティ

にも  が表示されます。こちらをクリックしても入力できます。



1-8 立体を確認しよう

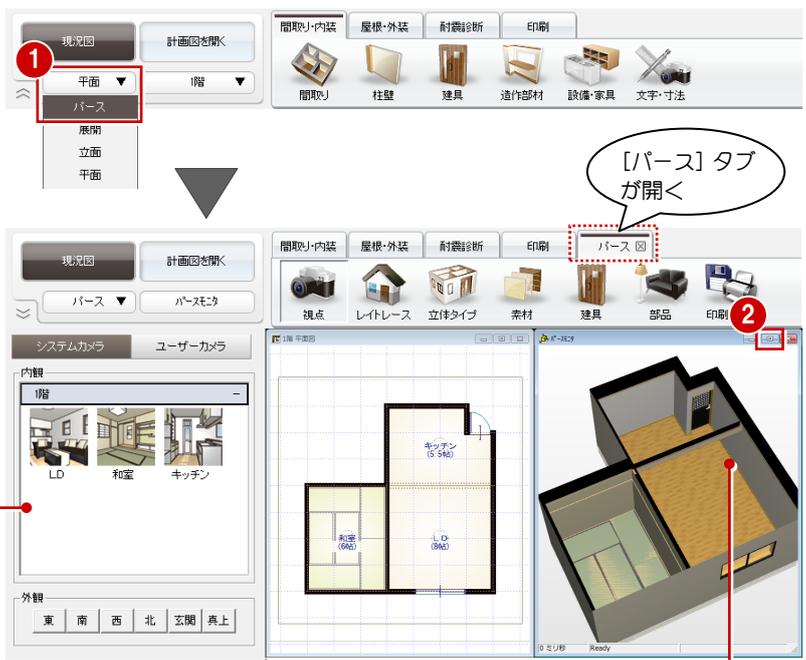
パースモニタを開く

① [図面の切り替え] から「パース」を選びます。
 [パースモニタ] ウィンドウが開いて、立体データが作成されます。

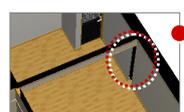
② [最大化] をクリックして、パースモニタを大きく表示します。

※ パースモニタのタイトルバーをダブルクリックすることでも、ウィンドウを最大化できます。

玄関や居室、住設機器の視点がシステムカメラとして自動登録されます。カメラをクリックして視点を変更できます。



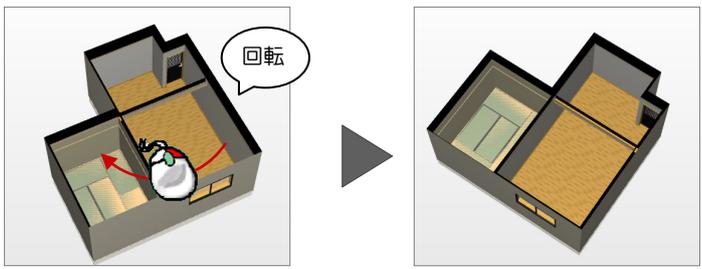
上図のパースは、内壁仕上を再配置したものです。壁をたれ壁に変更すると (P.14)、右図のようになるため、[ツール] メニューの [仕上自動配置] で内壁仕上を再配置します。



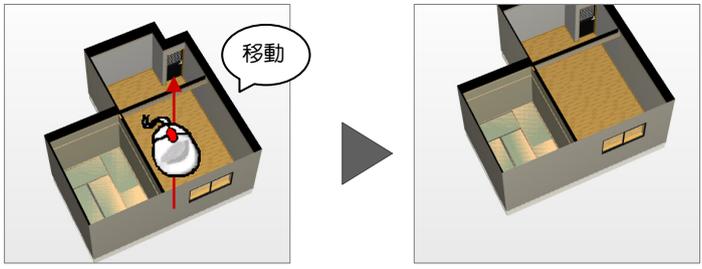
立体での画面操作

パースモニタでの視点の変更は、以下のマウス操作で行います。

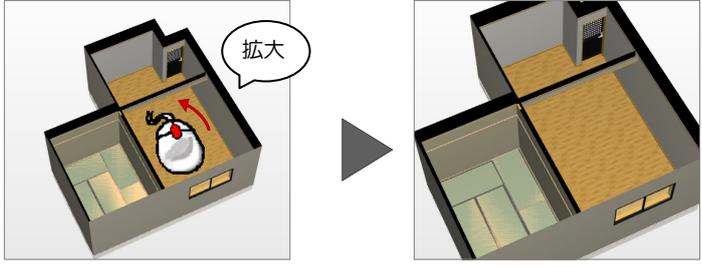
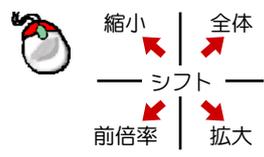
● **視点を回転する**
 マウスの右ボタンを押したままドラッグします。ドラッグした方向に視点位置が回転移動します。



● **視点を移動する**
 マウスのホイールボタンを押したままドラッグします。ドラッグした方向に視点位置が移動します。

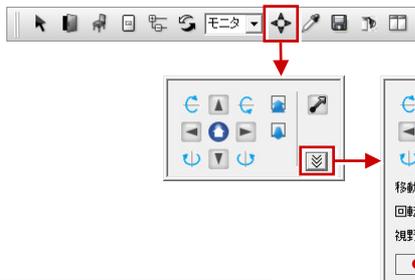


● **拡大・縮小する**
 マウスホイールを向こう側に回すと拡大、手前側に回すと縮小します。両ボタンドラッグを使用しても、拡大縮小できます。



視点コントローラを使う

パース用フローティングバーの をクリックすると、視点コントローラが表示されます。視点コントローラの各ボタンを使用して、視点を変更できます。



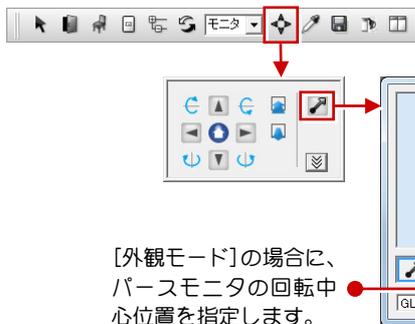
視点の回転	[上回転] [下回転] [左回転] [右回転] ※ ボタンを 1 回クリックしたときに変化する量は、拡張画面の [回転角] で設定します。
視点の移動	[上移動] [下移動] [左移動] [右移動] ※ ボタンを 1 回クリックしたときに変化する量は、拡張画面の [移動距離] で設定します。
拡大・縮小	[視点前進] [視点後退]
視点リセット	[HOME] : パースモニタを開いたときの視点に戻ります。

視野角を「広角」「標準」「望遠」から選んで変更できます。

クリックして「2点透視」に変更できます。2点透視は仰角を「0°」に設定して表示します。その場合、 は使用できません。

視点モニタを使う

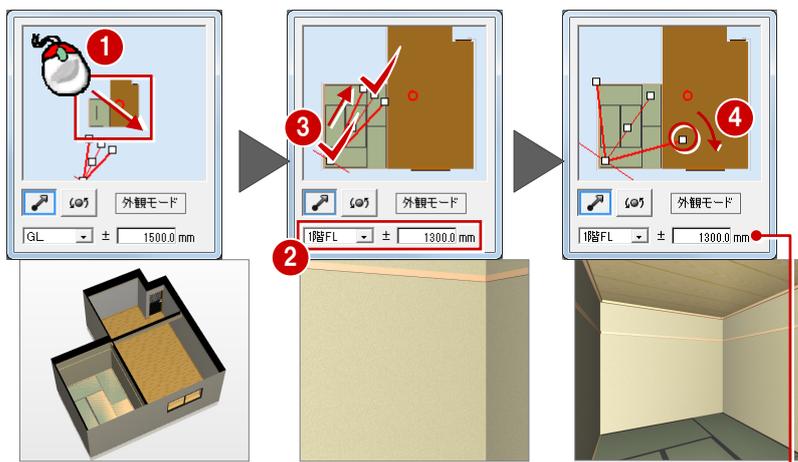
パース用フローティングバーの をクリックして視点コントローラの をクリックすると、視点モニタが表示されます。視点モニタ上で、視点位置と視点方向を指定しても、視点を変更できます。



[外観モード]の場合に、パースモニタの回転中心位置を指定します。クリックすると [内観モード] に変わります。

ここでは、内観の視点に変更してみましょう。

- 1 モニタ上で両ボタンドラッグをして、画面を拡大します。
- 2 視点の高さを設定します。
FL からの高さ指定も可能です。
- 3 視点位置、視点方向の順にクリックします。
- 4 見える範囲が狭い場合は、右図のトラッカーをドラッグして視野角を広げます。



高さの数値を変更すると、すぐにパースモニタに反映されます。

外観モードと内観モード

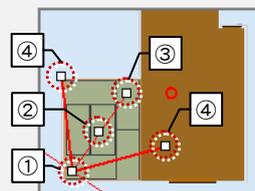
モードによって、回転の基準が変わります。Tab キーでもモードを変更できます。

- 外観モード (マウス表示:)
 回転中心点を中心に視点位置が回転します。外観パースを確認するときに有効です。
- 内観モード (マウス表示:)
 視点位置を中心に注視点位置が回転します。内観パースを確認するときに有効です。

視点モニタのトラッカー

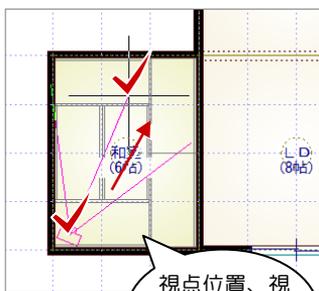
ドラッグすることで、視点を変更できます。

①	②の位置を固定して視点を移動します。
②	①から③の視線方向を維持して視点を移動します。
③	①を固定して視線方向を回転移動します。
④	視野角を変更します。



図面から視点を設定する

図面のフローティングバーの  をクリックすると、パースの視点を図面から指定できます。



視点位置、視点方向の順にクリック

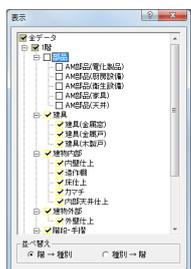


図面に視点を登録するには

 [文字・寸法] の [カメラ・パーツ・画像] の  を使用すると、図面に視点を登録しておけます。図面に登録した視点は、パースモニタの起動時や再作成時に、パースモニタのユーザーカメラとして登録されます。
⇒ 詳しくは、「水廻りのリフォーム編」 P.25 参照

パース用フローティングバーの機能一覧



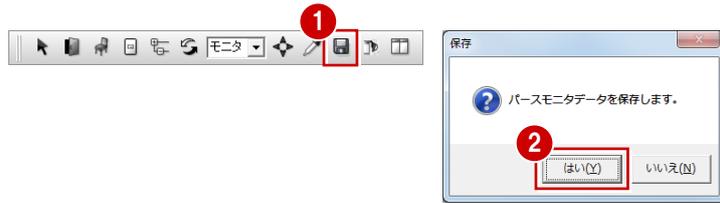
コマンド名	内容	参照ページ
 選択	データを選択します。またはデータの選択状態を解除します。	
 建具開閉	パースモニタ上で建具を開閉します。 ※ [建具選択] ダイアログで開閉可能なマークが付いている建具が対象です。   	水廻り編 P.28
 部品移動・回転	配置されている部品をマウス操作で移動・回転します。 部品を選択し、ラバーバンドの下枠（太枠）をドラッグすると移動、ラバーバンドの下枠（太枠）の角に表示される○をドラッグすると回転になります。 	
 スイッチ ON・OFF	パースモニタに表示されているスイッチ器具や照明器具をクリックして、光源の点灯/消灯を切り替えます。  	
 データ表示切り替え	立体データの表示/非表示を設定します。 非表示にしたいデータはチェックを OFF にします。チェックの ON/OFF は、パースモニタデータに保存されます。   	水廻り編 P.23
 立体再作成	パースモニタを開いたまま、立体データを再作成します。	水廻り編 P.26
 モニタ 背景/光源モード	背景・光源の設定を「モニタ」「朝」「昼」「夜」から選びます。	P.41
 視点コントローラ	視点コントローラを表示します。	P.20
 スポイト	パースモニタ上の素材・部品・建具から属性を取得してパネルに表示します。	
 データ保存	立体データを保存します。	P.22
 他図面参照	現況図または他の計画図のパースを参照して別ウィンドウに表示させます。	P.39
 左右に並べて表示	作業中のウィンドウを左右に並べて表示します。	

1-9 物件変更とプログラムの終了

データを保存する

－ パースモニタデータを保存する －

- ① パース用フローティングバーの  をクリックします。
- ② 確認画面で [はい] をクリックします。

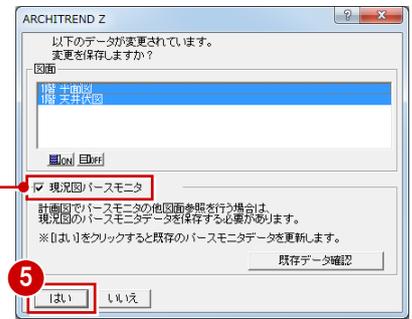


－ 図面データを保存する －

- ③ [図面の切り替え] から「平面」を選んで図面に戻ります。
- ④ フローティングバーの  をクリックします。
- ⑤ 確認画面で [はい] をクリックします。

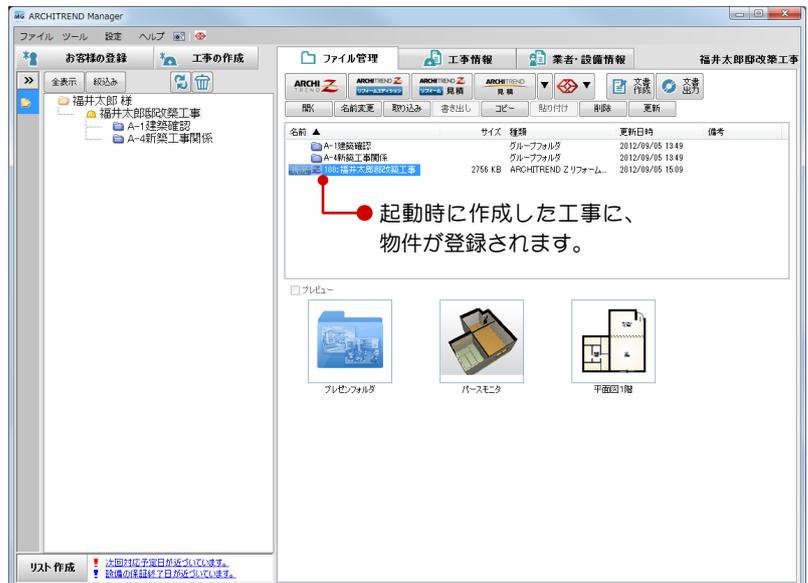
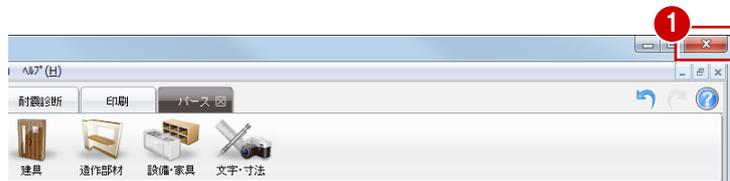


[現況図パースモニタ] を ON にして保存するとパースが再作成されるため、パースの視点などを保存しておきたい場合は、パースを保存後、このチェックを OFF にして図面データを保存します。



リフォームエディションを終了する

- ①  [閉じる] をクリックします。マネージャーに戻ります。



1-10 【練習問題】 やってみよう

新しい物件を作ろう

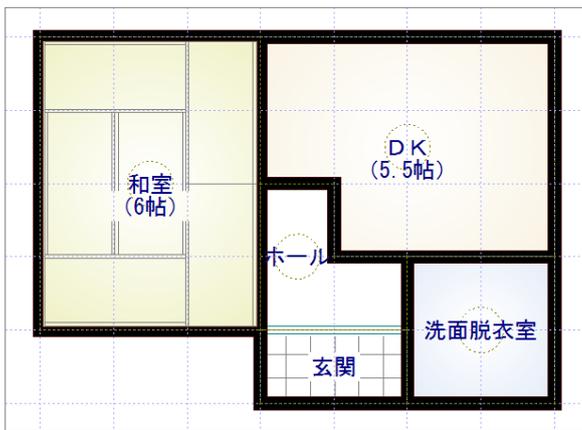
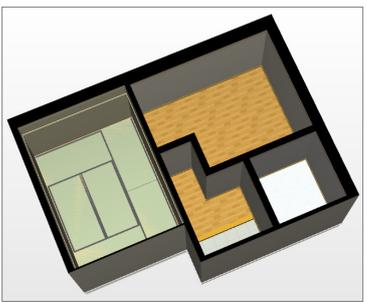
- ① マネージャーで [工事の作成] をクリックします。
- ② [工事名称] に「練習問題」と入力して、[登録] をクリックします。
お客様データの中に新しい工事（物件）が作成されます。
- ③ リフォームエディションを起動します。



練習問題①：入力してみよう

右図の間取りを入力してください。
入力できたら、立体を確認してください。

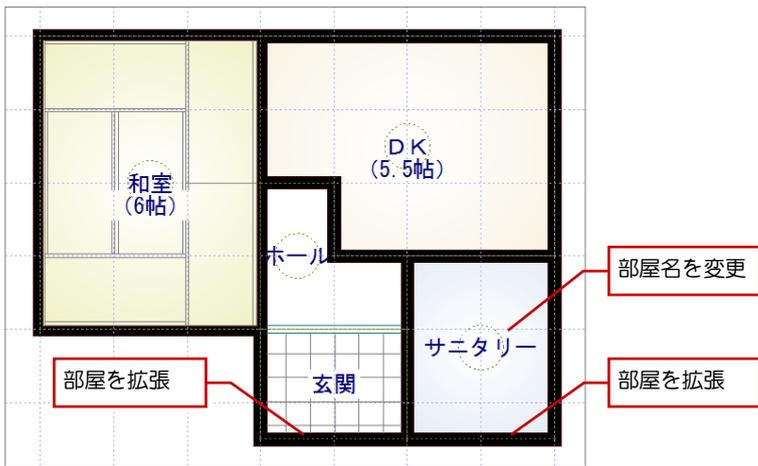
⇒ 解説は次ページ



練習問題②：編集してみよう

右図のように間取りを編集してください。

⇒ 解説は次ページ



1 基本操作

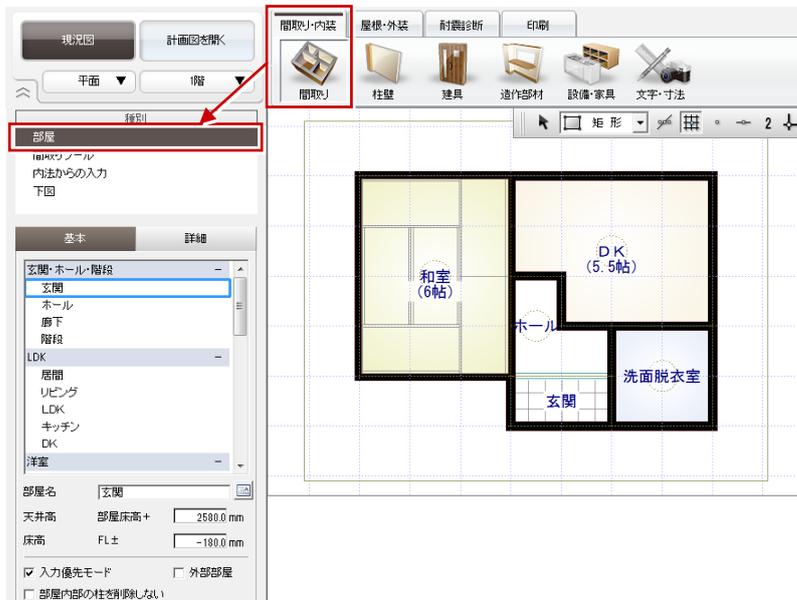
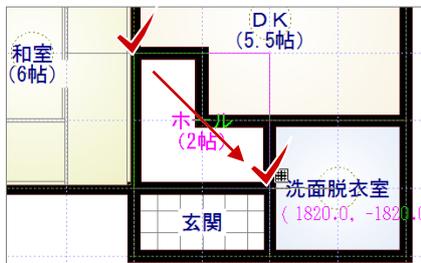
解説①：入力してみよう

「DK」は多角形入力 ⇒P.8

他の部屋は矩形で入力できます。 ⇒P.7

※「ホール」は最後に入力しましょう。

[入力優先モード] がOFFになり、矩形入力しても、部屋が入力されていないスペースに配置されます。



部屋を入力できたら、パースモニタを開きます。 ⇒P.19



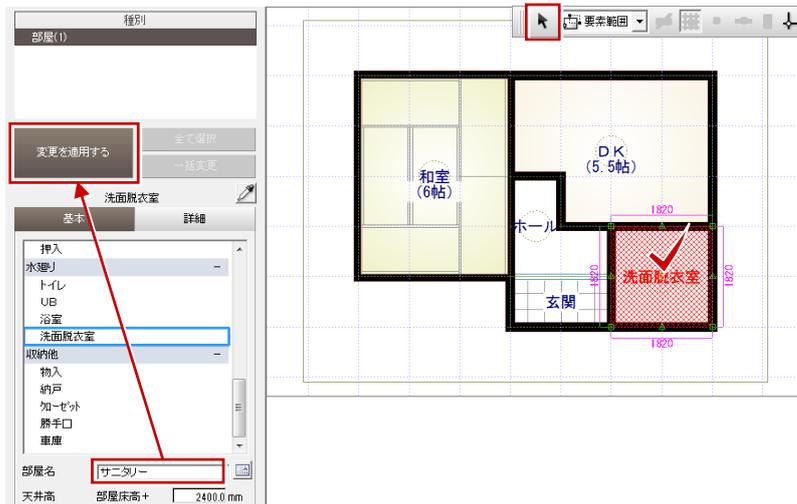
解説②：編集してみよう

－ 部屋名の変更 －

「洗面脱衣室」のプロパティを変更します。

⇒P.14

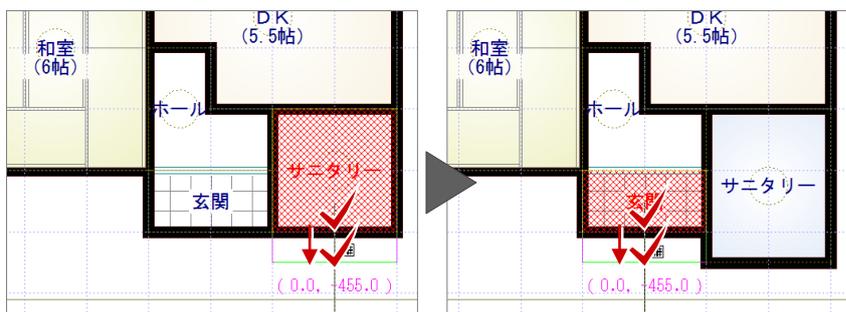
※ [変更を適用する] を押さないと確定しないので、忘れないように注意しましょう。



－ 部屋の拡張 －

トラックを使って、「サニタリー」と「玄関」の領域を広げます。 ⇒P.16

※ 床仕上を選択しないように注意しましょう。



2

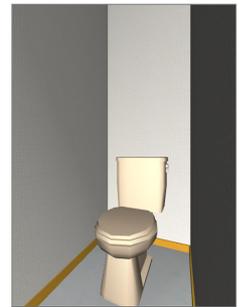
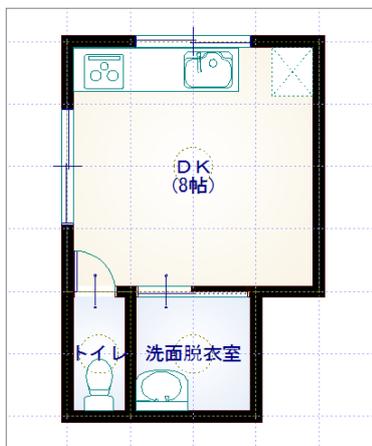
リフォームプランの作成

本章では、内装リフォームを例に、現況図・計画図の入力からパース、展開図の作成、図面にレイアウトして印刷するまでの流れを解説します。

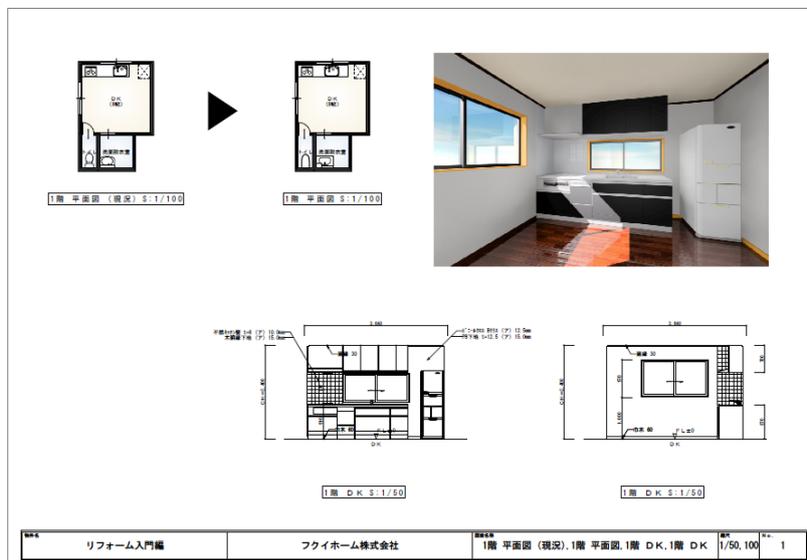
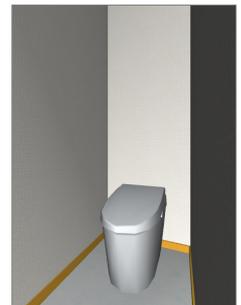
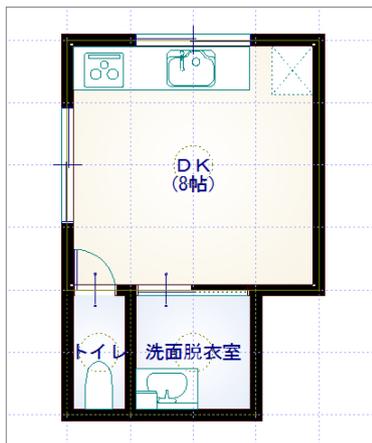
※ リフォームエディションのプログラム DVD の Manual フォルダに収録されている「V8ReformEdition.mgdz」に完成データを収めていますので、ご活用ください（取り込み方法は P.69 を参照）。

作成するプラン

現況図



計画図

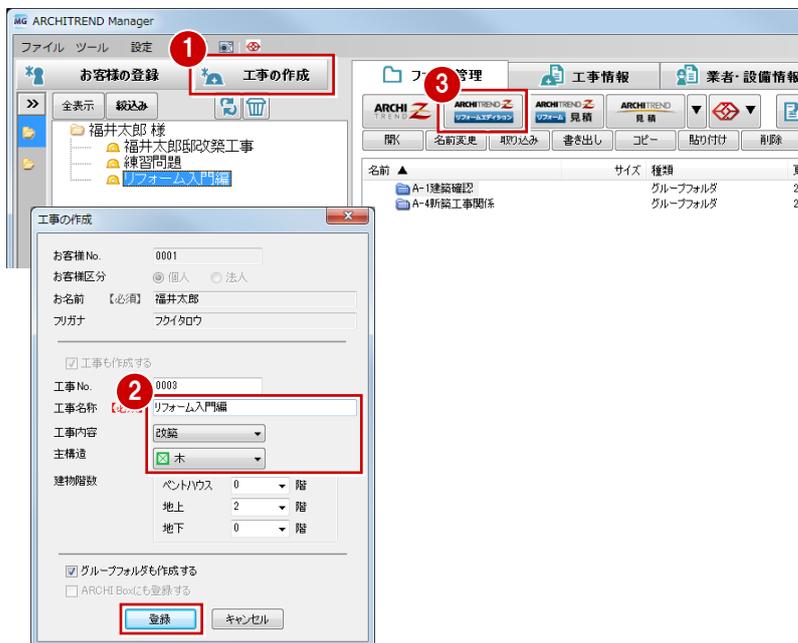


2-1 新しい物件を開く

マネージャーを起動して、新しい物件を作成しましょう。ARCHITREND Z リフォームエディションでは、まず現況図を入力して、それをもとにリフォームの計画図を作成します。

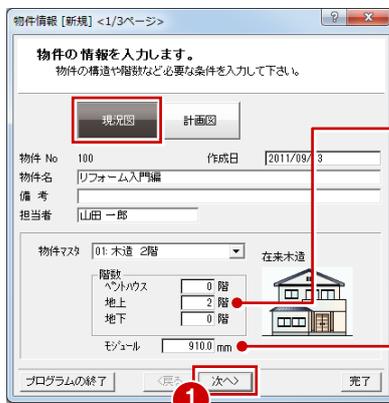
新しい物件を作成する

- 1 マネージャーで [工事の作成] をクリックします。
- 2 工事名称や工事内容などを設定して、[登録] をクリックします。
- 3 [ARCHITREND Z リフォームエディション] をクリックします。



物件情報を設定する

- 1 [物件情報] 画面の<1/3 ページ>で、[現況図] が ON になっていることを確認して、[次へ] をクリックします。
- 2 [物件情報] 画面の<2/3 ページ>で、施主情報や柱サイズ、壁厚などを確認して、[次へ] をクリックします。



データ制限
入力範囲：4000m 四方まで
階数：木造・2×4 の場合は
地下1階、地上3階、
ベントハウス1階まで

ここで設定した値が、グリッド
間隔の初期値になります。

選択した主構造で、設定内容が変わります。

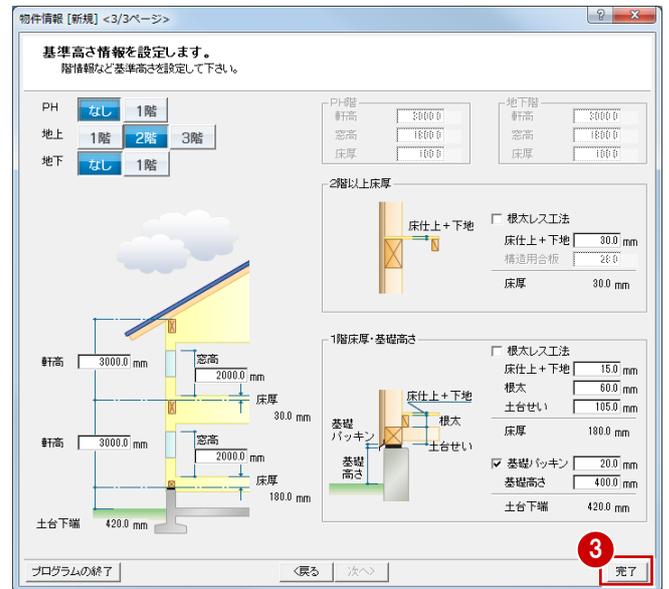


- ③ [物件情報] 画面の<3/3 ページ>で、基準高さを設定して、[完了] をクリックします。

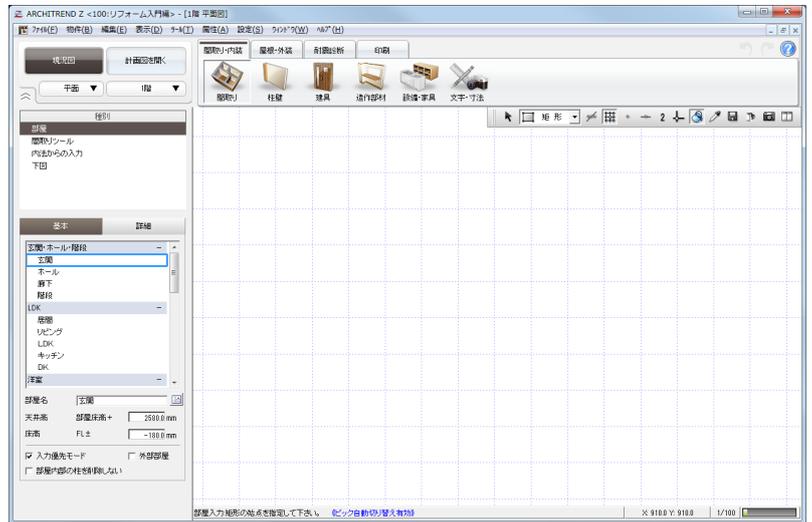
基準高さの連動先

基準高	基準高を参照する部材
GL	敷地、ポーチなどの下端高の基準
FL	部屋の床高の基準、たれ・腰壁の下端基準 内部階段の始点高・終点高の基準 建具の取付高（基準増減）の下端基準
窓高/階高	建具の取付高（基準増減）の上端基準
軒高	屋根の取付高（軒高基準）の増減

※ 床厚によって、その階のFLが決まります。



リフォームエディションが起動します。



2-2 現況図の入力

部屋を入力する

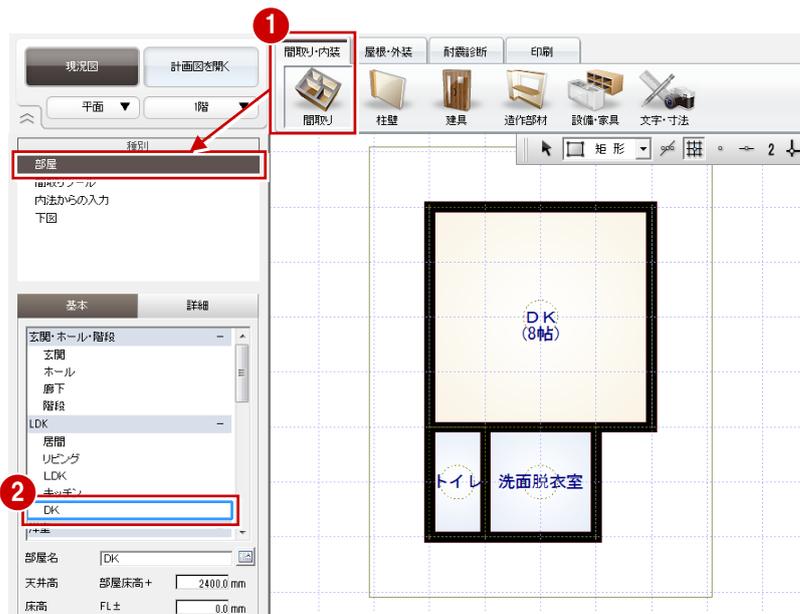
① 間取りを入力する状態になっていることを確認します。

② 入力したい部屋を選んで、右図のように入力します。

※ リフォームに必要な部屋のみでの入力で構いません。

⇒ 部屋入力については、P.7 参照

⇒ 内法からの入力については、P.59 参照



建具を入力する

－ 引違窓を入力する －

① [建具] をクリックして、[引違い] を選びます。

② 入力したい建具(ここでは「w1650h900」)をダブルクリックして選択します。

③ 入力タイプを「中央」に変更します。

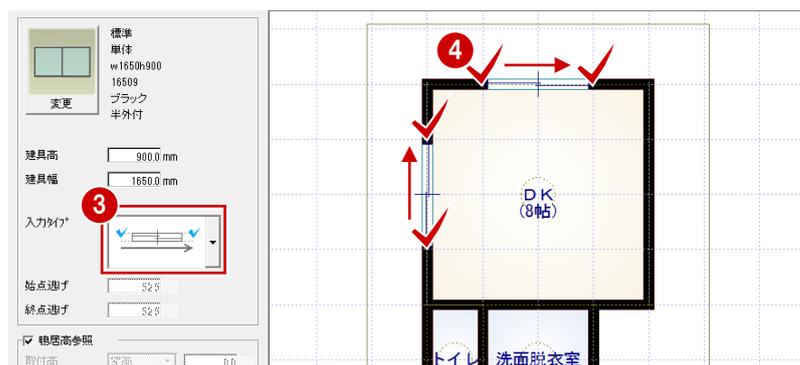
④ 建具の始点、終点をクリックして、右図のように入力します (2カ所)。



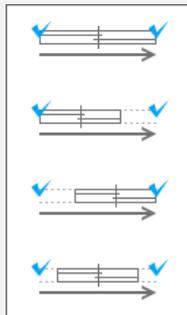
建具の入力方向

外部建具の場合、入力方向に関係なく、部屋領域から判断して建物外部に建具の外側が向くように自動設定されます。

内部建具の場合、始点→終点方向の右側が建具の内側になります。部屋の内部を時計回りで入力してください。



入力タイプについて



始点逃げ・終点逃げを考慮した値で建具幅が決まります。建具選択時に選んだ建具幅は無効になります。

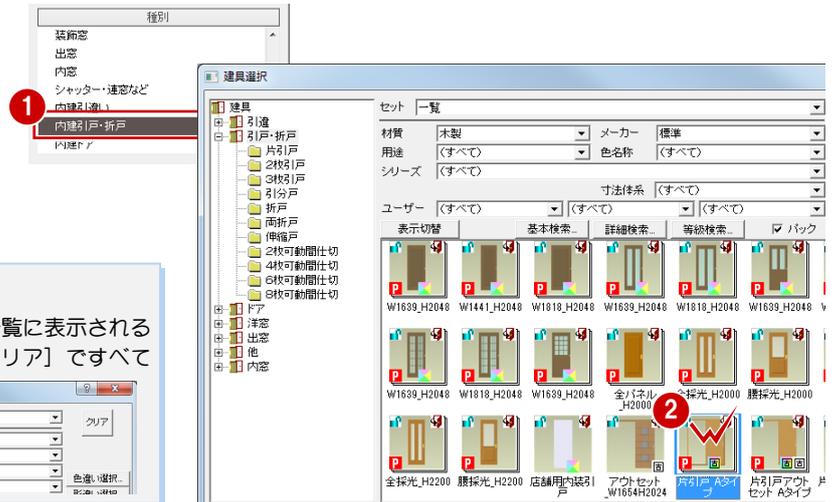
始点側に建具を寄せて入力します。始点逃げを考慮して、指定した建具幅の建具が配置されます。

終点側に建具を寄せて入力します。終点逃げを考慮して指定した建具幅の建具が配置されます。

始点・終点の中央に、指定した建具幅の建具が配置されます。

－ 片引戸を入力する －

- 1 [内建引戸・折戸] をクリックします。
- 2 「片引戸 Aタイプ」をダブルクリックして選択します。



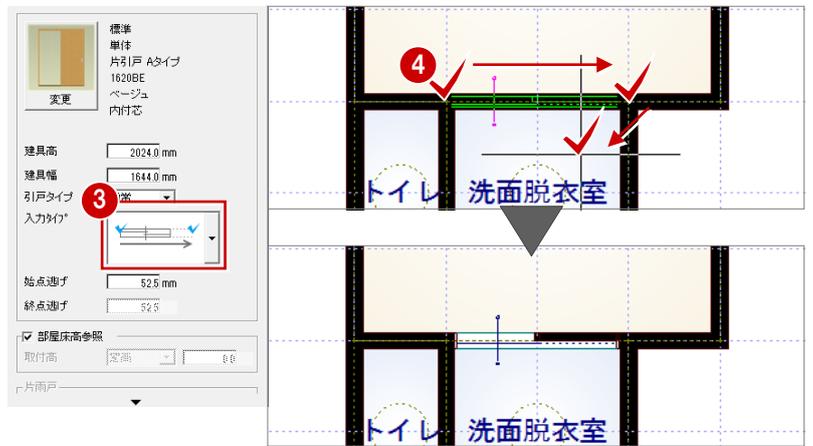
[内建] コマンド**

例えば、[引戸・折戸] と [内建引戸・折戸] では、一覧に表示される建具の材質が異なります。[材質] を変更したり、[クリア] ですべてのアイテムを表示させることで、他の材質の建具を選択できます。

- 3 入力タイプを「始点寄せ」に変更します。
- 4 建具の始点（出入り口側）、終点（引き込み側）、戸の付く方向をクリックします。

建具の取付基準

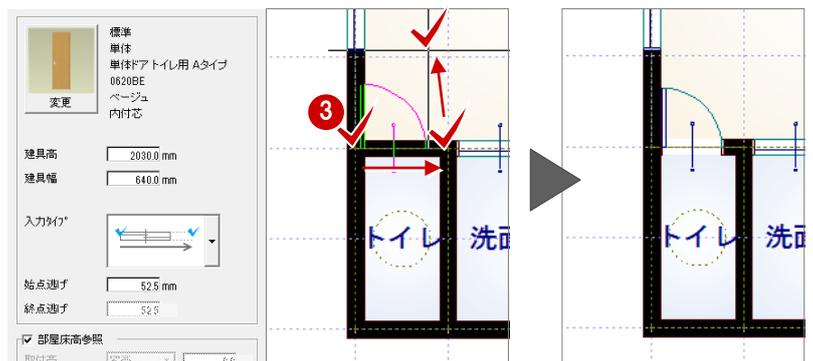
初期値では、窓は鴨居高に合うように配置され、戸は部屋床高に合うように配置されます（2階以上の外部戸の取付高はFL+200mmになります）。取付高を指定して入力したいときは、【鴨居高参照】【部屋床高参照】のチェックをはずして取付基準と高さを変更します。



－ 片開ドアを入力する －

- 1 [内建ドア] をクリックします。
- 2 「単体ドア トイレ用 Aタイプ」をダブルクリックして選択します。
- 3 建具の始点（吊元側）、終点（取手側）、開く方向をクリックします（入力タイプは「始点寄せ」のまま）。

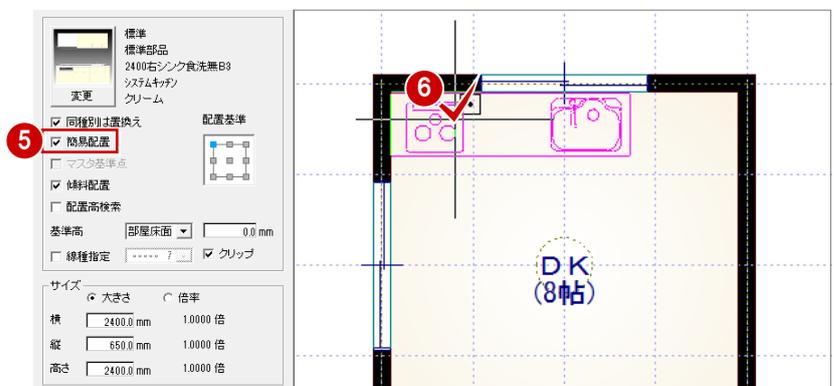
⇒ 建具の開き勝手の変更については、P.17 参照



設備機器を入力する

－ システムキッチンを入力する －

- ① [設備・家具] をクリックして、[キッチン] を選びます。
- ② 表示が [テーブル] になっていることを確認します。
- ③ シンクが右側にある「I型/食洗無/取手タイプ」をクリックします。
- ④ [テーブル] ダイアログから「間口 2400 / クリーム」をダブルクリックして選択します。
- ⑤ [簡易配置] が ON になっていることを確認します。
- ⑥ DK のコーナーにカーソルを移動し、右図の位置でクリックします。



部品の簡易配置

[簡易配置] を ON にすると、配置基準をもとに、部屋線に沿って部品が自動的に回転します。部屋の中央や隅コーナー部分に簡単に配置できます。

部品選択の表示

部品選択の表示には、[フル] [バック] [テーブル] があります。

フル : 一覧にすべてのアイテムを表示します。

バック : 一覧には代表のアイテムが表示され、その他のアイテムは、代表をクリックすると開く [バック] ダイアログから選びます。
代表は **P**、代表以外は **P** のマークが表示されます。

テーブル : サイズと色の種類が多いアイテムを表形式に並べて表示します。

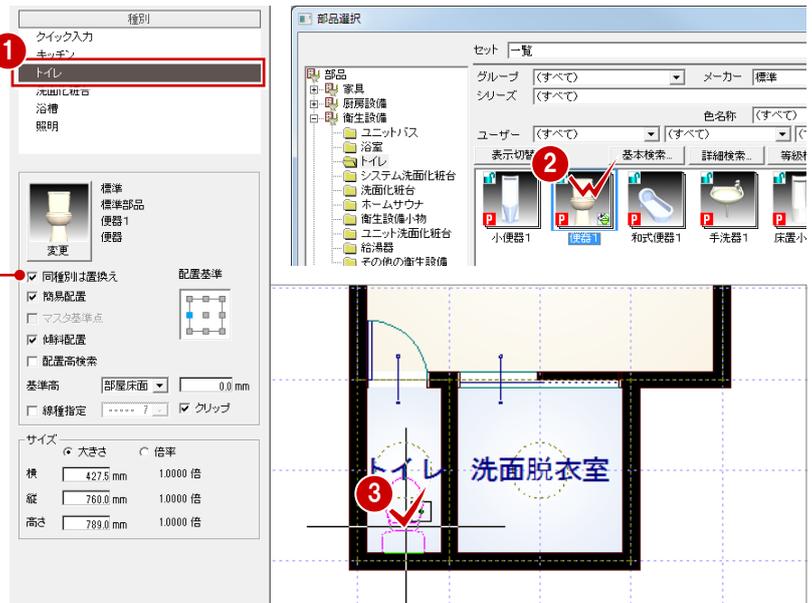
一覧には代表のアイテムが表示され、その他のアイテムは、代表をクリックすると開く [テーブル] ダイアログから選びます。
代表は **T**、代表以外は **T** のマークが表示されます。



－ 便器を入力する －

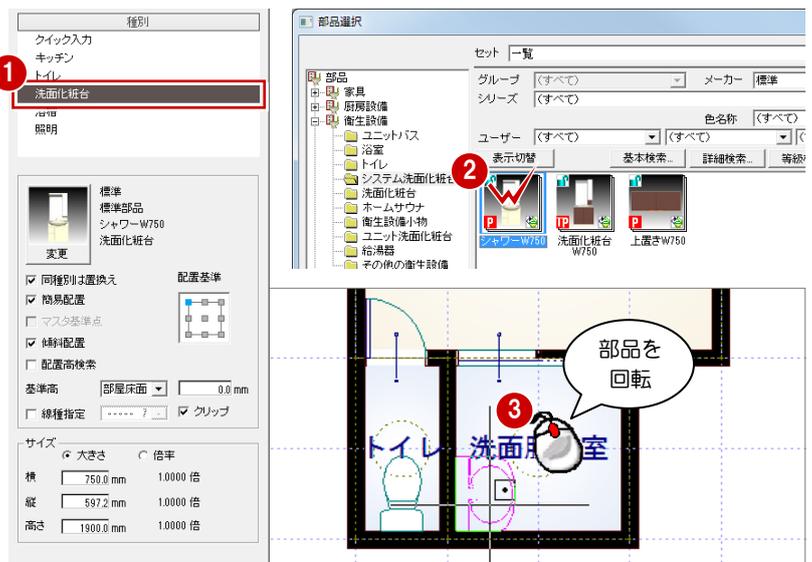
- ① [トイレ] をクリックします。
- ② 「便器 1」 をダブルクリックして選択します。
- ③ トイレの壁にカーソルを移動し、右図の位置でクリックします。

[同種別は置換え] を ON にして部品を入力すると、配置済みの部品と置き換えることができます（同じ種類の部品に限る）。部品を間違えて配置、リフォームで部品を入れ替える場合などに使用できます。

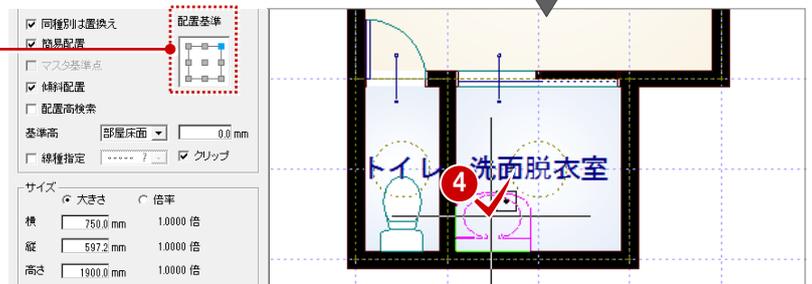


－ 洗面化粧台を入力する －

- ① [洗面化粧台] をクリックします。
- ② 「シャワーW750」 をダブルクリックして選択します。
- ③ 洗面脱衣室のコーナーにカーソルを移動し、マウスのホイールボタン（または無変換キー）を押します。部品の向きが回転します。
- ④ 右図の位置でクリックして配置します。



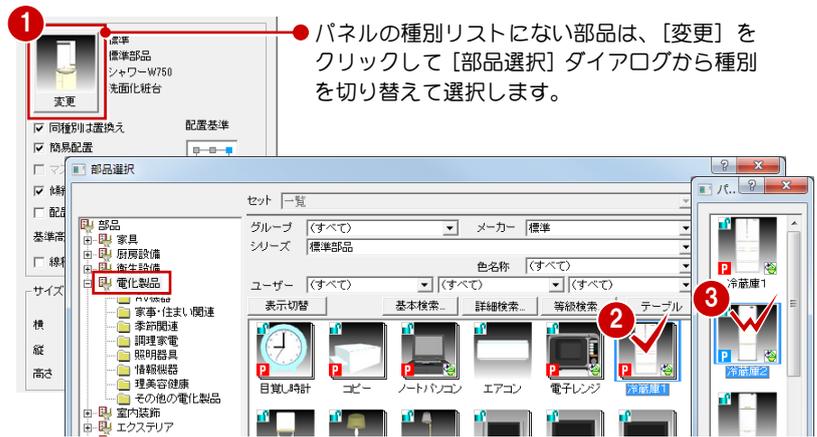
配置基準を変更することでも、部品の向きを変えられます。



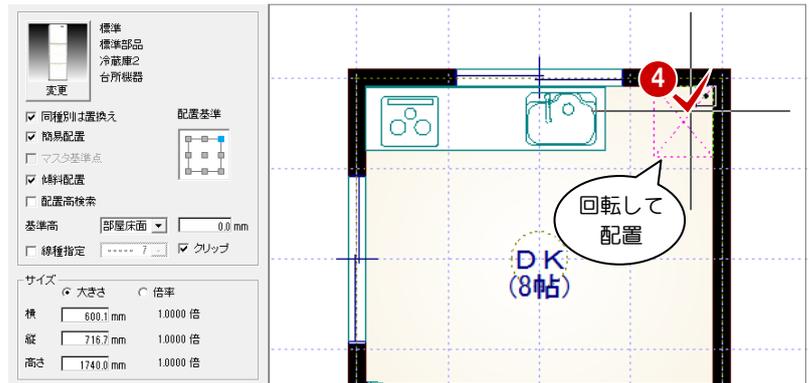
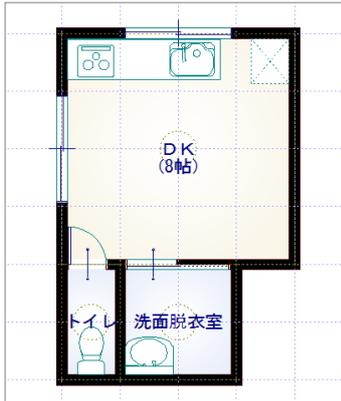
2 リフォームプランの作成

－ 冷蔵庫を入力する －

- 1 [変更] (サムネイル画像) をクリックします。
- 2 ツリーから「電化製品」を選び、一覧で「冷蔵庫 1」をクリックします。
- 3 [バック] ダイアログから「冷蔵庫 2」をダブルクリックして選択します。
- 4 DKのコーナーにカーソルを移動し、部品の向きを回転して、右図のように配置します。

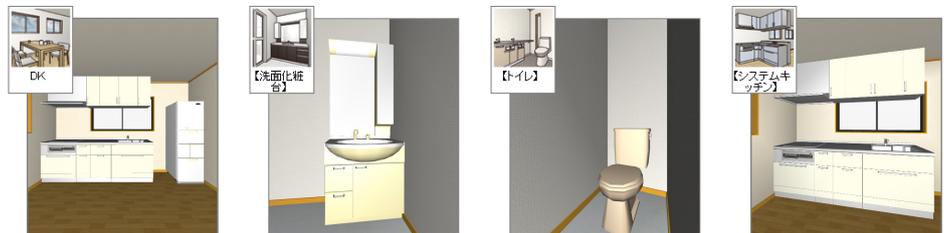


パネルの種別リストにない部品は、[変更] をクリックして [部品選択] ダイアログから種別を切り替えて選択します。



立体を確認する

- 1 [図面の切り替え] から「パース」を選んでパースモニタを開きます。
- 2 カメラをクリックして各部屋を確認しましょう。



システムカメラ

玄関や居室、住設機器の視点システムカメラとして自動登録されます。住設機器の視点は【 】で表記され、次の住設機器が対象です。

- ・ユニットバス : 分類「衛生設備」－種別「ユニットバス」の部品
- ・洗面化粧台 : 分類「衛生設備」－種別「システム洗面化粧台」または「洗面化粧台」の部品
- ・トイレ : 分類「衛生設備」－種別「トイレ」のうち、グループが「トイレユニット」または「腰掛便器」の部品
- ・システムキッチン : 分類「厨房設備」－種別「システムキッチン」または「ミニキッチン」または「IHシステムキッチン」の部品

なお、ユニットバスとトイレの視点は、部品が配置されている部屋に建具(戸)が必要です(建具の位置をもとに視点位置が設定されます)。

建具の高さを変更する

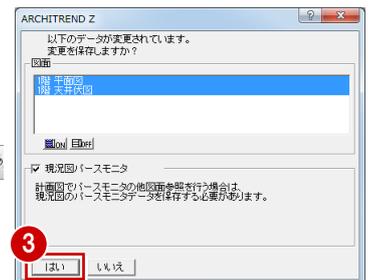
システムキッチンと引違窓が重なっている
ので、高さを変更しましょう。

- 1 パースモニタ上で引違窓をダブルクリック
します。
パネルにプロパティが表示されます。
- 2 次のように高さを変更して、[変更を適
用する] をクリックします。
[建具高] : 700 mm
[取付高] : -350 mm



データを保存する

- 1 [図面の切り替え] から「平面」を選んで
図面に戻ります。
- 2 フローティングバーの  をクリック
します。
- 3 確認画面で [はい] をクリックします。

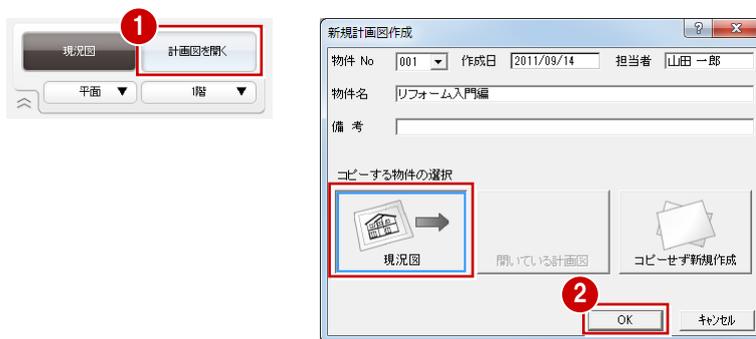


2-3 計画図データの作成

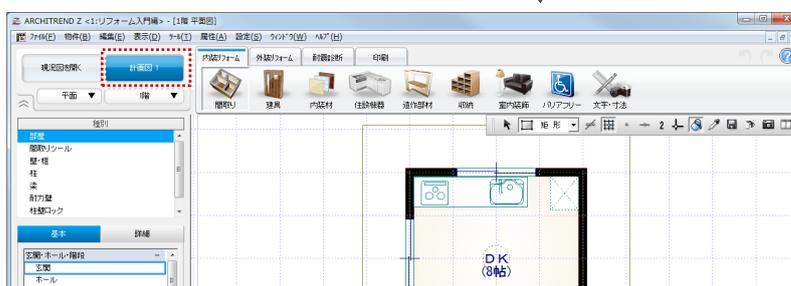
現況図ができれば、それをもとにリフォームの計画図を作成しましょう。現況図の図面を並べて表示しながら、計画図を作成していくこともできます。

計画図を開く

- ① [計画図を開く] をクリックします。
- ② [コピーする物件の選択] が [現況図] になっていることを確認して、[OK] をクリックします。
現況図がコピーされた状態で、計画図 1 が開きます。



- ※ 1つの現況図から複数の計画図を作成できます。計画図をもとに他の計画図を作成することも可能です (⇒P.57)。



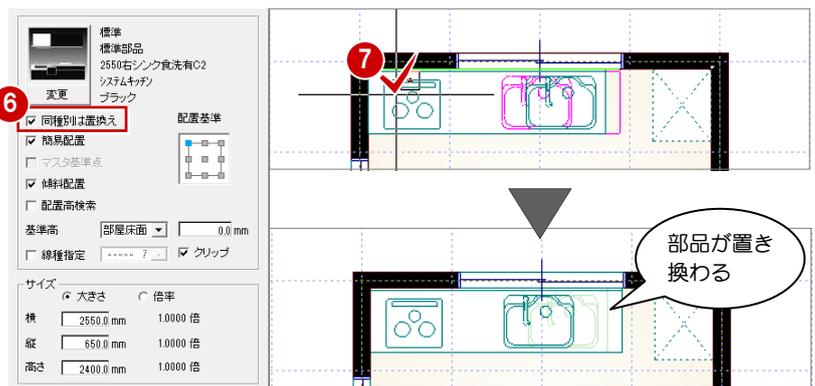
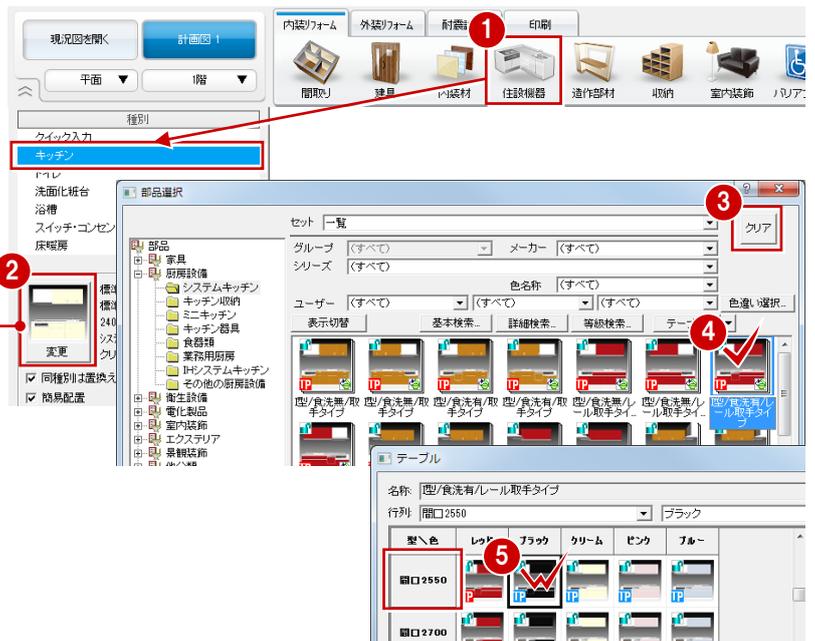
2-4 内装の変更

設備機器を入力する

－ システムキッチンを入力する －

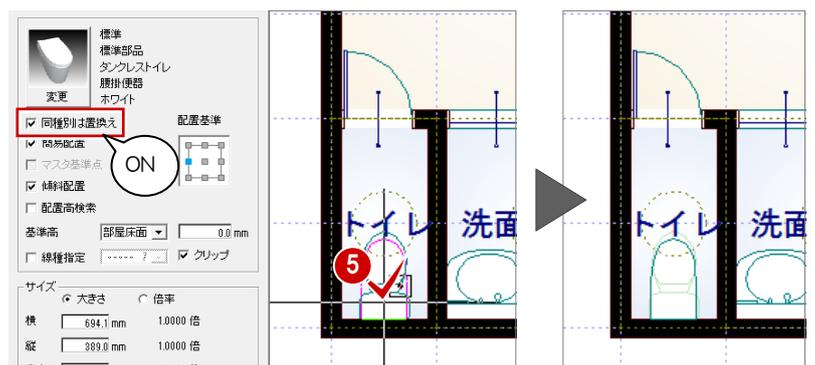
- 1 [住設機器] をクリックして、[キッチン] を選びます。
- 2 [変更] (サムネイル画像) をクリックします。

リフォームエディションの起動中は、種別毎に前回選択した部品を記憶しています。他の部品を選ぶには、[変更] をクリックします。
- 3 [クリア] をクリックして、すべてのアイテムを表示させます。
- 4 シンクが右側にある「I型/食洗有/レール取手タイプ」をクリックします。
- 5 [テーブル] ダイアログから「間口 2550 / ブラック」をダブルクリックして選択します。
- 6 [同種別は置換え] が ON であることを確認します。
- 7 DKのコーナーにカーソルを移動し、右図の位置でクリックします。



－ 便器を入力する －

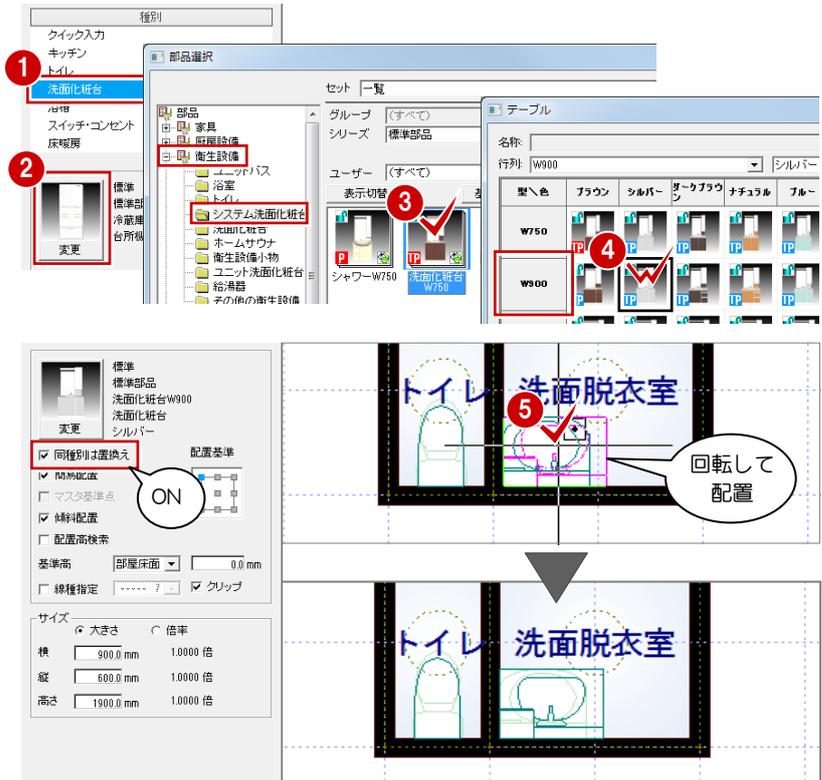
- 1 [トイレ] をクリックします。
- 2 [変更] (サムネイル画像) をクリックします。
- 3 「便器 1」 をクリックします。
- 4 [パック] ダイアログから、ホワイトの「タンクレストイレ」をダブルクリックして選択します。
- 5 トイレの壁にカーソルを移動し、右図の位置でクリックします。



2 リフォームプランの作成

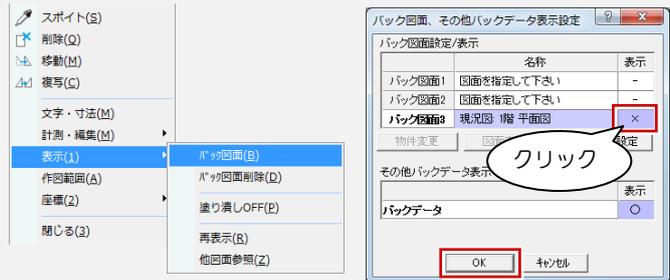
－ 洗面化粧台を入力する －

- ① [洗面化粧台] をクリックします。
- ② [変更] (サムネイル画像) をクリックします。
- ③ ツリーから「衛生設備」の「システム洗面化粧台」を選び、一覧で「洗面化粧台 W750」をクリックします。
- ④ [テーブル] ダイアログから「W900/シルバー」をダブルクリックして選択します。
- ⑤ 洗面脱衣室のコーナーにカーソルを移動し、部品の向きを回転して、右図のように配置します。



バック図面

計画図では、現況図が薄緑色の線でバック表示されています。バック図面を非表示にするには、ポップアップメニューから [表示] の [バック図面] を選び、[バック図面 3] の表示を「×」に変更して [OK] をクリックします。プルダウンメニューから [ファイル] の [バック図面・バックデータ] の [バック図面表示] を選んでも同様です。なお、バック図面を削除するには、ポップアップメニューから [表示] の [バック図面削除] を選びます。



立体を確認する

- ① [図面の切り替え] から「パース」を選んでパースモニタを開きます。
- ② カメラをクリックして各部屋を確認しましょう。



内壁仕上を変更する

－ 部屋内すべての内壁仕上を変更する －

- 1 [内装リフォーム] タブの [内装材] をクリックして、[壁仕上張り替え] をクリックして、[壁仕上張り替え] を選びます。
- 2 対象が [部屋] であることを確認します。
- 3 変更後のクロスを選びます。
ここでは、「No.2: ビニールクロス B」を選択します。
- 4 仕上を変更したい部屋（ここでは「DK」）をクリックします。
部屋内のクロスが変わります。

内壁仕上マスタとは

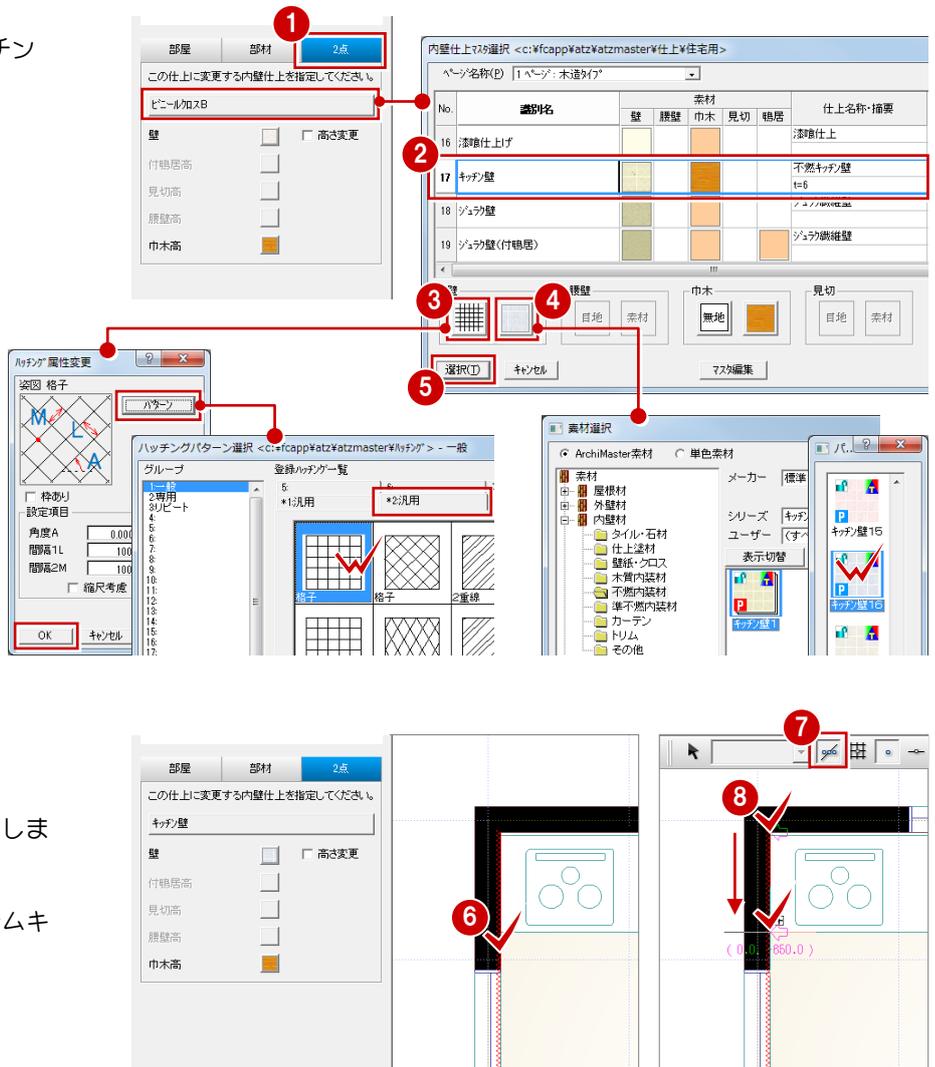
仕上の仕様や素材、厚みなどの情報を設定しておくところです。マスタから選択すると、これらの情報がまとめて変更されます。



－ 内壁仕上を部分的に変更する －

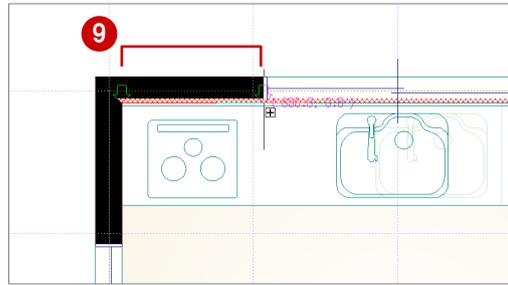
システムキッチンのコンロ部分をキッチン壁に変更しましょう。

- 1 対象を [2点] に変更します。
- 2 変更後のクロスを選びます。
ここでは、「No.17: キッチン壁」を選びます。
- 3 展開図でわかりやすいように目地を変更します。
ここでは、[パターン] をクリックして、[2: 汎用] タブの「格子」を選びます。
- 4 パースで表現する素材を変更します。
ここでは、「キッチン壁 16」を選びます。
- 5 [選択] をクリックします。
- 6 分割する仕上をクリックします。
- 7 [端点・交点ピック] を ON にします。
- 8 分割点として、右図のようにシステムキッチンの端点をクリックします。
仕上が分割されます。



2 リフォームプランの作成

- 9 同様に、右図の位置も仕上を分割します。
- 仕上が部分的に変更されたことをパースモニタで確認できます。



壁仕上張り替えの対象

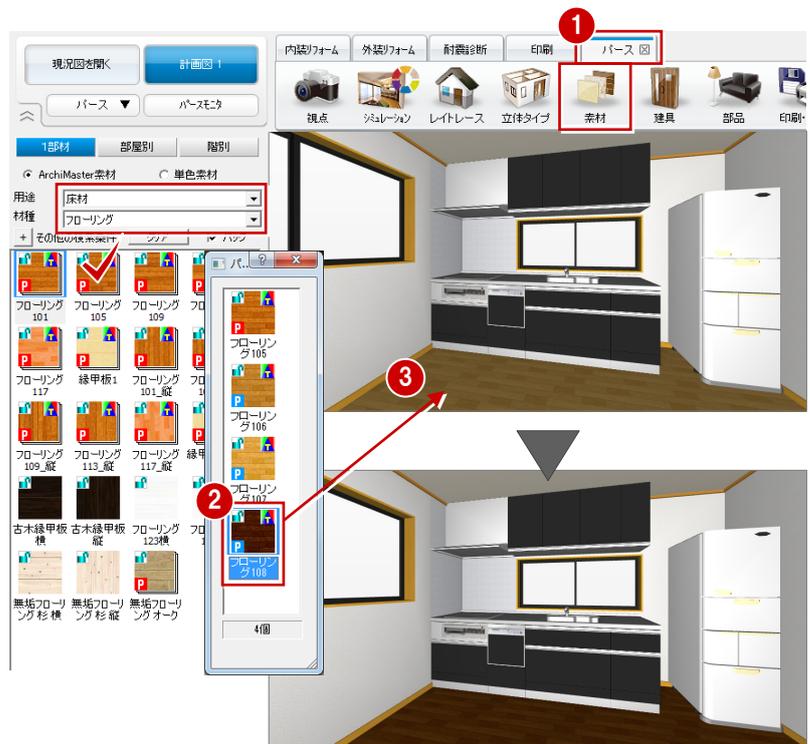
[部屋] [部材] [2点] は、張り替える対象によって使い分けます。

- ・ [部屋]：指定した部屋内部に配置されている内壁仕上すべてと、部屋の壁仕上情報を変更します。
- ・ [部材]：指定した内壁仕上のみを変更します。
- ・ [2点]：指定した内壁仕上のうち、分割した部分のみ変更します。

パースから素材を変更する

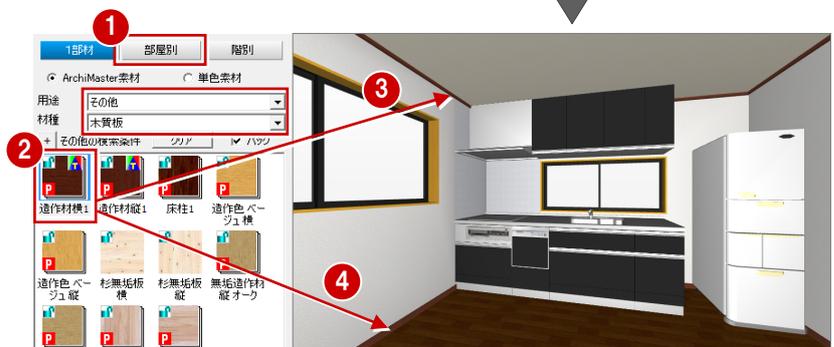
－ フローリングの素材を変更する －

- 1 [パース] タブの [素材] をクリックします。
- 2 変更後の素材を選びます。
[用途]：床材
[材種]：フローリング
[品名]：フローリング 108
- 3 パースモニタの床へ、素材をドラッグ&ドロップします。
フローリングの素材が変わります。



－ 廻縁・巾木の素材を変更する －

- 1 対象を [部屋別] に変更します。
- 2 変更後の素材を選びます。
[用途]：その他
[材種]：木質板
[品名]：造作材横 1
- 3,4 廻縁と巾木へ、素材をドラッグ&ドロップします。
部屋内すべての廻縁と巾木の素材が変わります。



素材変更の対象

[1部材] [部屋別] [階別] は、変更する対象によって使い分けます。

- ・ [1部材]：指定した面（ドラッグ先）だけを変更します。
- ・ [部屋別]：指定した面と同じ部屋内の同一部材すべてを変更します。
- ・ [階別]：指定した面と同じ階の同一部材すべてを変更します。

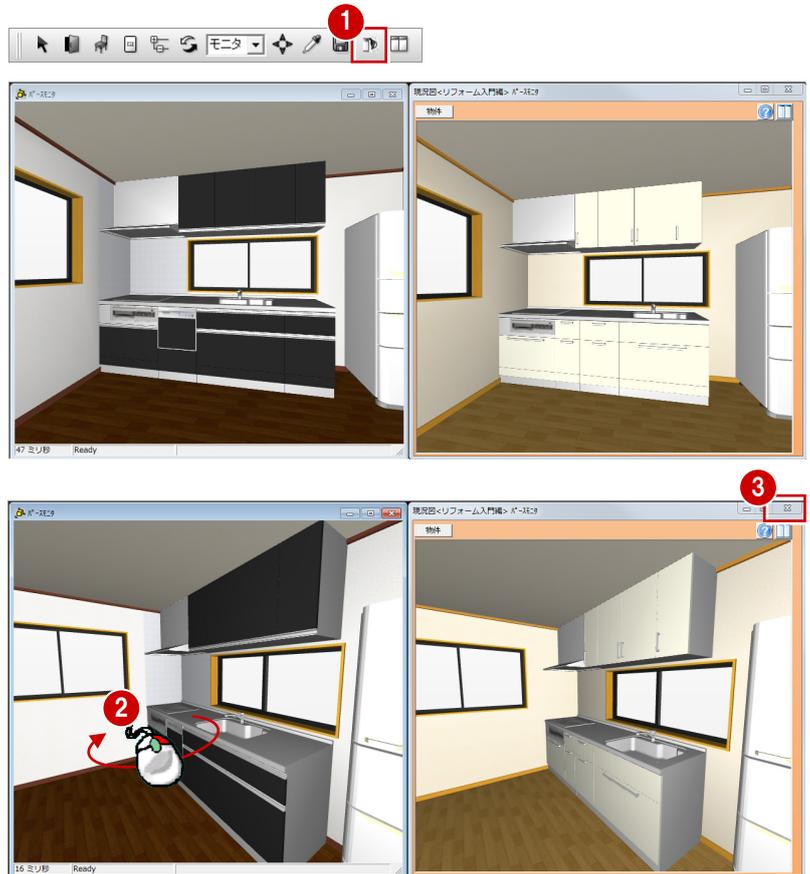
なお、外壁や外構など部屋に属さない部材は、[部屋別] と [階別] の変更結果は同じになります。

変更前と比較する

- 1 フローティングバーの  をクリックします。
現況図のパーツが並べて表示されます。
- 2 視点を変更してみましょう。
現況図のパーツも同時に動きます。

※ 現況図のパーツから視点を変更しても、同様に同じ視点で表示されます。

- 3 確認が終了したら、[現況図] ウィンドウを閉じます。



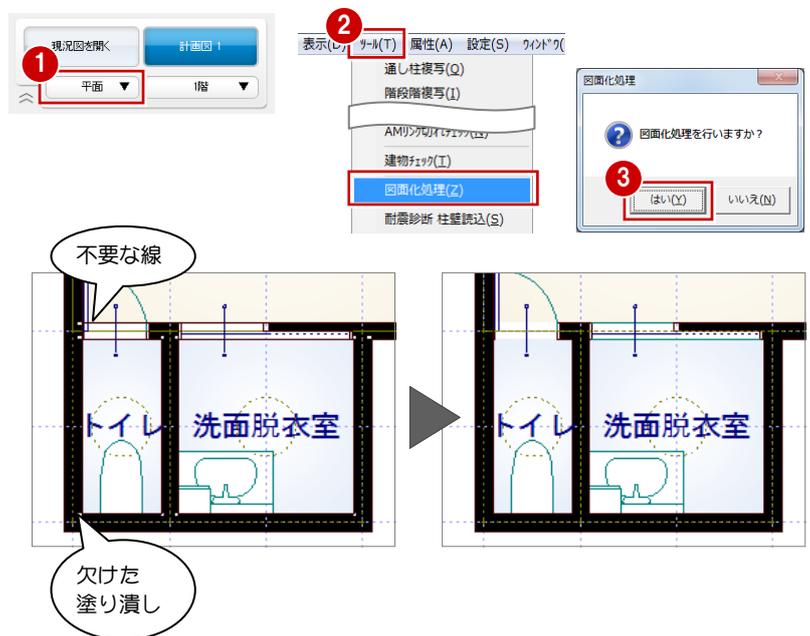
図面化処理を実行する

壁や仕上の編集などで、壁の塗り潰しが一部欠けたり不要な線が表示される場合があります。これをきれいに仕上げましょう。

- 1 [図面の切り替え] から「平面」を選んで図面に戻ります。
- 2 プルダウンメニューから [ツール] の [図面化処理] を選びます。
- 3 確認画面で [はい] をクリックします。

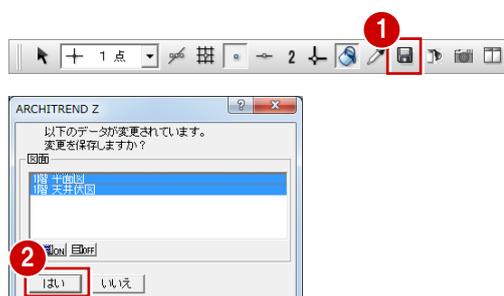
右ダブルクリック

図面化処理は、CAD 画面で右ダブルクリックしても実行できます。



データを保存する

- 1 フローティングバーの  をクリックします。
- 2 確認画面で [はい] をクリックします。



2-5 パースの作成

視点（アングル）を設定して、DKの内観パースを作成しましょう。ARCHITREND Z リフォームエディションでは、難しい設定をすることなく、簡単にパースを作成でき、画像ファイルとして保存できます。

視点を設定する

[パース] タブに戻り、 [視点コントロール] や  [視点モニタ] を使って、視点を設定しましょう。

⇒ 視点の設定方法については、P.20 参照



カメラを登録する

- 1 [視点] をクリックして、[ユーザーカメラ] を選びます。
- 2 [追加] をクリックします。
現在の視点位置のカメラが登録されます。



カメラの名称を変更する

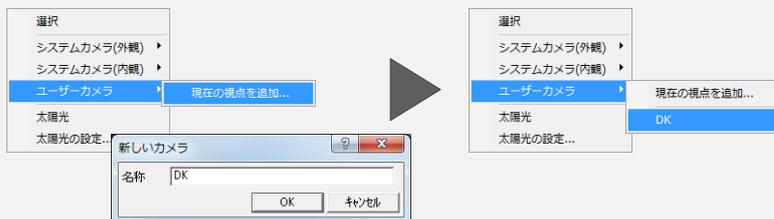
- 1 登録されたカメラを選択して、[名前の変更] をクリックします。
- 2 カメラの名称（ここでは「DK」）を入力して、Enter キーを押します。



ポップアップメニュー

ポップアップメニューの [ユーザーカメラ] から [現在の視点を追加] をクリックしても、カメラの登録が可能です。この場合は、登録時にカメラの名称を入力します。

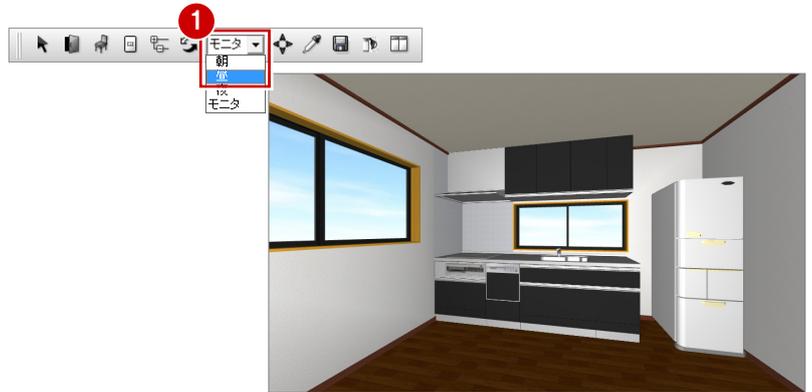
また、ポップアップメニューから各カメラの視点に変更できます。



背景・光源を設定する

- 1 [背景/光源モード] を「昼」に変更します。

パースモニタの背景画像と太陽光などの環境が「昼」に変更されます。



作成イメージを確認する

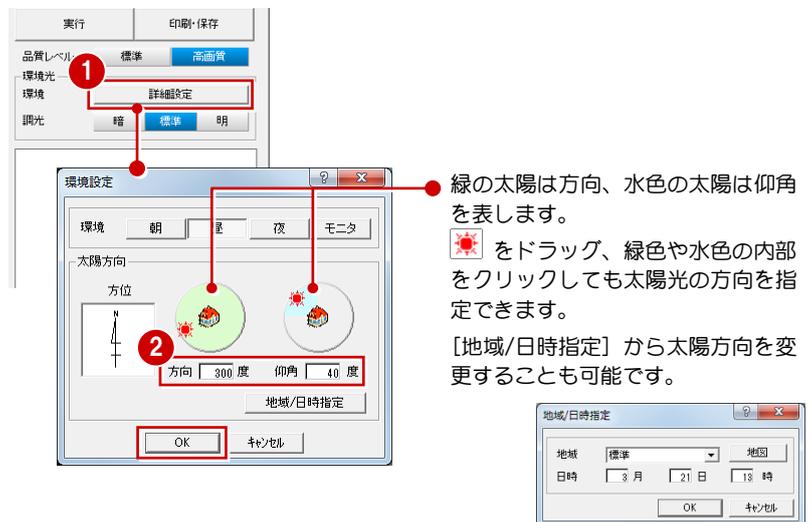
- 1 [レイトレース] をクリックします。
- 2 [品質レベル] で [高画質] を選びます。
- 3 [実行] をクリックします。

レイトレースを中止するには
タイトルバーやウィンドウをクリックします。
または、他コマンドを実行、Esc キーを押しても
中止できます。



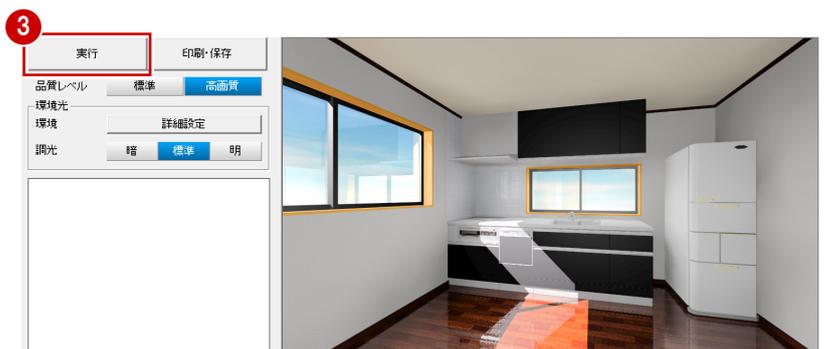
太陽の方向を変更する

- 1 [詳細設定] をクリックします。
- 2 太陽の方向と仰角を設定します。
ここでは、次のように設定して [OK] を
クリックします。
[方向] : 300 度
[仰角] : 40 度
- 3 [実行] をクリックして作成イメージを確認
します。



右ダブルクリック

レイトレースは、パース画面で右ダブルクリック
しても実行できます。



品質レベルと環境光の設定

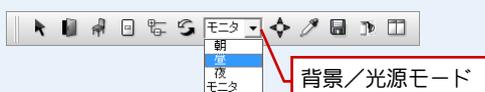
品質レベルには【標準】と【高画質】があり、それぞれ【環境】や【調光】の設定によって作成される画像の表現が異なります。

※ 下図は【背景/光源モード】が「モニタ」の場合のレイトレーシング結果



また、背景や太陽光などは【背景/光源モード】の切り替えで変更されます。

プルダウンメニューから【設定】の【設定】を選び、【パースモニタ】の【背景・太陽光】で、それぞれの背景、太陽光の有無や明るさなどを設定しておけます。



なお、【標準】と【高画質】では、【詳細設定】の内容や参照が異なります。



【標準】の詳細設定

【背景/光源モード】により、【設定】の背景と太陽光が読み込まれます。【太陽光】がONの場合に、太陽光や影の設定を変更できます。



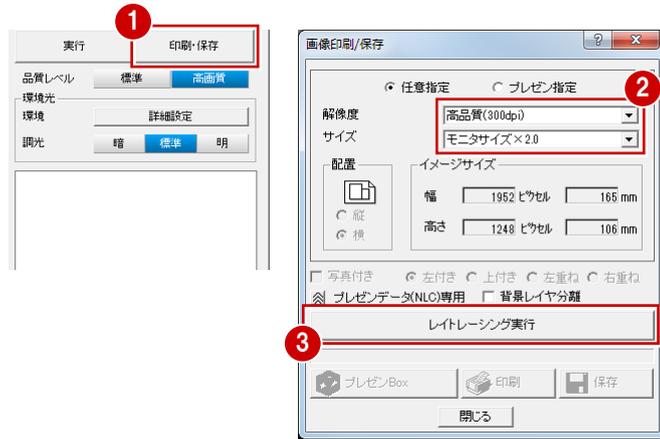
【高画質】の詳細設定

【背景/光源モード】により、【設定】の背景と太陽光が読み込まれます。ただし太陽光の明るさ・色は、モードごとにプログラム固定です。

【高画質】で夜のパースを作る場合
【高画質】で夜のパースを作る場合は、環境による光源がないため、部品光源が必要です。

画像を作成する

- 1 [印刷・保存] をクリックします。
- 2 解像度、サイズを設定します。
ここでは、次のように設定します。
[解像度]：高品質（300dpi）
[サイズ]：モニタサイズ×2.0
- 3 [レイトレーシング実行] をクリックします。



作成イメージを確認している

P.41の[レイトレース]の[実行]を行うと、[画像印刷/保存]ダイアログの「モニタサイズ×1.0」の設定において、[印刷]と[保存]が有効になっています。
サイズを変更しない場合は、そのまま画像保存と印刷が可能です。

画像サイズの設定

きれいな印刷結果を得るためには、作成する画像のサイズが大き必要があります。ただし、大きければ大きいほど処理に時間がかかり、データ容量も大きくなります。一般的に、印刷用には1600×1200ピクセル程度は必要です。ここでは、[イメージサイズ]の幅と高さが「1600×1200ピクセル程度」となるように、「モニタサイズ×2.0」を選んでいきます。

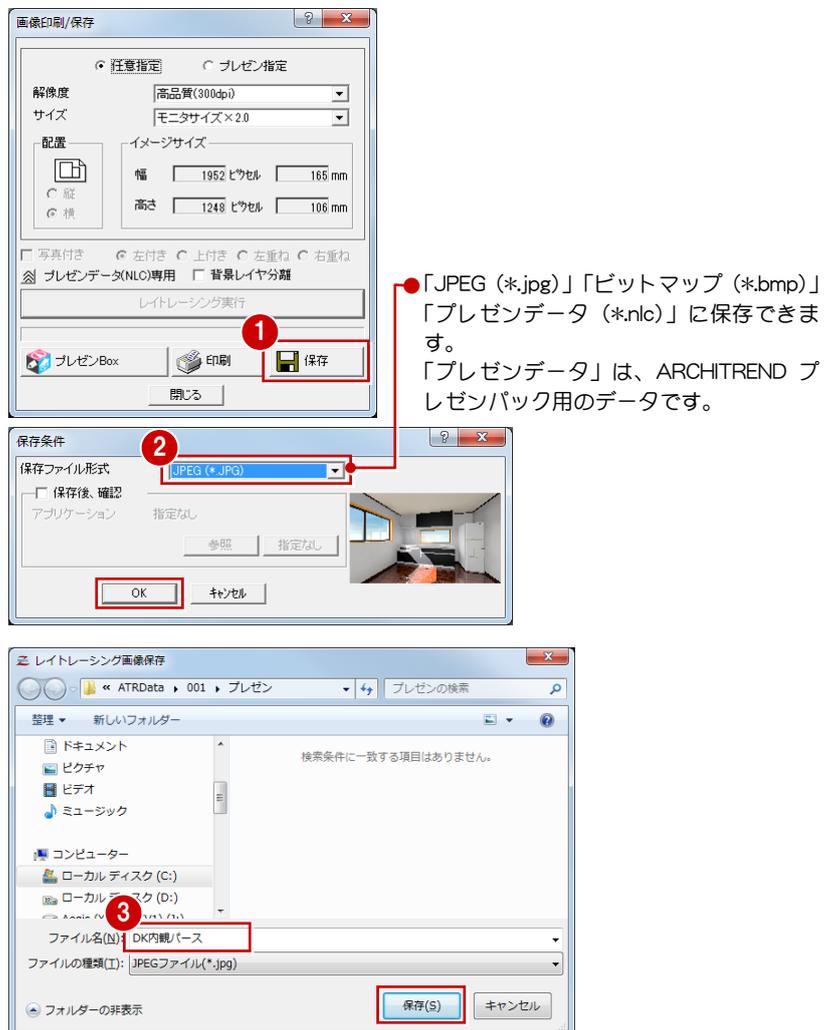
なお、[任意指定]と[プレゼン指定]の違いは次の通りです。

- ・[任意指定]：基本的に現在のモニタサイズをベースにして画像を作成するため、モニタ表示そのまま画像を作成できます。
- ・[プレゼン指定]：用紙サイズを決めて印刷する場合に使用しますが、用紙サイズとモニタサイズは異なるため、モニタの表示状態とは異なり、両サイドや上下が若干切れたりすることがあるので、注意が必要です。

画像を保存する

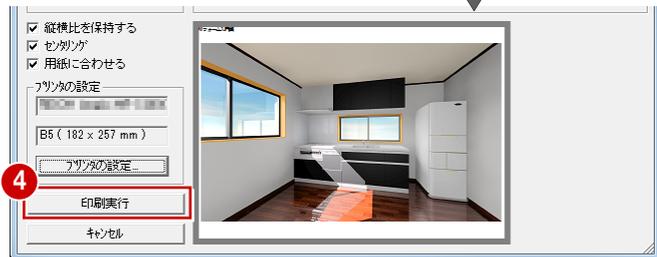
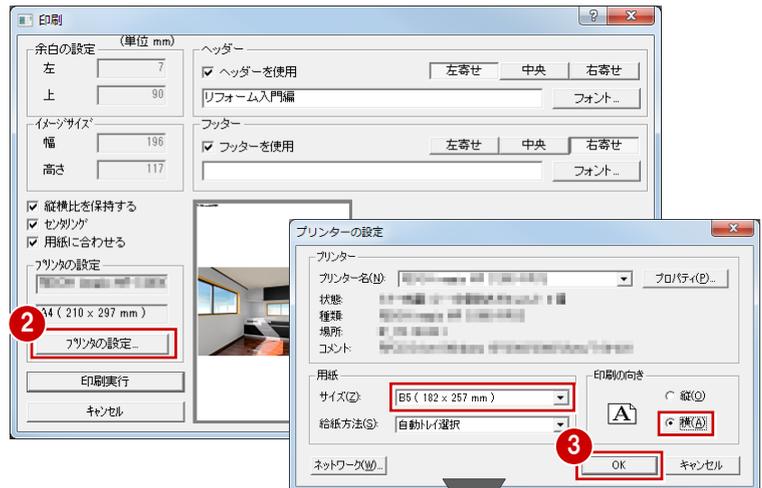
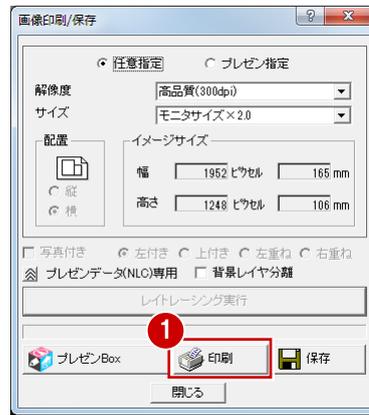
レイトレーシングが終了すると、[保存]と[印刷]が有効になりますので、画像を保存しましょう。

- 1 [保存] をクリックします。
- 2 保存ファイル形式（ここでは「JPEG」）を確認して、[OK] をクリックします。
- 3 ファイル名（ここでは「DK内観パース」）を入力して、[保存] をクリックします。画像ファイルが保存されます。



画像を印刷する

- ① [印刷] をクリックします。
- ② [プリンタの設定] をクリックします。
- ③ 用紙サイズや向きを設定して、[OK]をクリックします。
ここでは、次のように設定します。
[サイズ] : B5 (182×257 mm)
[印刷の向き] : 横
- ④ [印刷実行] をクリックします。
- ⑤ 印刷が終了したら、[閉じる] をクリックします。



印刷が開始されます。



パースモニタデータを保存する

- ① パース用フローティングバーの [保存] をクリックします。
- ② 確認画面で [はい] をクリックします。



2-6 展開図の作成

DKの展開図を作成しましょう。展開図は、部屋と視点方向を指定するだけで、簡単に作成することができます。また、図面に仕上仕様や寸法線を追加してみましょう。

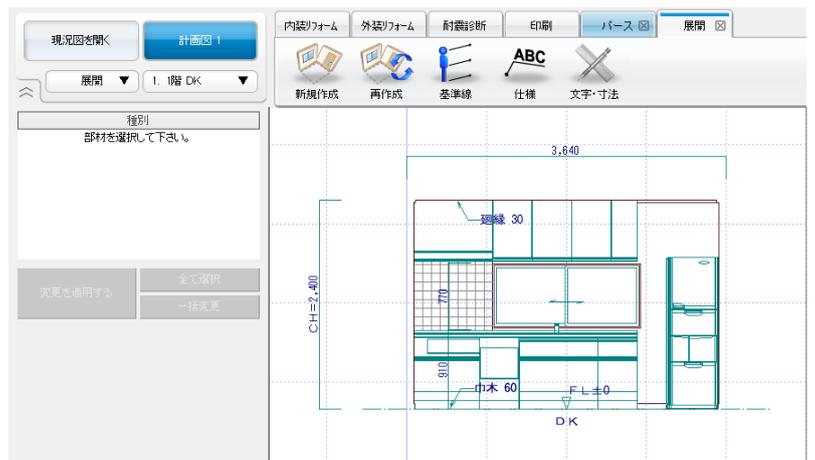
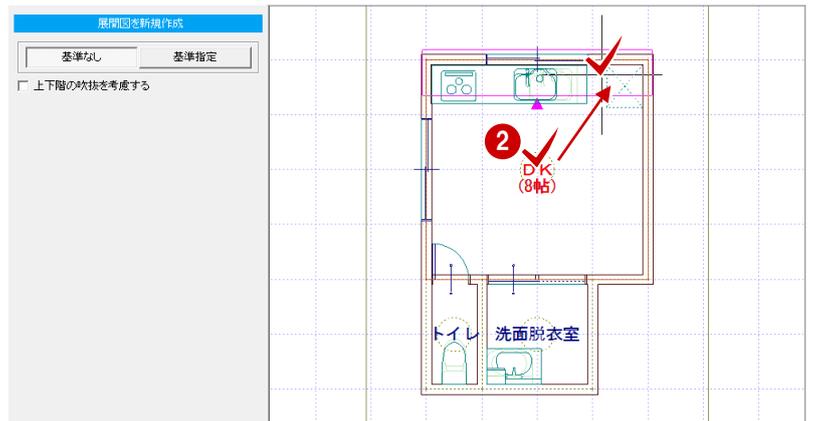
展開図を自動作成する

- 1 [図面の切り替え] から「展開」を選びます。
視点設定の画面が表示されます。
- 2 作成する部屋、壁面（視点方向）の順にクリックします。
指定した面の展開図が作成されます。

切断面を指定するには

展開図の切断位置を指定したい場合は、視点設定時に [基準指定] をクリックすると、作成する部屋、壁面（視点方向）の次に、切断線の位置を指定できます。

なお、部品に切断線がかかる場合は、部品の切断位置に関わらず、部品全体の見付表現として描画されます。

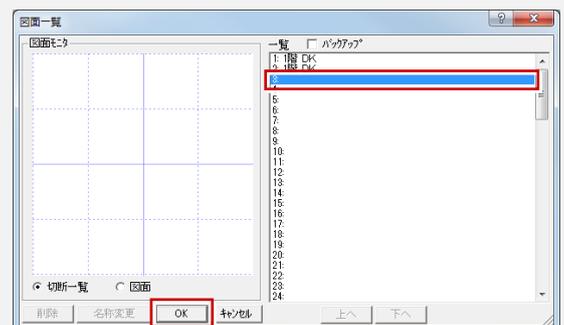


次回、展開図を開いたときは

展開図を保存して終了し、次回展開図を開いたときには [図面一覧] ダイアログが表示されます。

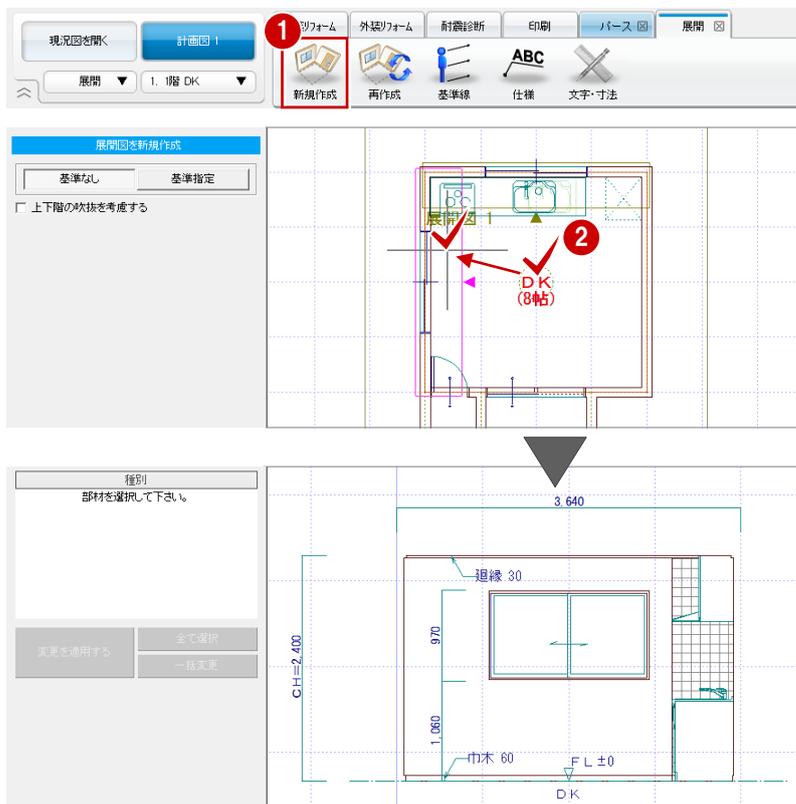
作成する面を指定して [OK] をクリック（または、面をダブルクリック）すると、視点設定（上記手順②）の状態になります。

なお、[図面一覧] ダイアログでは、保存されている展開図の切断位置や図面内容の確認、削除、名称変更などが行えます。



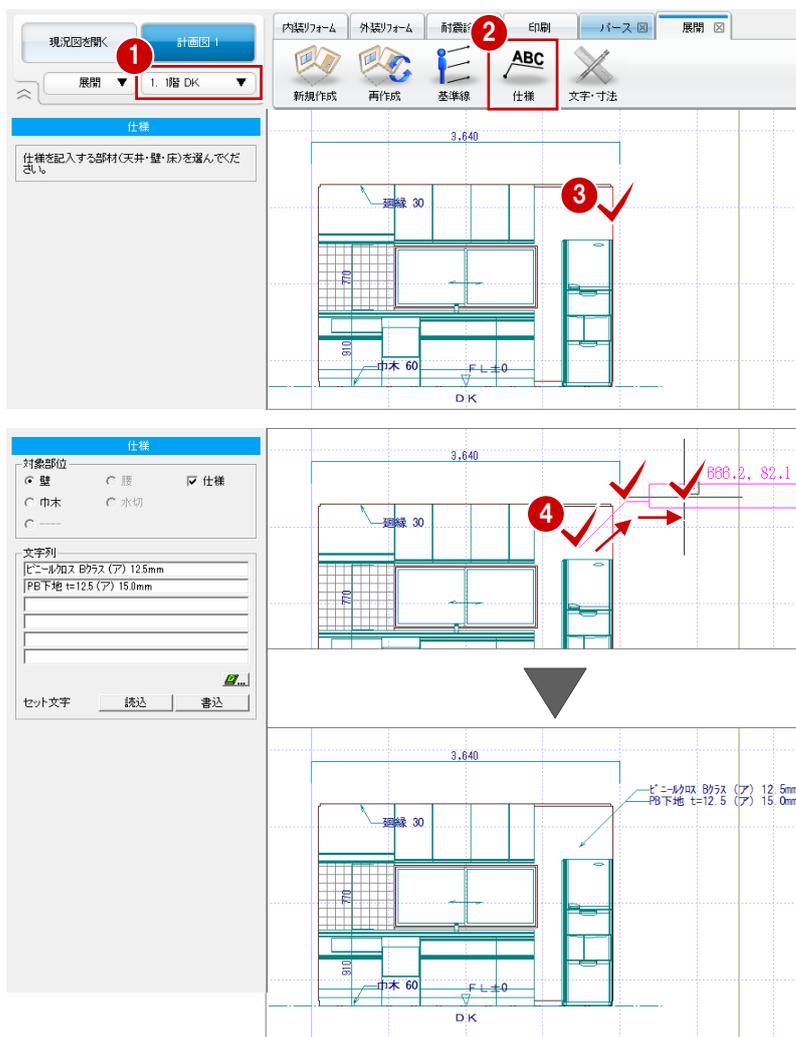
他の面を作成する

- 1 [新規作成] をクリックします。
視点設定の画面が表示されます。
- 2 同様にして、DK 西側の展開図を作成します。

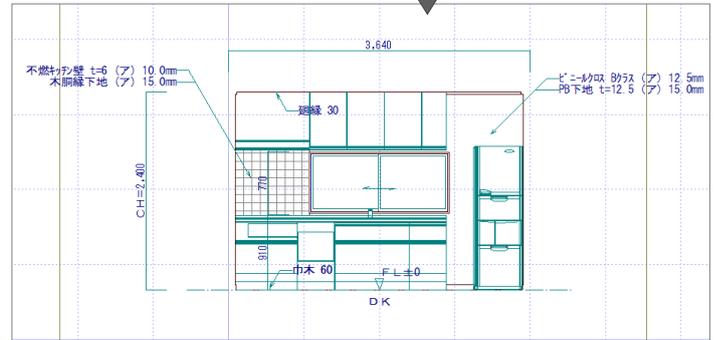
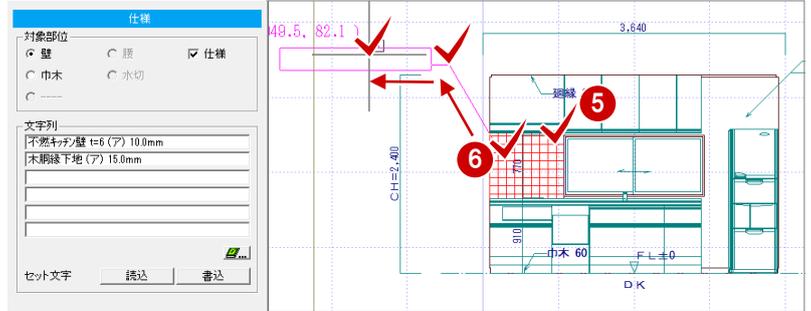


仕上仕様を入力する

- 1 [階・面の切り替え] から「1面」を選びます。
- 2 [仕様] をクリックします。
- 3 仕様を記入する部材（ここでは壁仕上）をクリックします。
- 4 引出線の始点、終点、文字列の方向の順にクリックします。



- ⑤⑥ 同様にして、キッチン壁の部分にも仕上仕様の引出線を入力します。



寸法を入力する

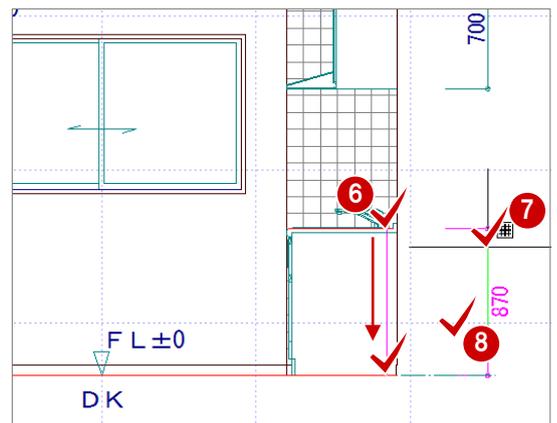
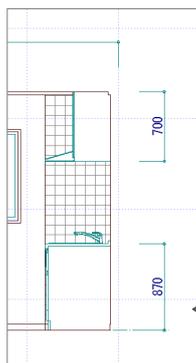
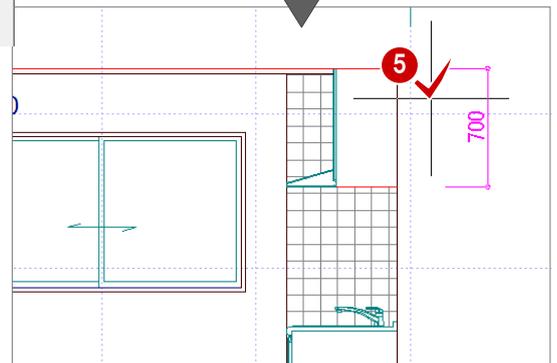
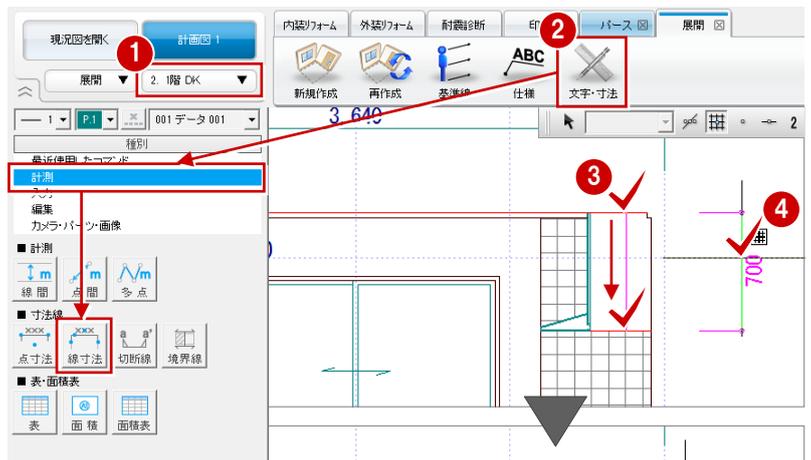
- ① [階・面の切り替え] から「2面」を選びます。
- ② [文字・寸法] をクリックして、[計測] の [線寸法] を選びます。
- ③ 寸法を計測する2つの線分をクリックします。ここでは、吊戸棚の上端と下端を指定します。
- ④ 寸法線の位置をクリックします。
- ⑤ 寸法文字の位置をクリックします。

寸法線の設定

寸法線の位置をクリックするとき、[寸法 (線間) 入力] ダイアログで補助線の足をつけるかどうか、寸法値の位置を固定するかどうかの設定が可能です。

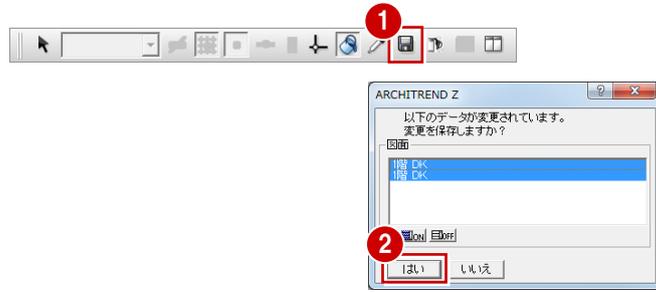


- ⑥~⑧ 同様にして、流し台の上端と床面をクリックして寸法を入力します。



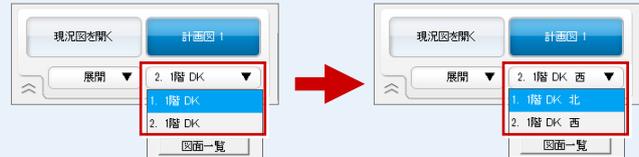
データを保存する

- 1 フローティングバーの  をクリックします。
- 2 確認画面で [はい] をクリックします。



図面名を変更するには

作成した展開図は、どちらも図面名が「1階 DK」のため、判別しやすいように図面名称を変更しておくといでしょう。



■ 現在開いている図面名を変更するには

- 1 プルダウンメニューから [ファイル] の [図面名変更] を選びます。
- 2 図面名を変更して、[OK] をクリックします。



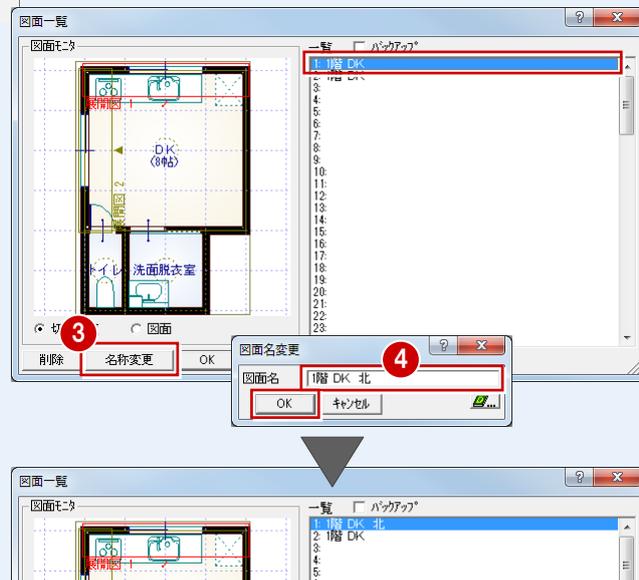
■ 図面一覧でまとめて変更するには

この操作では、開いている図面の名称は変更できないため、一旦展開図を閉じます。

- 1 [展開] タブの [×] をクリックします。
- 2 [図面の切り替え] から「展開」を選びます。



- 3 [図面一覧] ダイアログから変更する面を選んで、[名称変更] をクリックします。
- 4 図面名を変更して、[OK] をクリックします。

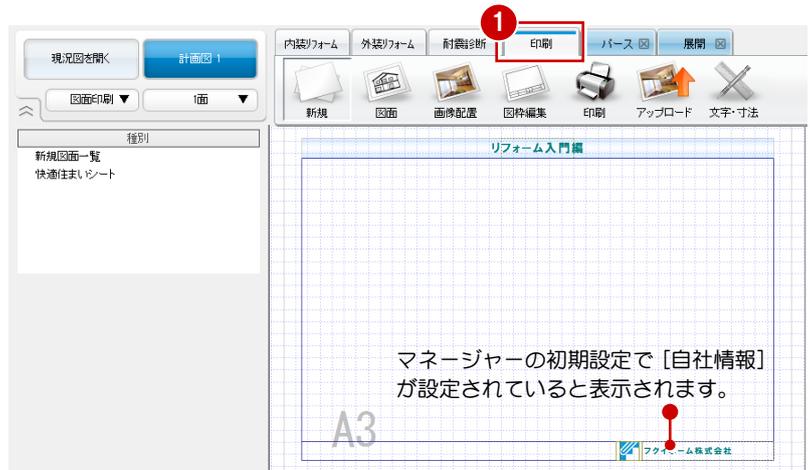


2-7 図面の印刷

作成した図面をレイアウトして、印刷してみましょ。この章では、A3サイズの図面枠を使って図面を印刷する流れを解説します。

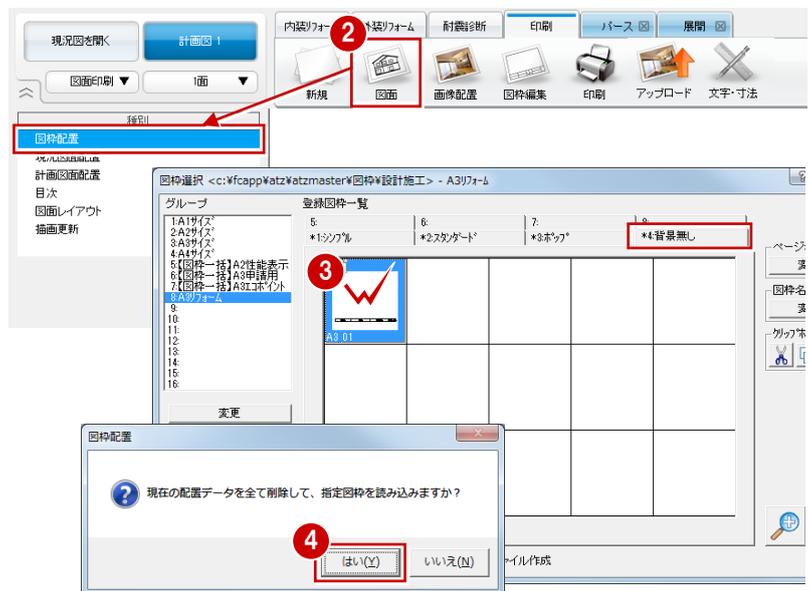
図枠を配置する

- 1 [印刷] タブをクリックします。
図面レイアウト用の画面が表示されます。



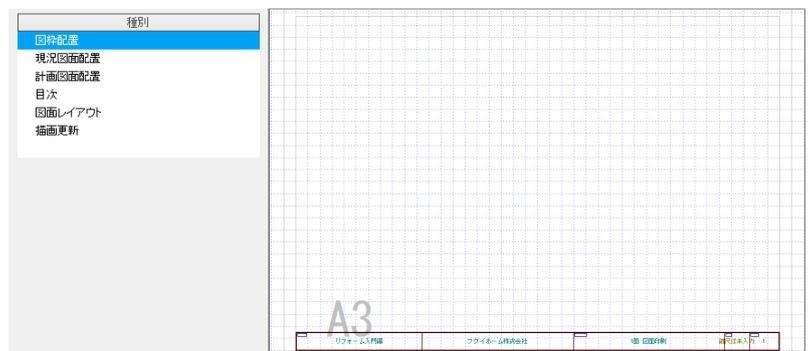
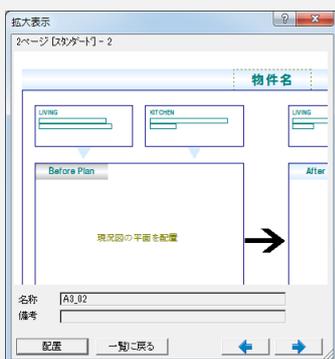
図面枠を変更しましょう。

- 2 [図面] をクリックして、[図枠配置] を選びます。
- 3 配置したい図面枠を選びます。
ここでは、[4:背景無し] タブの「A3_01」をダブルクリックして選択します。
- 4 確認画面で [はい] をクリックします。
図面枠が変更されます。



拡大表示

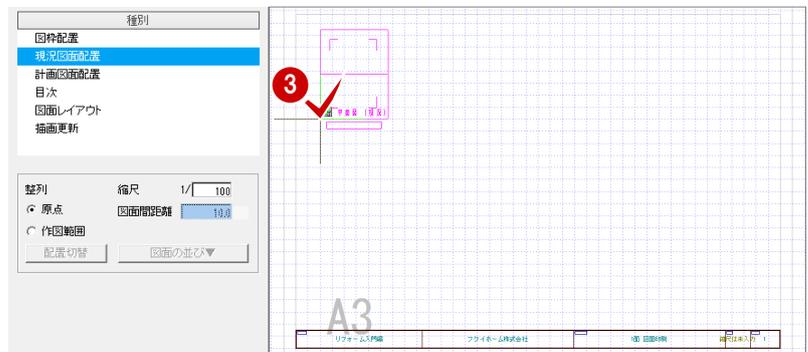
[図枠選択] ダイアログの  をクリックすると、拡大して登録内容を確認できます。



図面を配置する

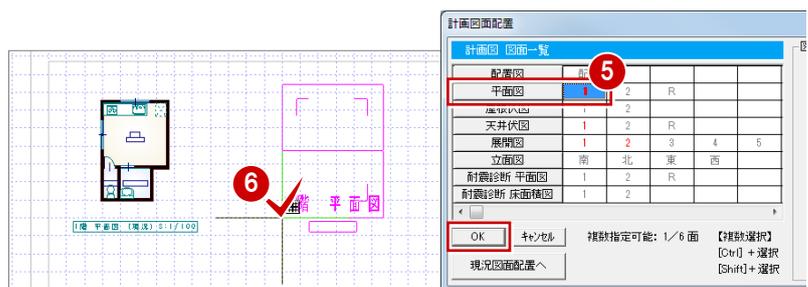
－ 現況図（平面図）を配置する －

- ① [現況図面配置] をクリックします。
- ② 平面図の「1」を選んで、[OK] をクリックします。
平面図の1階を配置する状態になります。
- ③ 図面の配置位置をクリックします。



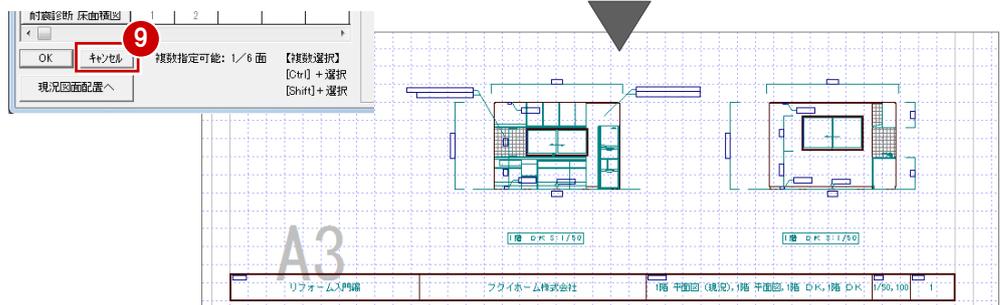
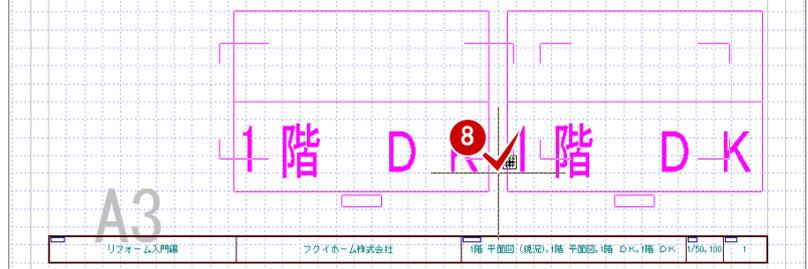
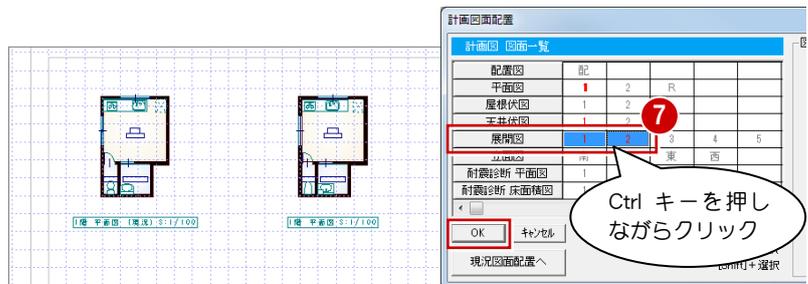
－ 計画図（平面図）を配置する －

- ④ 再度 [現況図面配置] ダイアログが開くので、[計画図面配置へ] をクリックします。
[計画図面配置] ダイアログが開きます。
- ⑤⑥ 現況図と同様にして、平面図の1階を配置します。



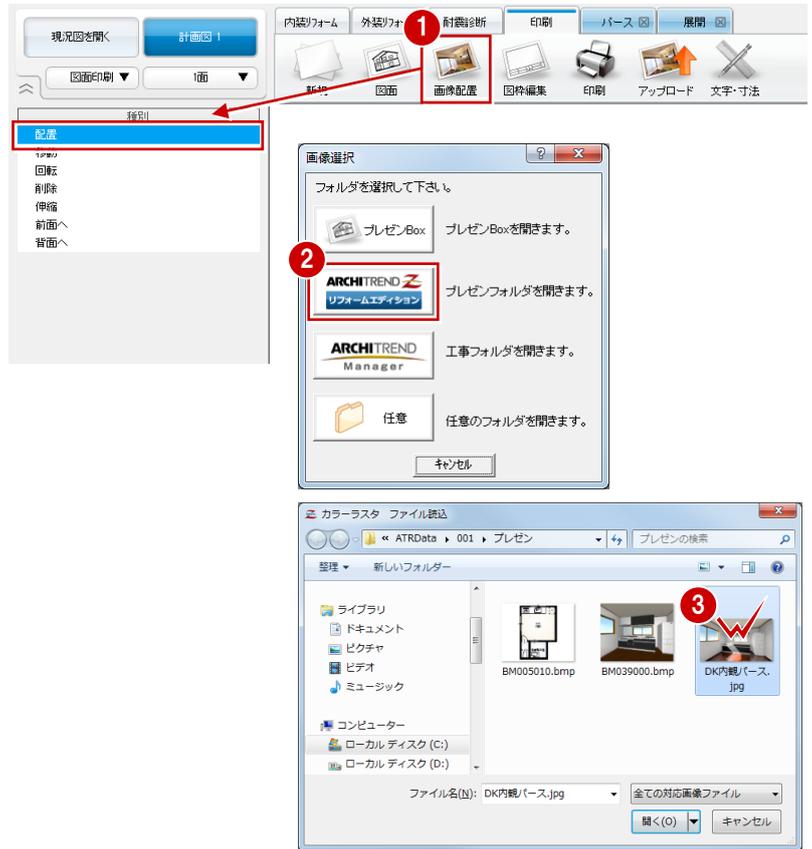
－ 計画図（展開図）を配置する －

- ⑦ 展開図の「1」をクリックして、Ctrl キーを押しながら「2」をクリックします。
1面・2面が選択された状態になったことを確認して、[OK] をクリックします。
- ⑧ 図面の配置位置をクリックします。
- ⑨ 再度 [計画図面配置] ダイアログが開くので、[キャンセル] をクリックします。

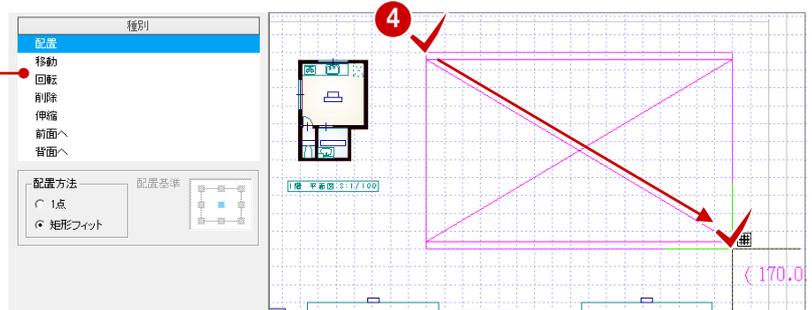


パースを配置する

- ① [画像配置] をクリックして、[配置] を選びます。
- ② [画像選択] ダイアログで [ARCHITREND Z リフォームエディション] をクリックします。
現在開いている物件の [プレゼン] フォルダを開きます。
- ③ 画像をダブルクリックして選択します。
- ④ 画像を配置する範囲を矩形で入力します。ここで指定した範囲に納まるように画像が配置されます。
- ⑤ 再度 [画像選択] ダイアログが開くので、[キャンセル] をクリックします。



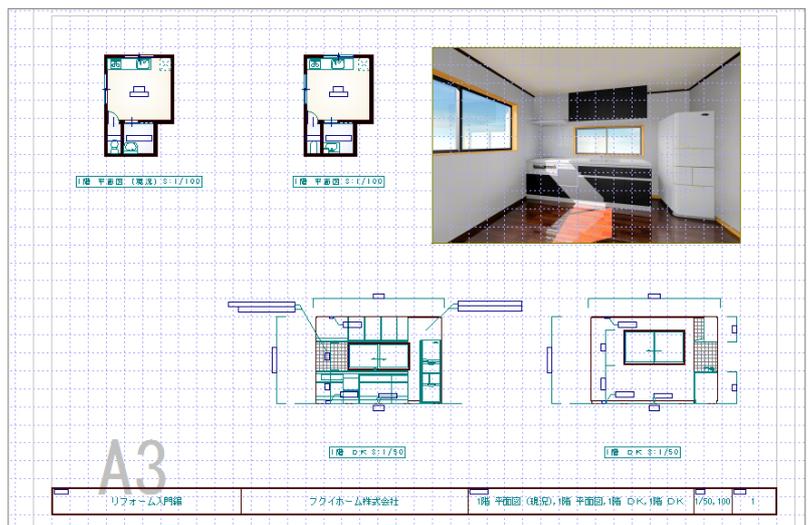
画像データの移動や削除はポップアップメニューからは実行できません。こちらの専用コマンドを使用します。



配置可能な画像ファイル

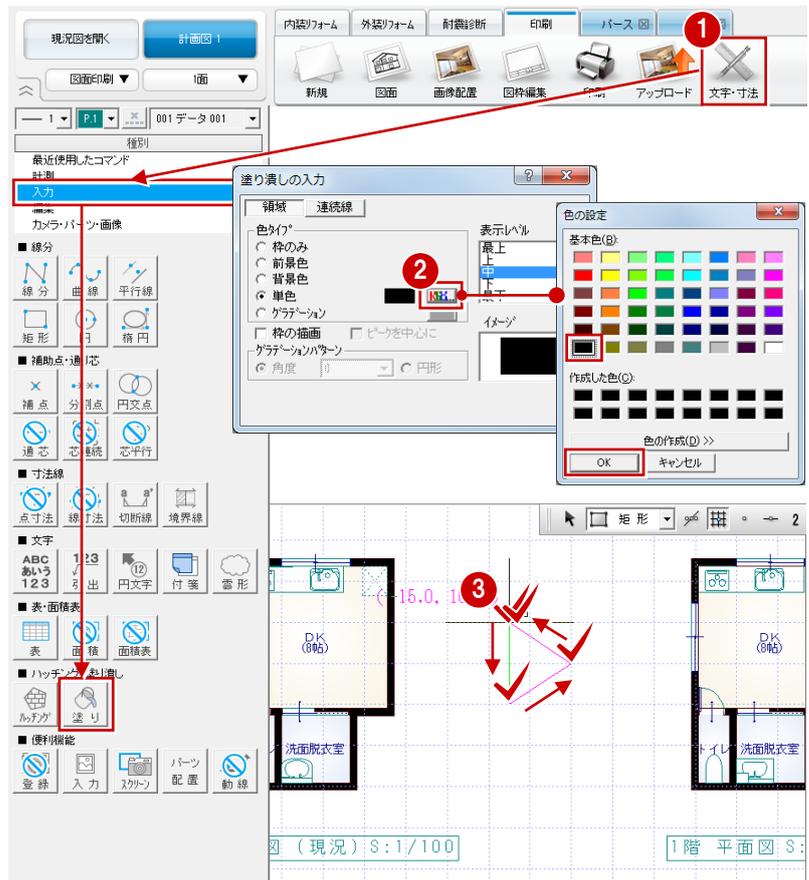
- BMP (*.bmp, *.dib ※ 32 ビットは不可)
- JPEG (*.jpg, *.jpeg)
- PNG (*.png)
- TIFF (*.tif, *.tiff)

1 図面に配置できる画像データは、すべて合わせて 30MB までです。これを超える場合は、警告メッセージが表示されて配置できません。また、256 色を超える BMP を配置しようとする、読み込み方を選択するダイアログが表示されます。



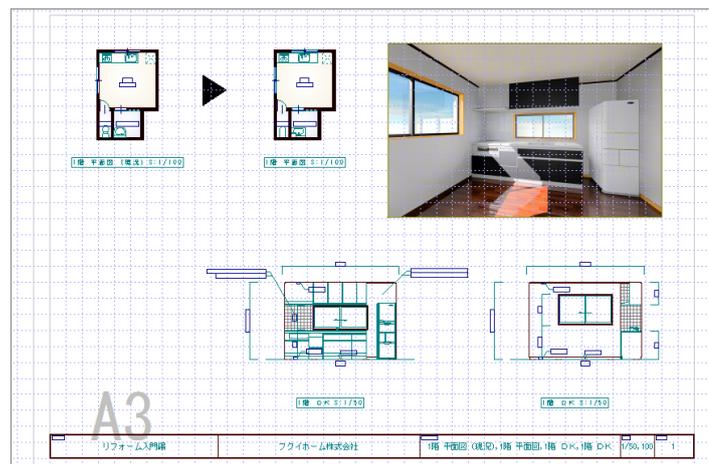
マークを配置する

- 1 [文字・寸法] をクリックして、[入力] の [塗り] を選びます。
- 2 [塗り潰しの入力] ダイアログの [RGB] をクリックして、色（ここでは「黒」）を設定します。
- 3 始点をクリックし、垂直の位置に2点目を取ると、一時的に多角形入力になります。順にクリックして、右図のように三角形を入力します。



データを保存する

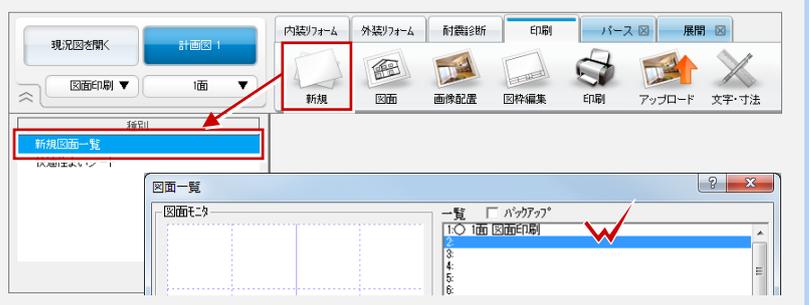
- 1 フローティングバーの  をクリックします。
- 2 確認画面で [はい] をクリックします。



2 面目を作成するには

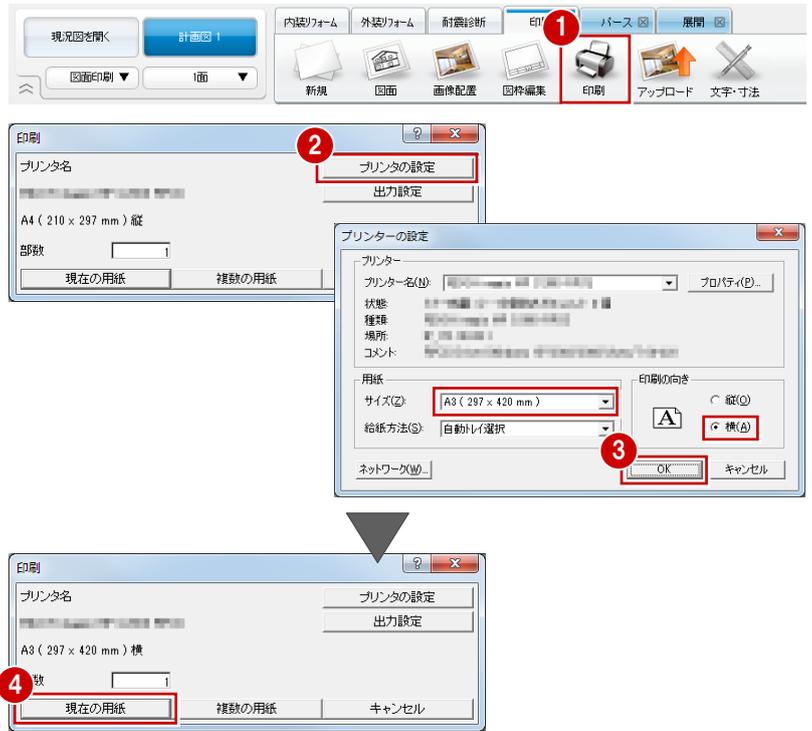
[新規] をクリックして、[新規図面一覧] を選びます。
 [図面一覧] ダイアログで空いている面を選んでダブルクリックすると、その面が開きます。

※ [階・面の切り替え] から [図面一覧] を選んでも同様です。



図面を印刷する

- 1 [印刷] をクリックします。
- 2 [プリンタの設定] をクリックします。
- 3 用紙サイズや向きを設定して、[OK] をクリックします。
ここでは、次のように設定します。
[サイズ] : A3 (297×420 mm)
[印刷の向き] : 横
- 4 [現在の用紙] をクリックします。
現在開いている用紙が印刷されます。



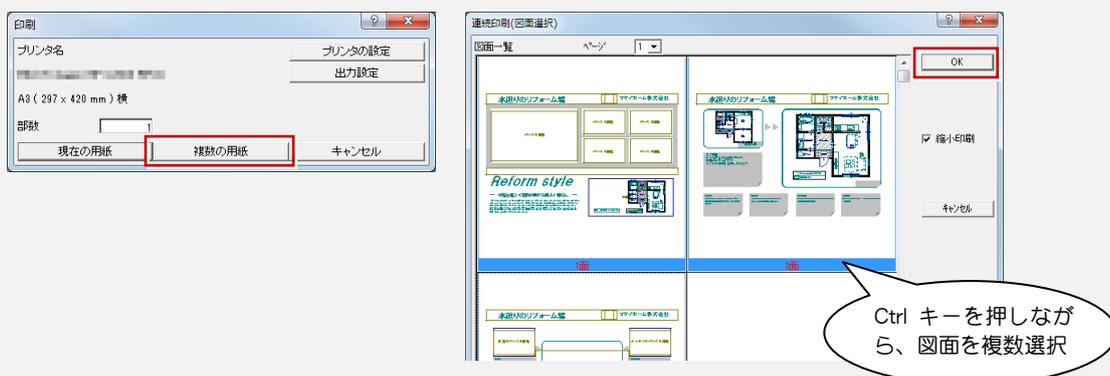
印刷時の線幅や色などを設定するには

ペン No ごとに出力の有無、線幅や色などを設定するときは、[出力設定] をクリックします。
また、タブを切り替えて、線種、文字のフォントなどを設定できます。



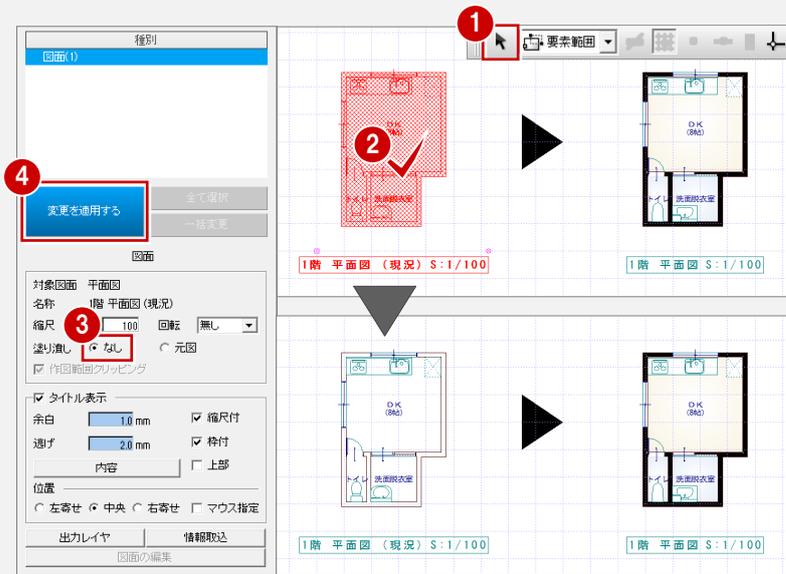
複数の図面をまとめて印刷するには

複数の図面をまとめて印刷するときは、[複数の用紙] をクリックします。
[連続印刷 (図面選択)] ダイアログで印刷したい図面を複数選択して [OK] をクリックすると、印刷が開始します。



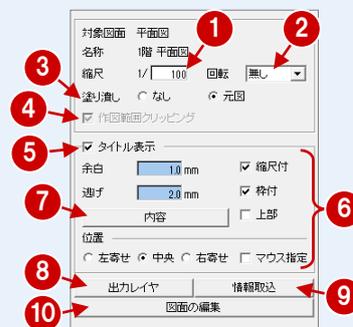
図面を塗り潰しなしで印刷するには

カラーの図面を塗り潰しなしで印刷するには、図面のプロパティの「塗り潰し」を「なし」に設定します。



図面のプロパティ

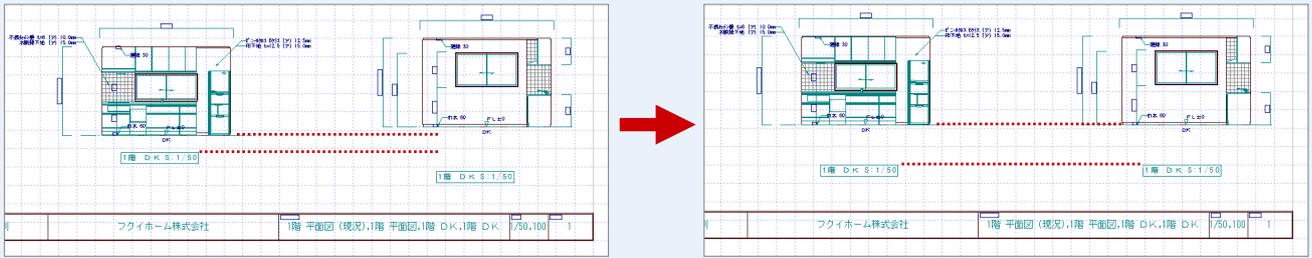
図面のプロパティで、図面の縮尺、タイトル、塗り潰しなどを設定できます。



1	縮尺	図面は作成時の縮尺で配置されます。縮尺を変えたいときはここで値を変更します。
2	回転	図面を回転させて配置したいときに使用します（タイトルの表示は回転しません）。図面の向きは 90 度ずつ回転可能です。
3	塗り潰し	塗り潰し領域や柱壁の塗り潰しに関する設定です。 ・なし：塗り潰しは出力しません。塗り潰しがある図面でも線画のみになります。 ・元図：図面通りの出力です。塗り潰しがある図面は塗り潰しが出力され、塗り潰しがない図面は線画のみになります。
4	作図範囲クリッピング	作図範囲の外側にデータが存在する場合に選択できる設定です。ON にすると作図範囲の外側のデータは出力されません。OFF にするとすべて出力されます。
5	タイトル表示	図面にタイトルを表示するかしないかを設定します。
6	タイトルの設定	タイトルに縮尺を付けるか、枠で囲むか、図面（作図範囲）に対してどの位置に配置するかなどを設定します。 ※ [図面タイトルの移動] でタイトル位置をマウスで指定したときは [マウス指定] が ON になり、タイトル位置に関する設定は非表示になります。図面に対する位置で配置し直す場合は、[マウス指定] を OFF にして位置を設定します。
7	内容	タイトルの内容や文字サイズ、フォントなどを変更できます。
8	出力レイヤ	図面に出力しないデータをレイヤ単位で指定できます。
9	情報取込	図面配置後に作図原点、作図範囲、縮尺を変更した場合は、ここをクリックしてその情報を取り込みます。
10	図面の編集	ここから図面ウィンドウを開いて編集できます。編集後は、[描画更新] の [図面の更新] を実行します。

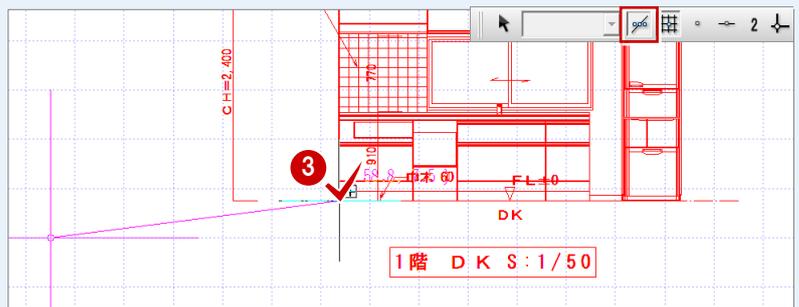
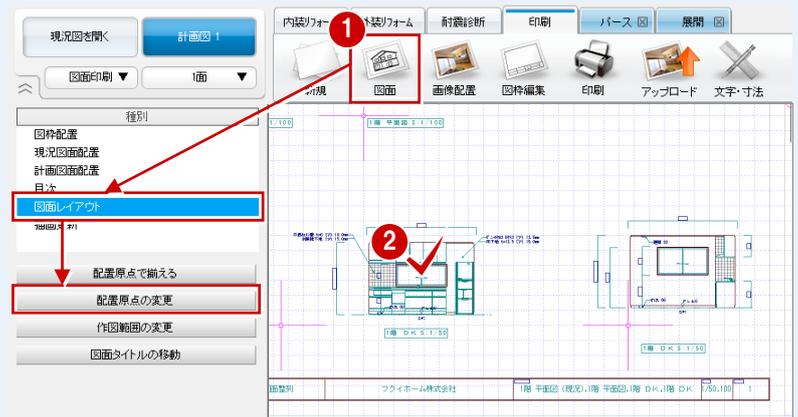
図面の整列

ここでは、展開図で作図範囲を取り直すなどして図面の位置が揃わなかった場合の図面の揃え方を紹介します。

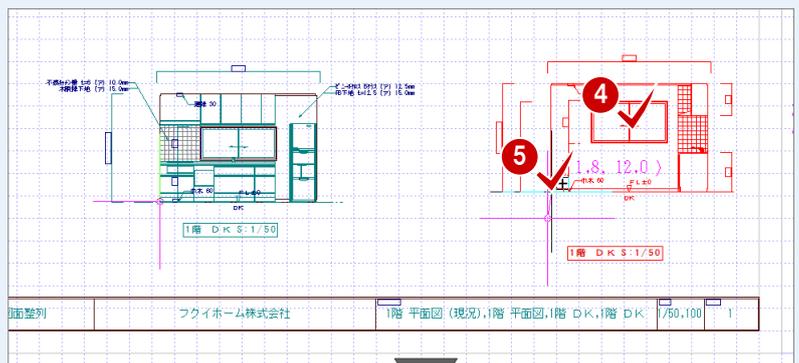


- 配置原点を変更する -

- 1 [図面] をクリックして、[図面レイアウト] の [配置原点の変更] を選びます。各図面の配置原点がピンク色の十字で表示されます。
- 2 原点位置を変更する図面（ここでは展開図 1面）をクリックします。
- 3 変更後の原点位置をクリックします。ここでは、床面の角を指定します。（[端点・交点ピック] を ON）



- 4 5 同様に、展開図 2面の配置原点も変更します。



配置原点とは

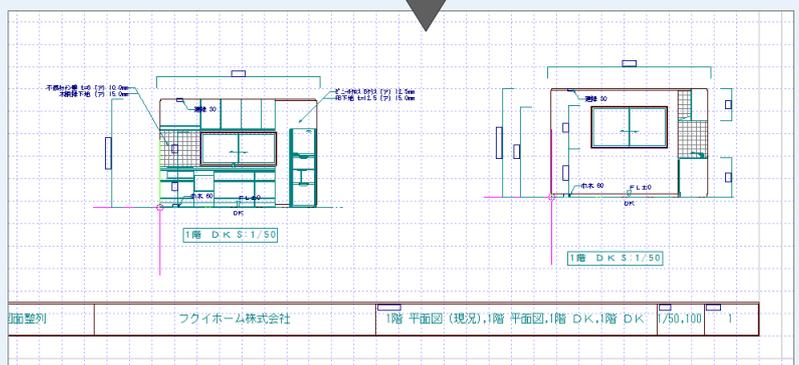
各図面に表示される配置原点は、図面に設定されている作図原点です。

[印刷] タブで図面を配置するときには、作図原点または作図範囲を基準に図面を揃えています。

(次図は、複数図面を同時に配置するときのプロパティ)

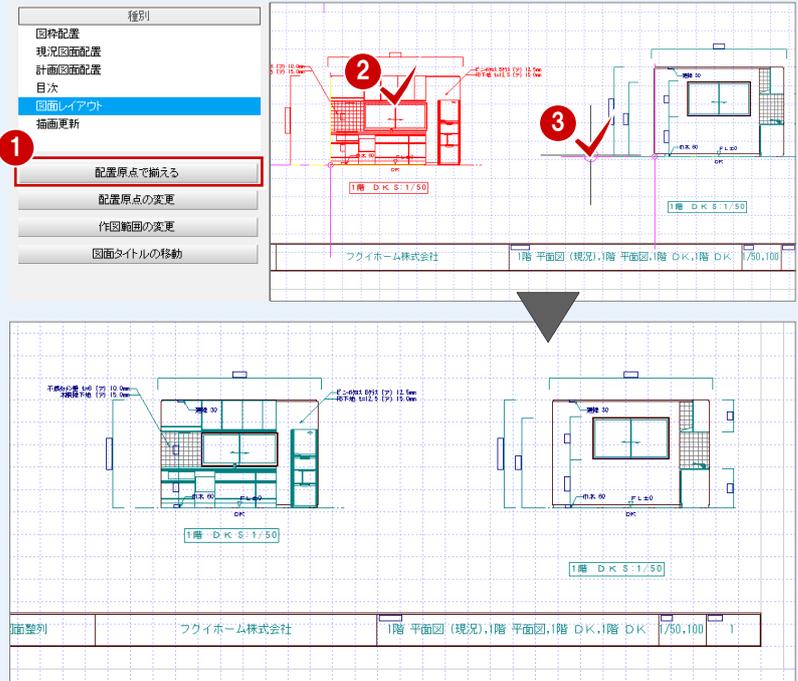


そのため、図面を複数配置する場合は、それらの図面の作図原点または作図範囲が合っていれば [印刷] タブで整列する必要はありません。



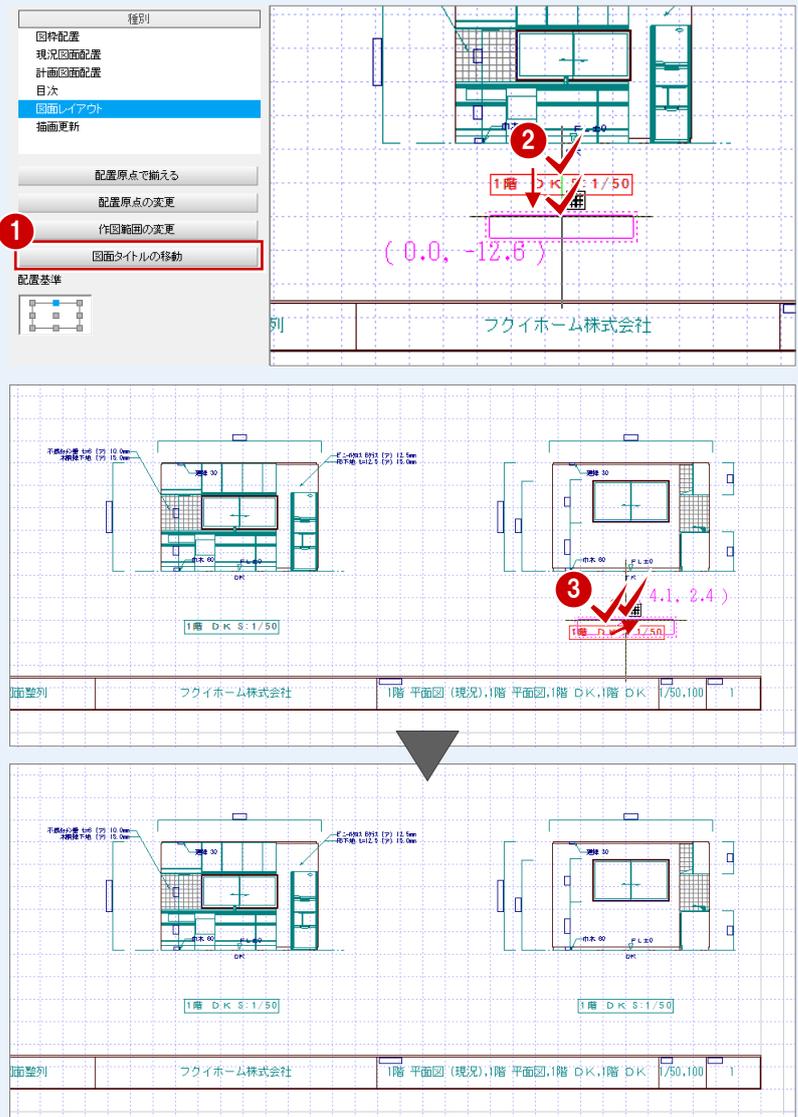
－配置原点を基準に図面を揃える－

- ① [図面レイアウト] の [配置原点で揃える] をクリックします。
- ② 移動する図面 (ここでは展開図 1 面) をクリックします。
- ③ 基準とする図面の配置原点から伸びる線 (ここでは水平線) をクリックします。先にクリックした図面が移動します。



－図面タイトルを移動する－

- ① [図面レイアウト] の [図面タイトルの移動] をクリックします。
- ② 展開図 1 面のタイトル部分をクリックして、移動先をクリックします。
- ③ 同様にして、展開図 2 面のタイトルも移動します。

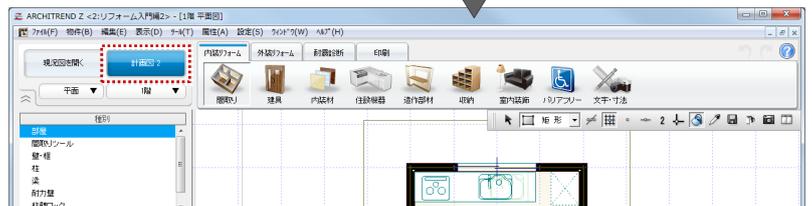
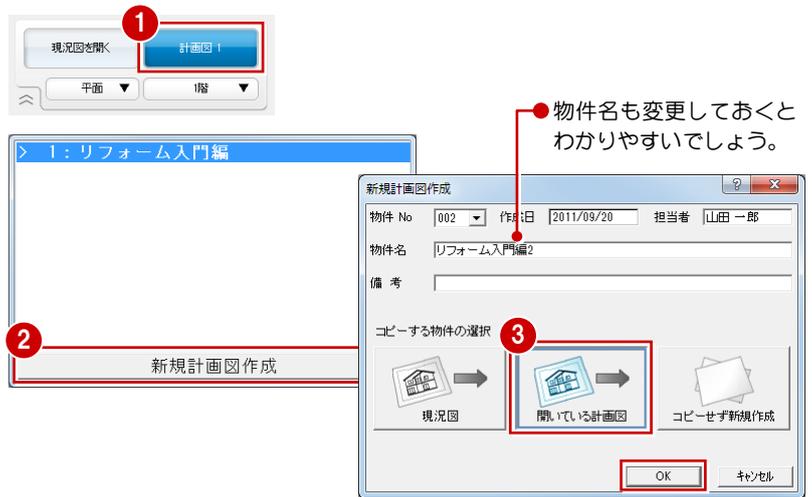


【付録①】 計画図 2 の作成

計画図は、1つの現況図から複数作成できます。また、作成した計画図をもとに他の計画図を作成することも可能です。ここでは、計画図 1 をもとに計画図 2 を作成する手順と注意点を解説します。

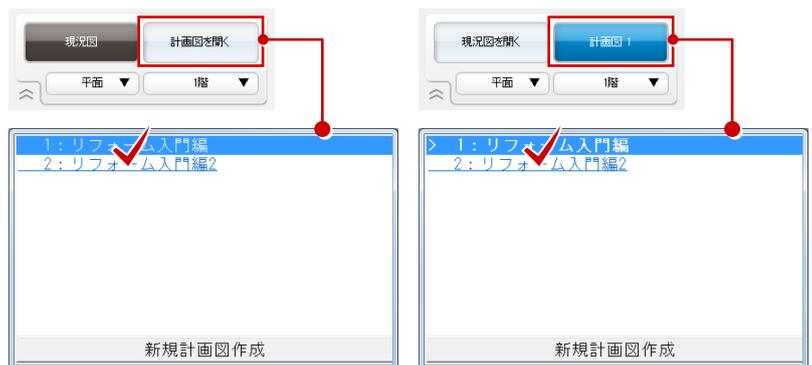
新しい計画図を開くには

- ① [計画図 1] をクリックします。
- ② [新規計画図作成] をクリックします。
- ③ [コピーする物件の選択] を [開いている計画図] に変更して、[OK] をクリックします。
計画図 1 がコピーされた状態で、計画図 2 が開きます。

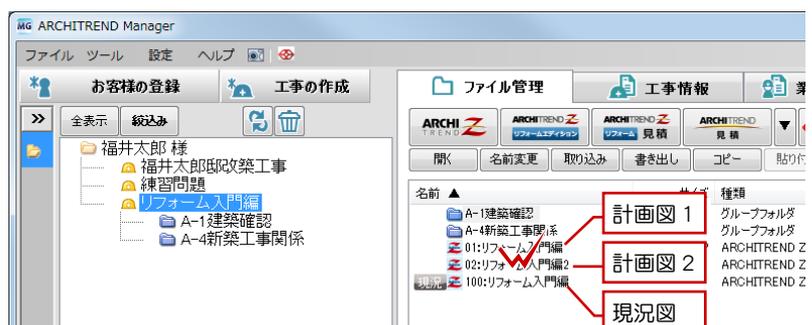


開く計画図を選択するには

- 現況図・計画図から開く場合 -
現況図からは [計画図を開く]、
計画図からは [計画図*] をクリックして、
開く計画図をリストから選択します。

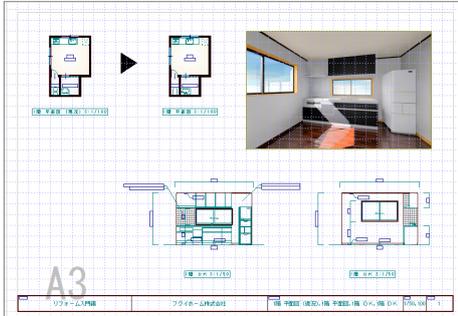


- マネージャーから開く場合 -
同じ工事の中に、現況図と計画図が保存されています。右側のファイル一覧から、開く計画図をダブルクリックします。

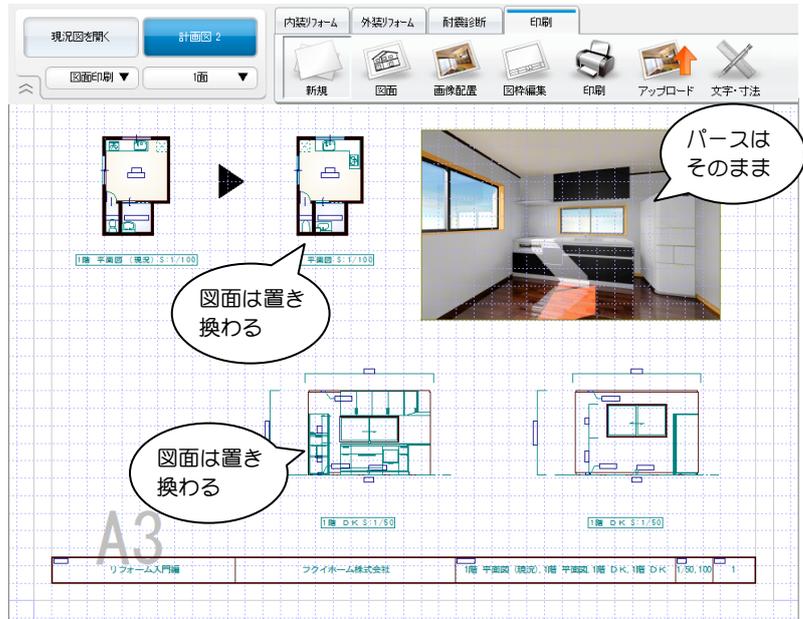


図面での注意点

計画図 2 を編集後に [印刷] タブをクリックすると、計画図 1 で保存していた図面印刷データは計画図 2 の各図面に置き換わります。パースは変わらないので、再配置する必要があります。



【計画図 1】



【計画図 2】

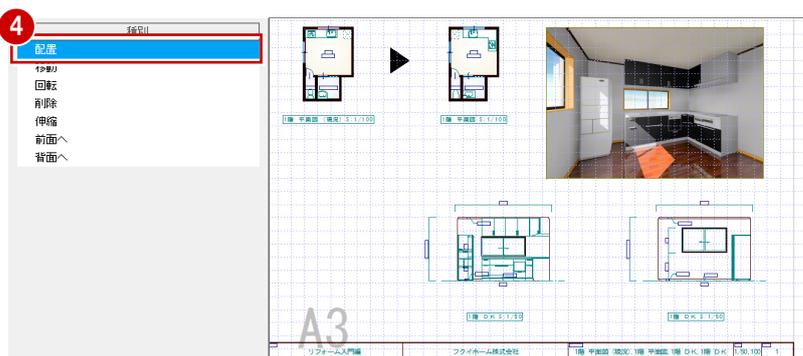
図面の更新について

先に [印刷] タブをクリックして図面印刷を開き、その後に計画図 2 の平面図、展開図を編集すると、[印刷] タブの図面は置き換わりません。このような場合は、[図面] をクリックして、[描画更新] の [図面の更新] を選ぶと、図面が更新されます。



－ パースを再配置する －

- ① [画像配置] をクリックして、[削除] を選びます。
- ② 画像をクリックします。
- ③ 左クリックで削除、右クリックでキャンセルになります。
- ④ [配置] をクリックしてパースを配置します (⇒P.51)。



計画図 1 と 2 を並べる

計画図 1 と 2 の図面を並べてレイアウトすることはできません。

【付録②】内法からの入力

現況図面がないときは、実際に部屋の広さを現地測量し、内法での間取り寸法を入力して現況の間取り図を作成できます。

内法から間取りを作成する

- 1 [間取り・内装] タブの [間取り] をクリックして [内法からの入力] を選びます。

注意！！

入力済みの物件で [内法からの入力] を実行すると、元の平面データが削除されて [内法寸法から間取り入力] ダイアログで入力したものに置き換わります。ご注意ください。



－ 間取りを入力する －

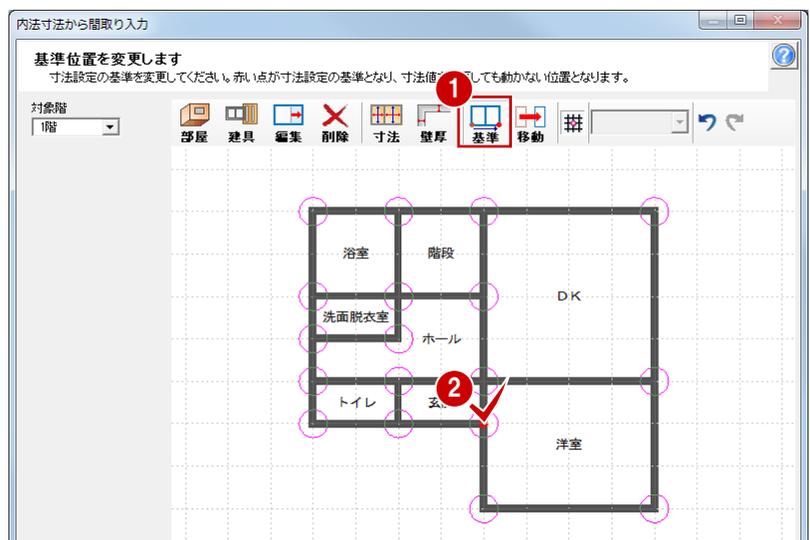
- 1 [内法寸法から間取り入力] ダイアログで [部屋] が ON の状態になっていることを確認します。
- 2 入力したい部屋を選んで、大まかな間取りを入力します。



最初に入力した部屋の角に基準点（赤い点）が設定されています。寸法を編集する際は基準点をもとに伸縮するため、変更する場合は次の操作を行います。

－ 寸法設定の基準位置を指定する －

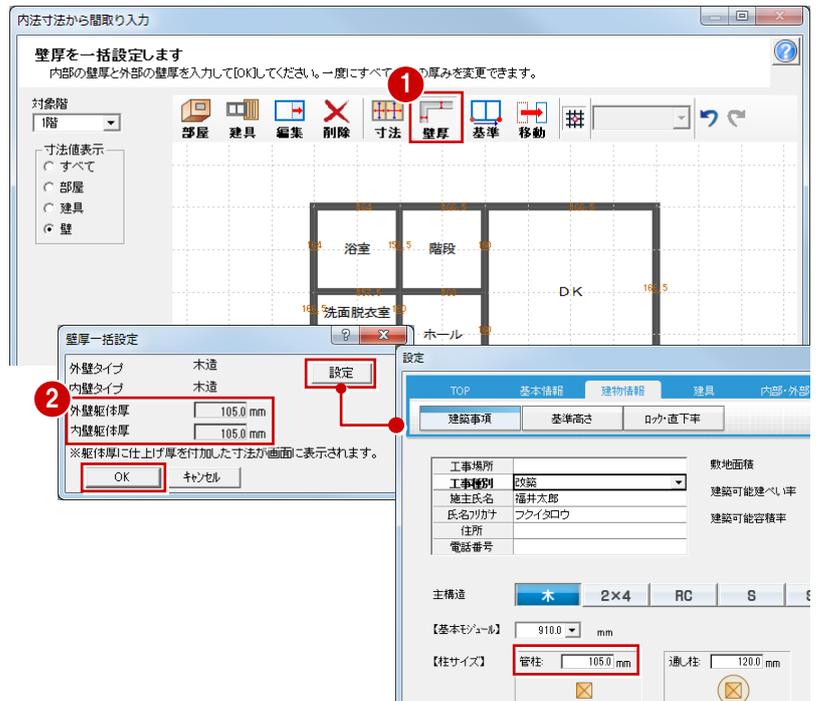
- 1 [基準] をクリックします。
 - 2 基準点の位置をクリックします。
- ※ ピンク色の円が表示されていないところには指定できません。



【付録②】内法からの入力

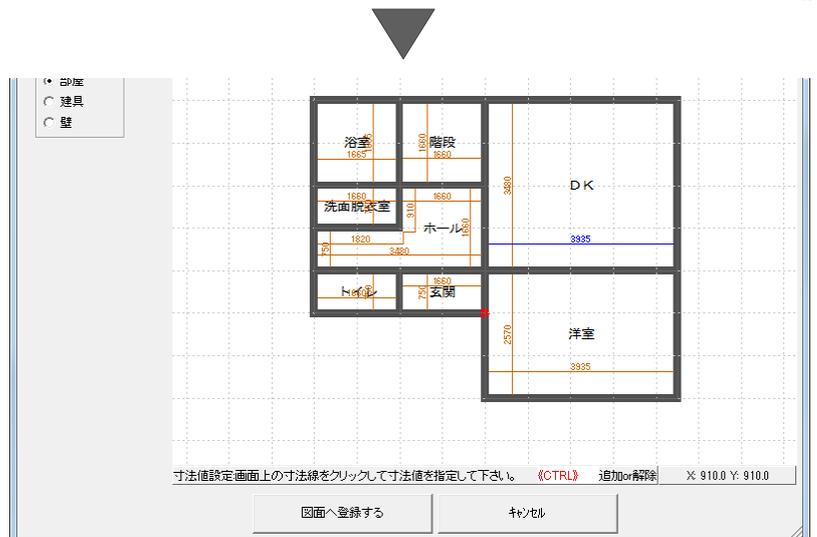
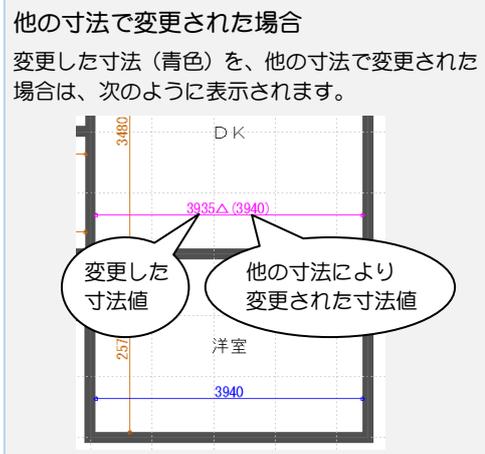
－ 壁厚を設定する －

- 1 [壁厚] をクリックします。
- 2 [外壁躯体厚] [内壁躯体厚] を確認して、[OK] をクリックします。
変更する場合は、[設定] をクリックして、[管柱] のサイズを変更します。



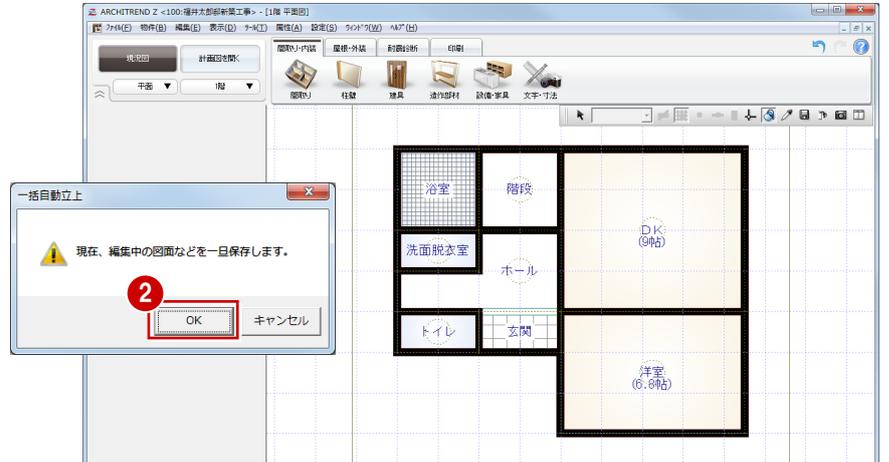
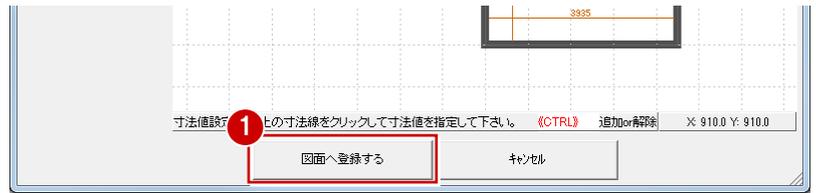
－ 内法寸法を編集する －

- 1 [寸法] が ON の状態になっていることを確認します。
- 2 変更する寸法をクリックします。
- 3 計測した寸法を入力して、Enter キーを押します。
部屋が伸縮し、変更した寸法は青く表示されます。



－ 平面図に取り込む －

- ① 寸法編集が完了したら、[図面へ登録する] をクリックします。
- ② 確認画面で [OK] をクリックします。間取りがリフォームエディションのCAD画面に取り込まれます。



図面へ登録後に編集するには登録後に再度 [内法寸法から間取り入力] ダイアログを起動して編集することはできません。[間取りツール] やトラッカーを使用して編集してください。

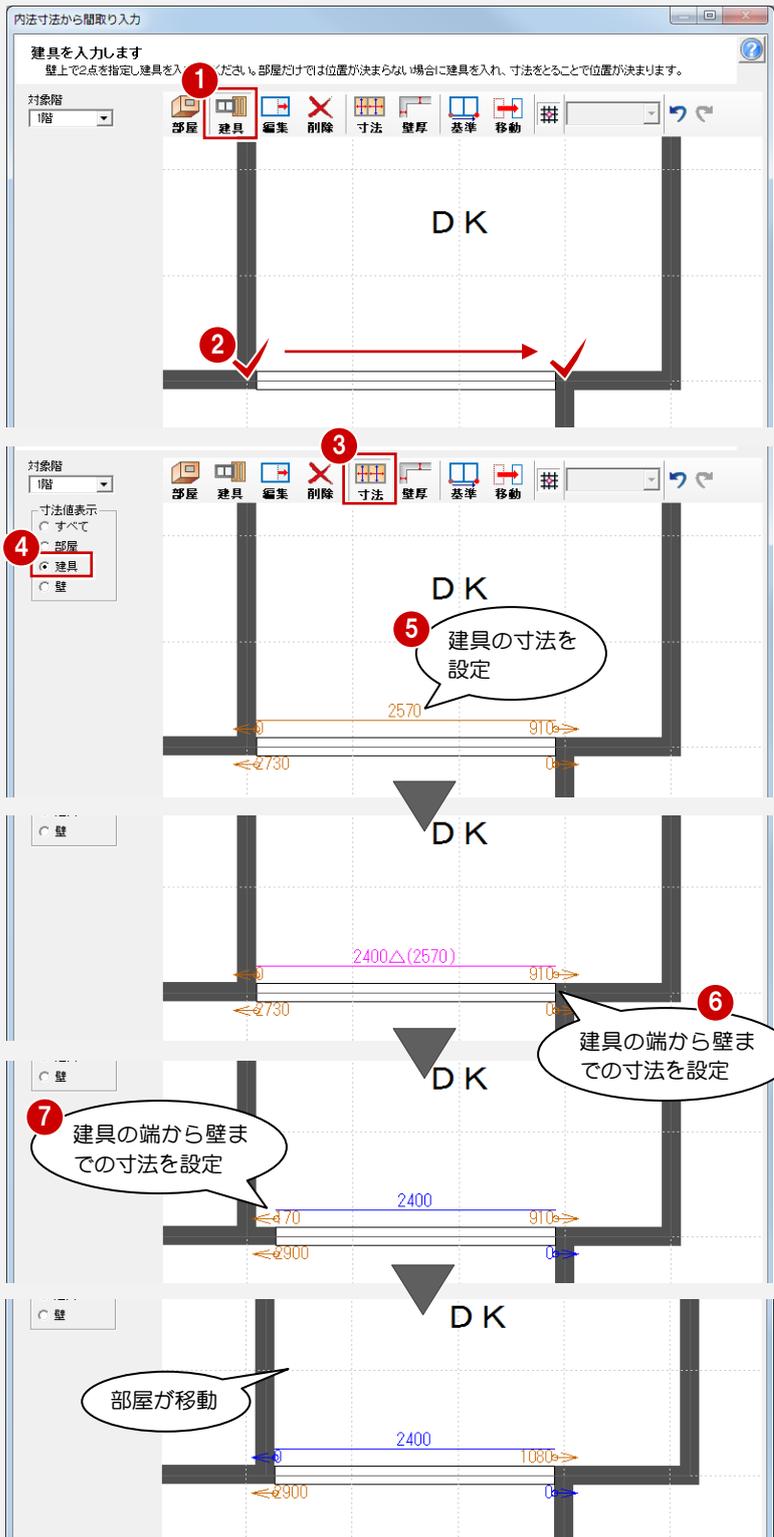
部屋の内法寸法だけで間取りを確定できない場合

部屋の内法寸法だけで正確な部屋の位置を決められないときに、部屋間の開口に建具を入力することで解決する場合があります。

- ① [建具] をクリックします。
- ② 部屋間の建具を入力します。
- ③ [寸法] をクリックします。
- ④ [寸法値表示] を [建具] に変更します。
入力した建具に、側面の内壁からの距離と本体の寸法が表示されます。
- ⑤ 開口の長さが分かっている場合、入力した建具の寸法を変更します。

- ⑥ 建具の端から壁までの寸法を調整します。
- ⑦ 同様にして、建具の反対側の端から壁までの寸法を調整します。

部屋全体が移動されます。



その他の機能

[内法寸法から間取り入力] ダイアログの、その他の機能を紹介します。



①	対象階	間取りを入力する階を選択します。
②	編集	壁や建具を選択して、配置する位置を移動します。
③	削除	目的のデータを選択して、削除します。
④	移動	基準となる点、移動する点を指定して、対象階のすべてのデータを移動します。入力した間取りを他階の間取りに揃えたり、グリッドに揃えるときに使用します。

3

ARCHITREND Manager

ARCHITREND Manager (マネージャー) は ARCHITREND シリーズのファイル管理ツールです。ARCHITREND シリーズで作成したプランデータはもちろん、Word や Excel などで作成した関連書類も一元管理し、マネージャーから直接起動できます。

3-1 マネージャーの画面まわりを確認しよう

ツール

Archi Master やユーティリティなどを起動します。

フォルダー一覧

データフォルダが複数ある場合、>> をクリックしてフォルダを切り替えます。

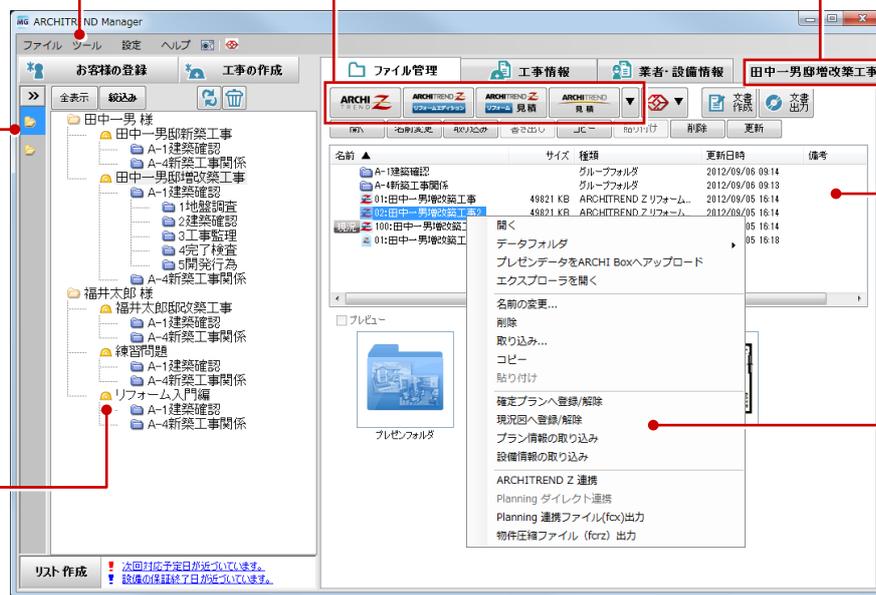


お客様・工事一覧

選択しているデータフォルダ内のお客様データをツリー表示します。

アイコン表示されているプログラムを起動します (インストールされていないプログラムは表示されません)。

一覧で選択しているお客様の名前 (または工事名) を表示します。



ファイル一覧

選択した工事 (またはお客様) に登録されているデータを一覧表示します。

ポップアップメニューデータを右クリックすると開くメニューです。登録データを操作する機能がまとめられています。

登録データを操作するための機能がまとめられています。

現況図、計画図 1、2... ごとに物件データが保存されます。次回からは目的の物件データをダブルクリックして起動します。

図面サムネイル (縮小画像) をダブルクリックすると、図面を直接開けます。ただし、パースモニタの場合は平面図 1 階を開きます。



任意のフォルダのデータをエクスプローラからマネージャーのファイル一覧へドラッグ&ドロップすることで、ファイルの移動やコピーを行うことができます。

データ管理の注意点

エクスプローラ上のお客様や工事名称のフォルダ名称を変更すると、マネージャーでお客様や工事が表示できなくなりますので、ご注意ください。

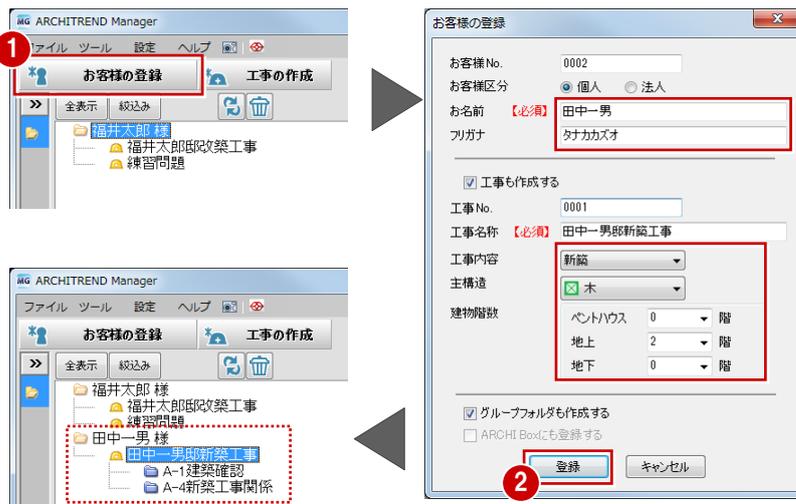
3-2 お客様・工事を登録するには

新しいお客様を登録する

- 1 [お客様の登録] をクリックします。
- 2 お客様の名前や工事内容などを設定して、[登録] をクリックします。

新しいお客様の登録

[かんたんガイド] で [お客様の新規登録] をクリックしたときと同じです。



グループフォルダとは

[グループフォルダも作成する] が ON の場合、「A-1 建築確認」「A-4 新築工事関係」などのグループフォルダが作成されます。

グループフォルダとはマネージャーの管理用フォルダで、お客様・工事一覧のツリーに表示され、クリックすることでフォルダの内容を右側の登録データ一覧で確認できます。写真や書類を分類して管理する場合に有効です。

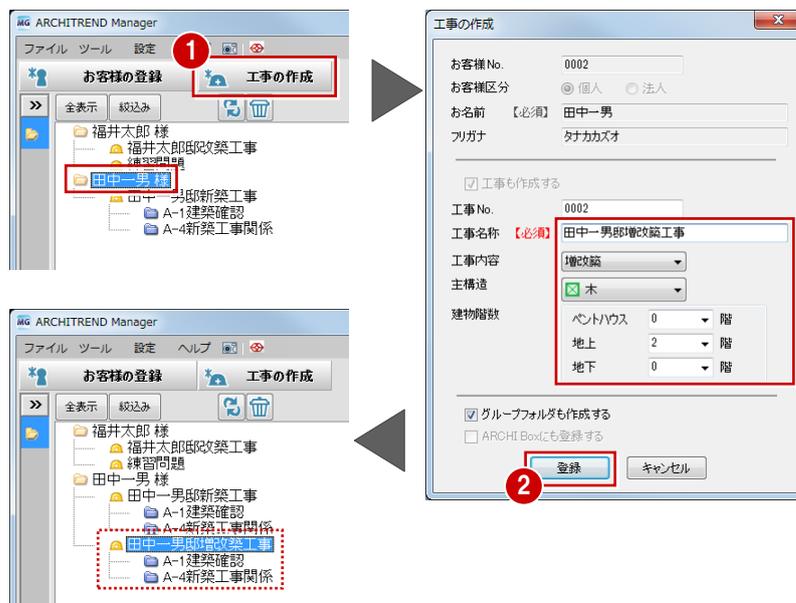
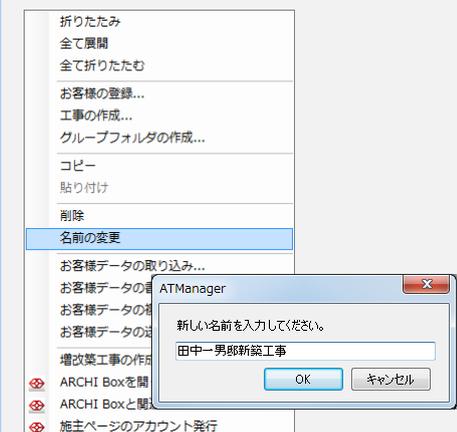
なお、新しい工事を作成したと同時に作成されるグループフォルダは、[設定] メニューの [初期設定] の [グループフォルダ] で設定します。

工事を追加する

- 1 工事を追加するお客様を選んで、[工事の作成] をクリックします。
- 2 工事名称や工事内容などを設定して、[登録] をクリックします。

お客様・工事の名前を変更するには

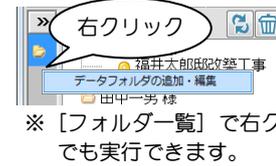
お客様または工事を選んで、ポップアップメニューから [名前の変更] を選びます。



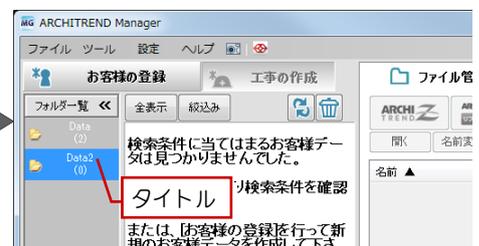
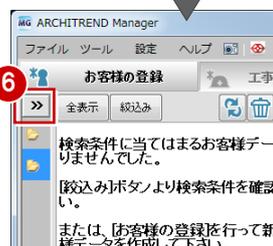
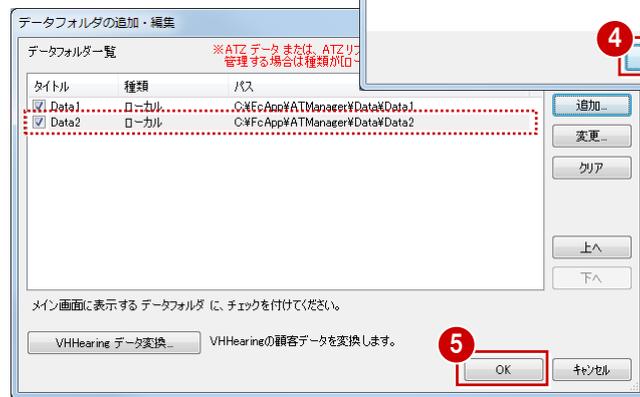
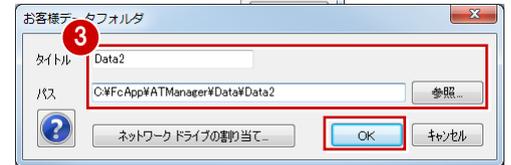
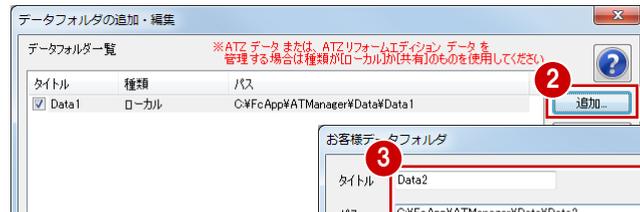
データフォルダを追加する

お客様によって保存場所を区別したい場合などは、新しいデータフォルダを作り、フォルダを切り替えて使用します。

- 1 [設定] メニューから [データフォルダの追加・編集] を選びます。
- 2 [データフォルダの追加・編集] ダイアログの [追加] をクリックします。
- 3 [お客様データフォルダ] ダイアログで、データフォルダのタイトルやフォルダを設定して、[OK] をクリックします。
- 4 確認画面で [OK] をクリックします。
- 5 [データフォルダの追加・編集] ダイアログのリストに追加されたことを確認して、[OK] をクリックします。
- 6 マネージャーの >> をクリックすると、[フォルダー一覧] にデータフォルダが追加されたことを確認できます。



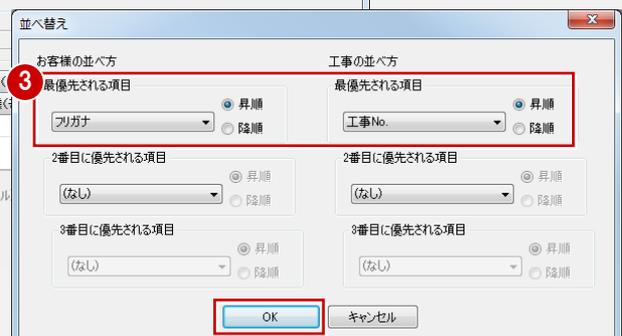
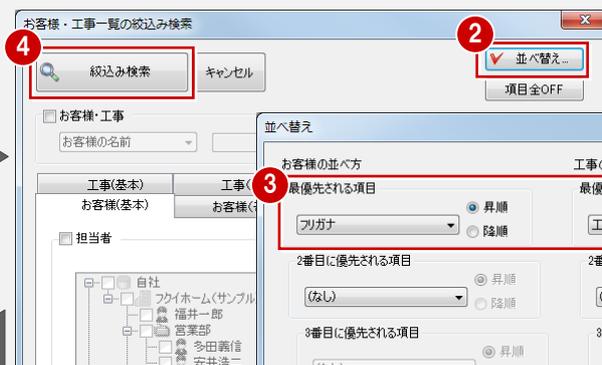
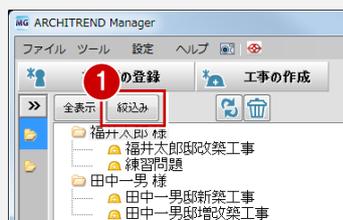
※ [フォルダー一覧] で右クリックでも実行できます。



お客様・工事一覧を並び替えるには

[絞り込み] をクリックして、[お客様・工事一覧の絞り込み検索] ダイアログで [並び替え] をクリックします。

[並び替え] ダイアログで条件を設定して、[お客様・工事一覧の絞り込み検索] ダイアログで [絞り込み検索] をクリックすると、[お客様・工事一覧] の表示が並び替えられます。



3-3 物件をバックアップ・リストアするには

ハードディスクの故障や誤操作によるファイルの削除など、万が一の場合に備えて、データやマスタは定期的にバックアップしておきましょう。バックアップの操作は、目的によって次のように異なります。

- (A) 物件データを受け渡しする。
 - ⇒ 物件圧縮ファイル (fcrz) にエクスポートする (下記参照)
- (B) 最終成果物 (保存版) となるデータを CD や DVD に書き込んでおく。
 - ⇒ お客様データごとにエクスポートする (P.68 参照)
- (C) 万が一の場合に備えて、別のマシンやドライブに、データやマスタを定期的にバックアップしておく。
 - ⇒ データフォルダ単位でバックアップする (P.70 参照)

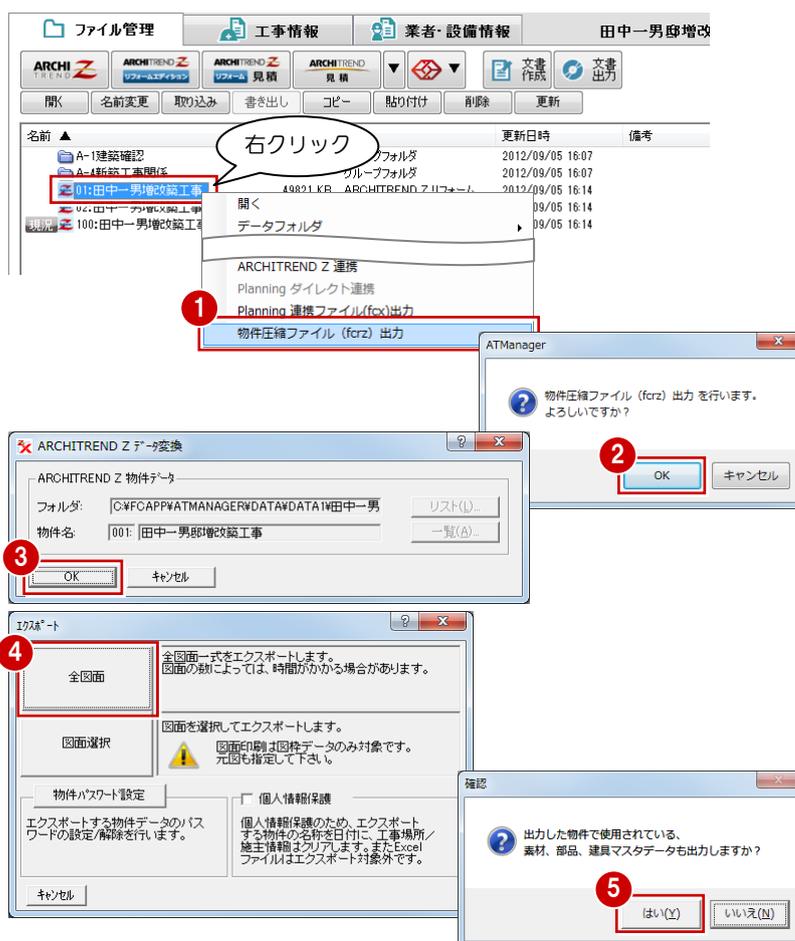
※ バックアップファイルは、CD-R や DVD-R などに直接書き込むことはできません (MO には可能)。

CD-R や DVD-R などへ書き込む場合は、ここで解説する手順でバックアップファイルをローカルディスクに保存した後、CD や DVD に書き込んでください。

A 物件圧縮ファイル (fcrz) にエクスポートする場合

物件データをエクスポートする

- 1 ARCHITREND Z リフォームエディションの物件データを選んで、ポップアップメニューから [物件圧縮ファイル (fcrz) 出力] を選びます。
- 2 確認画面で [OK] をクリックします。
- 3 [ARCHITREND Z データ変換] ダイアログで [OK] をクリックします。
- 4 [エクスポート] ダイアログで出力する図面を選びます。
ここでは [全図面] を選択します。
物件内の指定した図面だけをエクスポートしたいときは [図面選択] を選んで、目的の図面を選択します。
- 5 この物件で使用されている素材・部品・建具マスタのデータを出力するかどうかの確認画面が表示されます。
ここでは [はい] をクリックします。
- 6 工事内に、物件圧縮ファイル (fcrz) が作成されたことを確認できます。



マスタデータの出力

マスタデータも出力するとファイルサイズは大きくなりますが、マスタも同時に出力することをお勧めします。

ファイルを受け取る側に同じマスタが存在しない場合、受け取り側でプロパティの変更やパースモニタの再作成を行うとエラーが表示されてしまうためです。

物件データを取り込む

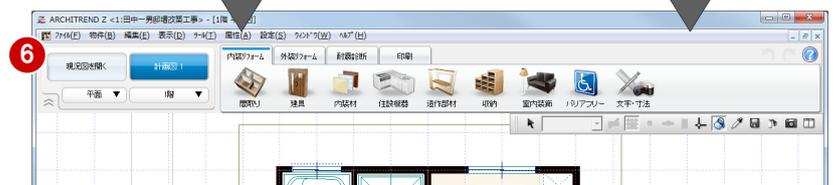
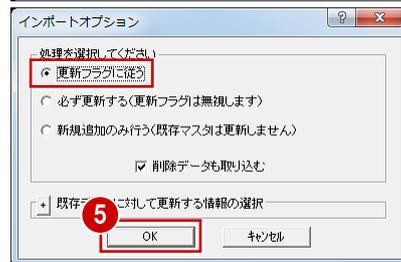
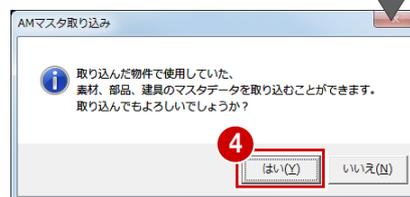
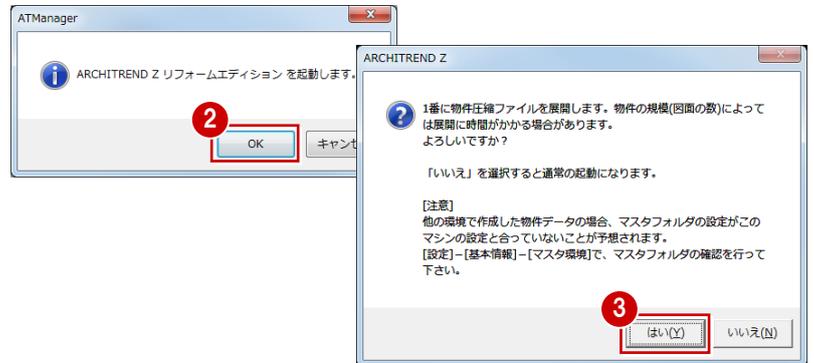
- 1 物件圧縮ファイル (forz) を新しい工事に
入れて、ダブルクリックします。
- 2 確認画面で [OK] をクリックします。

物件圧縮ファイルをドロップした場合

物件圧縮ファイル (forz) をファイル一覧へドロップした場合は次の確認画面が表示されます。
[OK] をクリックすると、手順③に進みます。

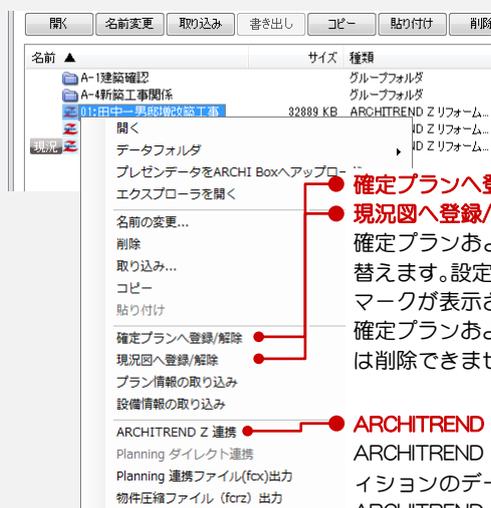


- 3 確認画面で [はい] をクリックすると、
インポート処理が始まります。
- 4 指定したファイルに素材・部品・建具マ
スタのデータが保存されている場合は、
続けてマスタデータを取り込むかどうか
の確認画面が表示されるので、[はい] を
クリックします。
- 5 続けて、[インポートオプション] ダイア
ログが開くので、[更新フラグに従う] が
選択されていることを確認して、[OK] を
クリックします。
- 6 処理が完了すると、物件データが計画図
として開きます。



指定したファイルに、素材・
部品・建具マスタのデータが
保存されていない場合は、こ
こで処理が完了します。

ARCHITREND Z リフォームエディションの物件データと物件圧縮ファイルのポップアップメニュー



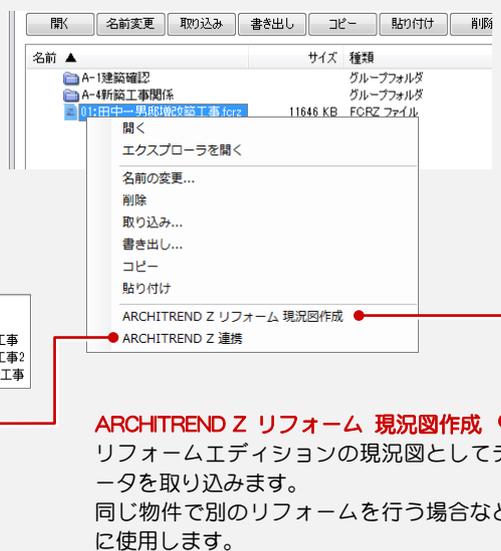
確定プランへ登録/解除

現況図へ登録/解除

確定プランおよび現況図の登録/解除を切り替えます。設定されたデータは名称の先頭にマークが表示されます。確定プランおよび現況図は削除できません。

ARCHITREND Z 連携

ARCHITREND Z を起動してリフォームエディションのデータを取り込みます。ARCHITREND Z で詳細図の作成や計算などを行う場合に使用します。



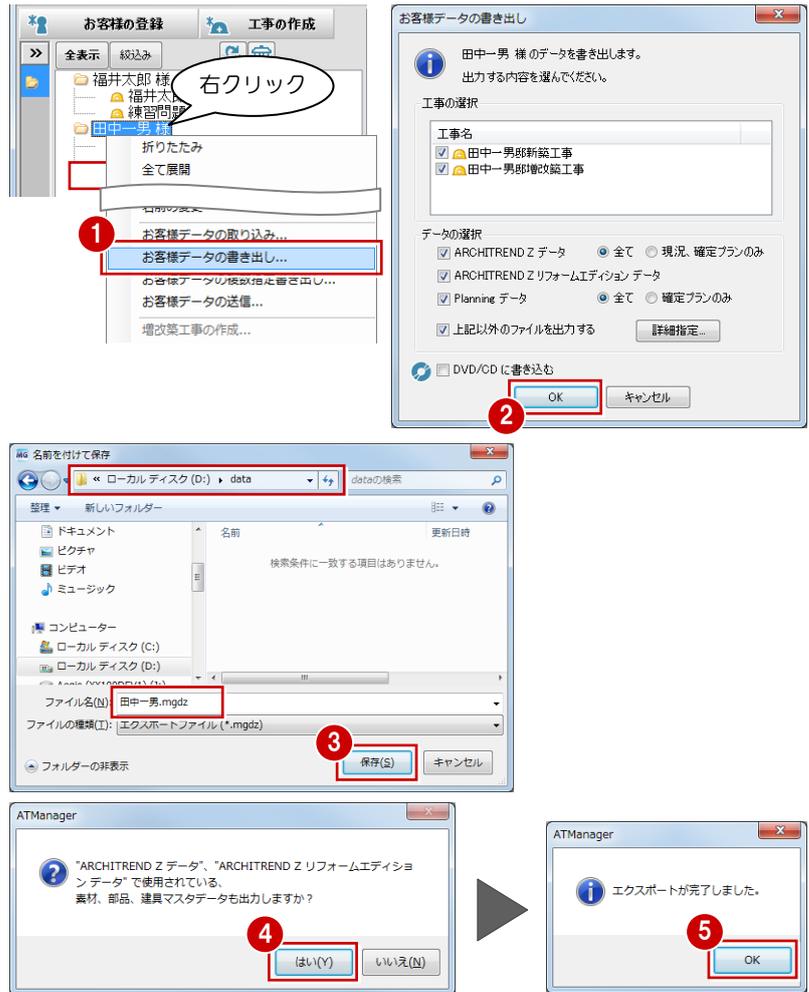
ARCHITREND Z リフォーム 現況図作成

リフォームエディションの現況図としてデータを取り込みます。同じ物件で別のリフォームを行う場合などに使用します。

B お客様データをエクスポートする場合

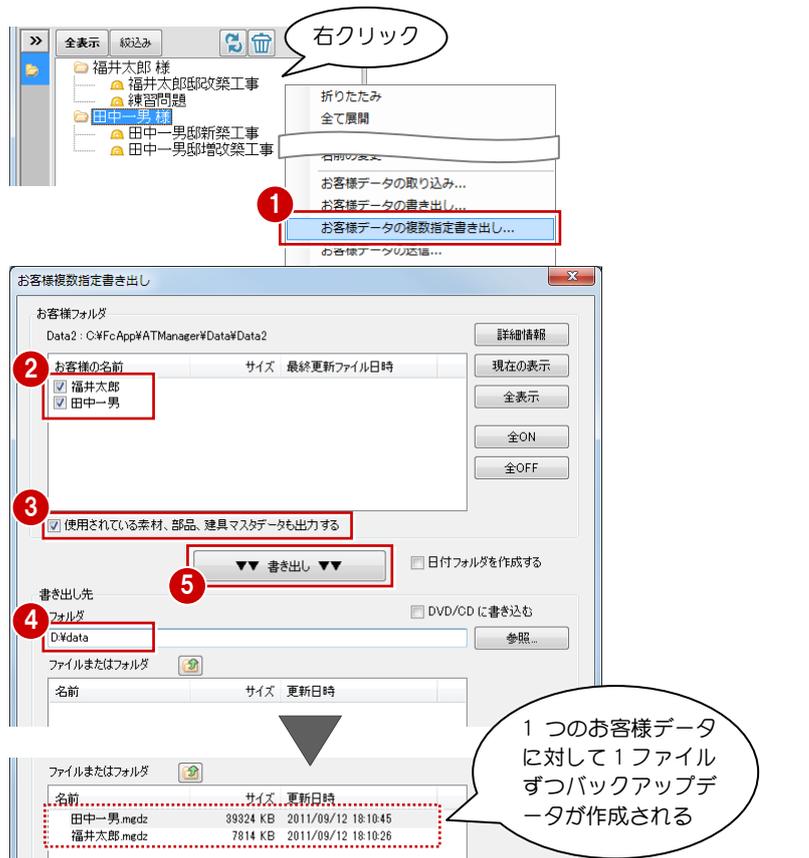
お客様データを書き出す

- 1 目的のお客様を選んで、ポップアップメニューから「お客様データの書き出し」を選びます。
- 2 「お客様データの書き出し」ダイアログで、出力する工事とデータにチェックを付けて、[OK] をクリックします。
- 3 お客様データを書き出すフォルダとファイル名を設定して、[保存] をクリックします。
- 4 ゼットデータで使用されている素材・部品・建具マスタのデータを出力するかどうかの確認画面が表示されるので、[はい] をクリックします。
⇒P.66 「マスタデータの出力」
- 5 完了の確認画面で [OK] をクリックします。



複数のお客様データを書き出す

- 1 「お客様・工事一覧」で右クリックして、「お客様データの複数指定書き出し」を選びます。
- 2 「お客様複数指定書き出し」ダイアログで、出力するデータにチェックを付けます。
- 3 「使用されている素材、部品、建具マスタデータも出力する」にチェックを付けます。
⇒P.66 「マスタデータの出力」
- 4 保存先のフォルダを設定します。
- 5 「▼▼書き出し▼▼」をクリックします。



DVD/CD に書き込む

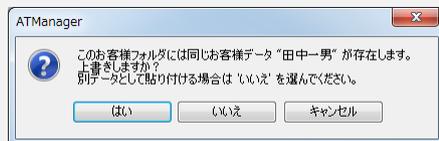
[DVD/CD に書き込む] を ON にした場合、既定のフォルダ ([CD_WORK]) に書き出されます。
例) C:\¥FcApp¥ATManager¥CD_WORK¥
このフォルダの中身を別途、CD や DVD に書き込んでください。

お客様データを取り込む

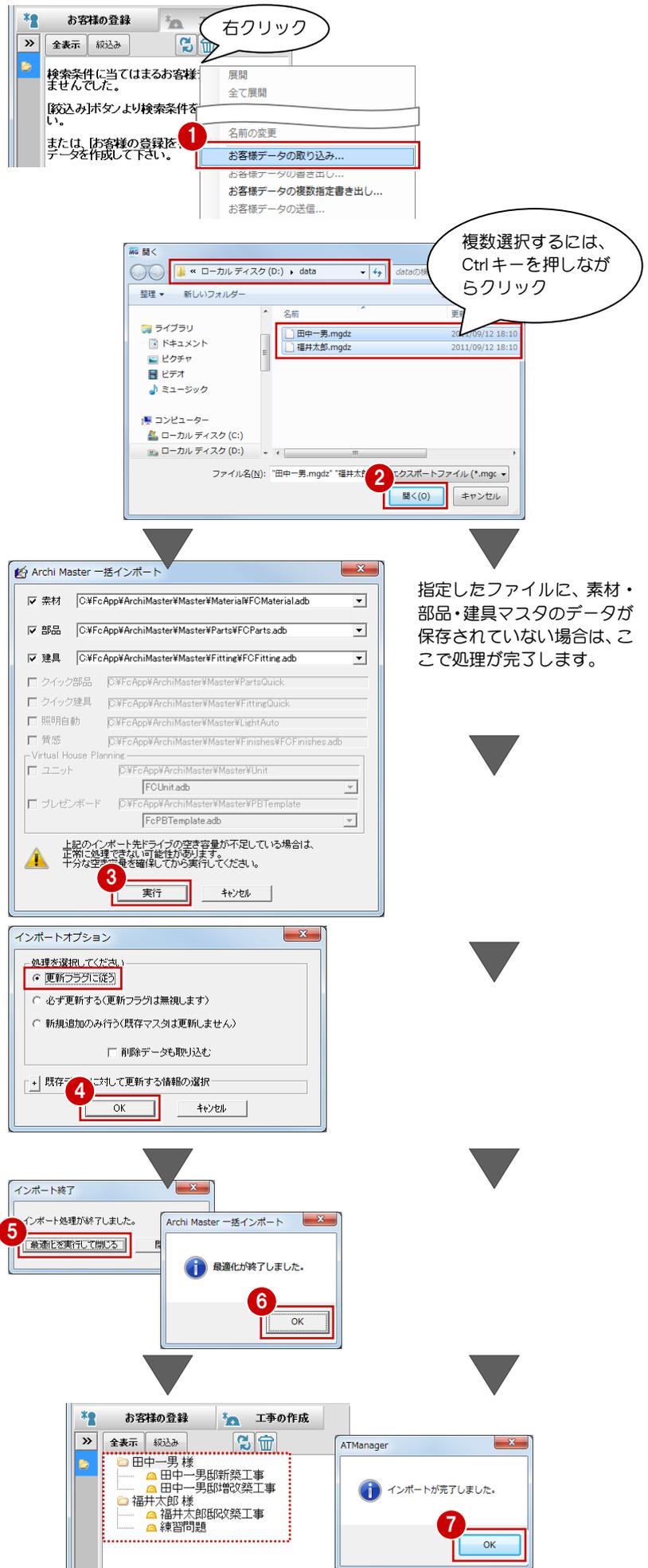
- 1 [お客様・工事一覧] で右クリックして、[お客様データの取り込み] を選びます。
- 2 [開く] ダイアログで、ファイルの場所と取り込む mgdz ファイルを選択して、[開く] をクリックします（複数選択可）。取り込みが始まります。

同じお客様データが存在する場合

現在使用しているお客様データフォルダに同じお客様データが存在する場合は、[開く] をクリックした後、確認画面が表示されます。現在のお客様データに上書きする場合は [はい] を、お客様の名前の末尾に連番 (1) (2) (3) ... を付けて別のお客様データとして取り込むには [いいえ] を選びます。



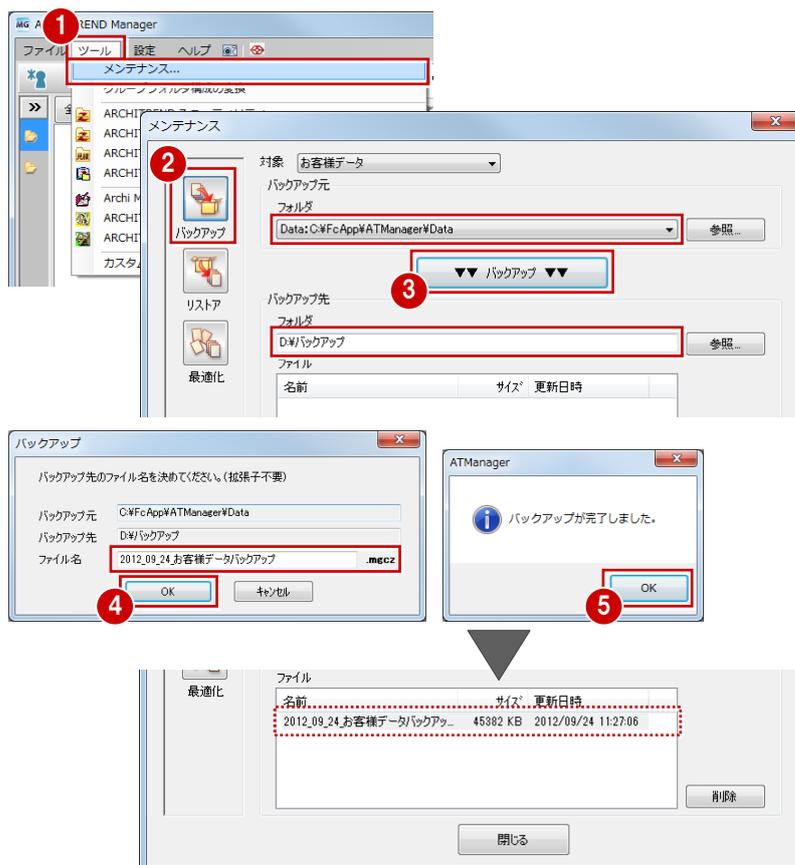
- 3 指定したファイルに素材・部品・建具マスタのデータが保存されている場合は、続けてマスタのインポート画面が表示されるので、[実行] をクリックします。
 - 4 続けて、[インポートオプション] ダイアログが開くので、[更新フラグに従う] が選択されていることを確認して、[OK] をクリックします。
 - 5 インポート終了の確認画面で [最適化を 実行して閉じる] をクリックします。
 - 6 最適化終了の確認画面で [OK] をクリックします。
 - 7 完了の確認画面で [OK] をクリックします。
- [お客様・工事一覧] に、取り込んだお客様データが表示されます。



C データフォルダ全体をバックアップする場合

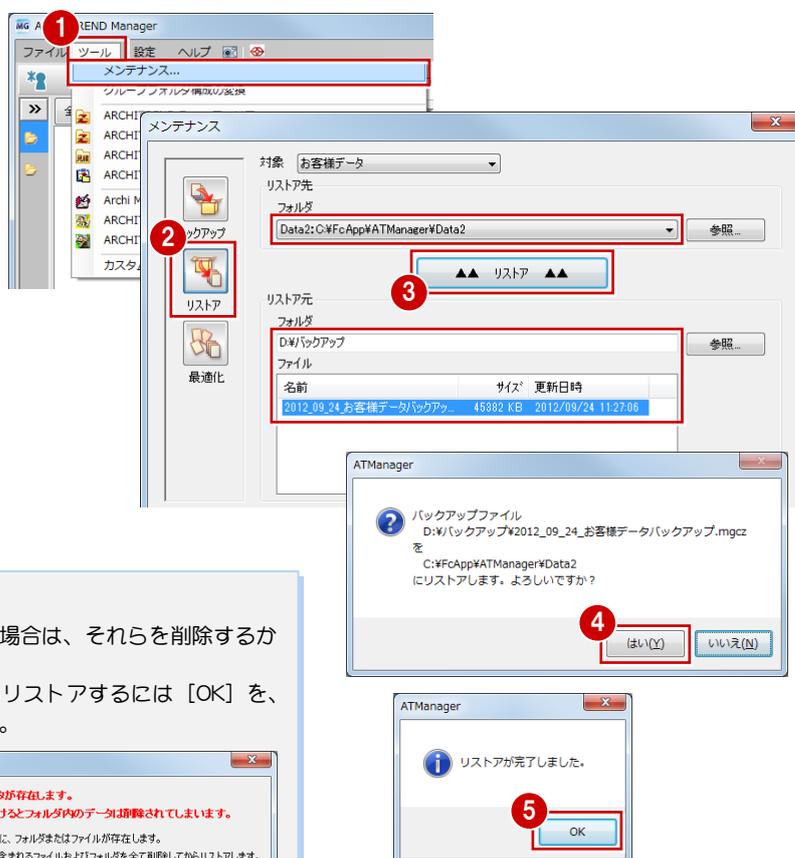
データフォルダをバックアップする

- 1 [ツール] メニューから [メンテナンス] を選びます。
- 2 [メンテナンス] ダイアログで [バックアップ] をクリックします。
- 3 バックアップするデータフォルダと保存先を設定して、[▼▼バックアップ▼▼] をクリックします。
- 4 バックアップファイルのファイル名を確認して、[OK] をクリックします。処理が始まります。
- 5 完了の確認画面で [OK] をクリックします。



データフォルダをリストアする

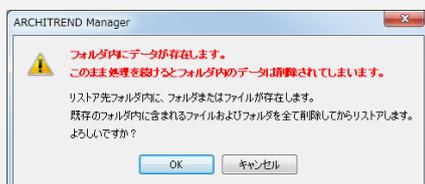
- 1 [ツール] メニューから [メンテナンス] を選びます。
- 2 [メンテナンス] ダイアログで [リストア] をクリックします。
- 3 リストア先のフォルダとリストアするデータを設定して、[▲▲リストア▲▲] をクリックします。
- 4 確認画面で [はい] をクリックします。処理が始まります。
- 5 完了の確認画面で [OK] をクリックします。



注意：リストア先にファイルが存在すると

リストア先のフォルダにファイルやフォルダが存在する場合は、それらを削除するかどうかの確認画面が表示されます。フォルダ内のファイルやフォルダをすべて削除してからリストアするには [OK] を、リストア先を変更するには [キャンセル] を選択します。

既存のお客様データフォルダをリストア先に指定した場合、[OK] をクリックするとそのフォルダに保存されているお客様データはすべて消えますのでご注意ください。



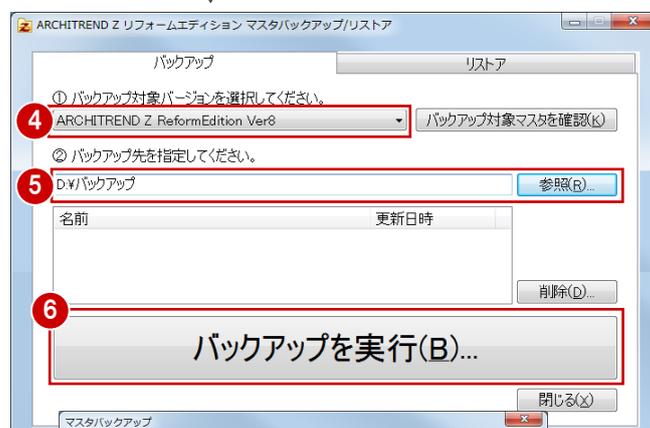
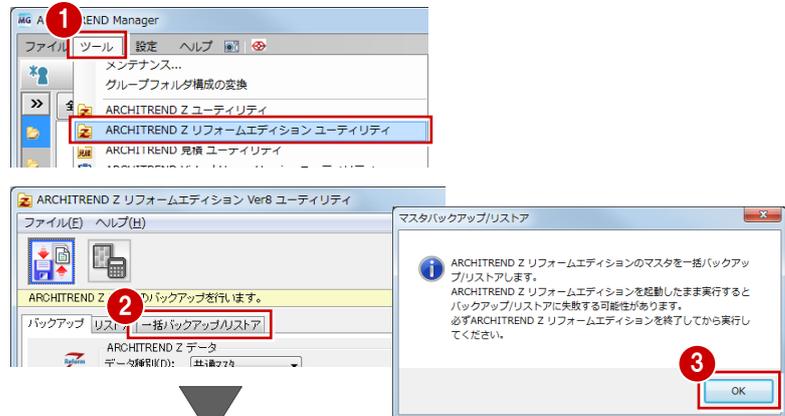
3-4 マスタをバックアップ・リストアするには

リフォームエディションで使用している物件マスタなど各種マスタのバックアップ、リストアは、ARCHITREND Z リフォームエディション ユーティリティで行います。

ここでは、すべてのマスタを一括してバックアップする操作を解説します。

マスタを一括バックアップする

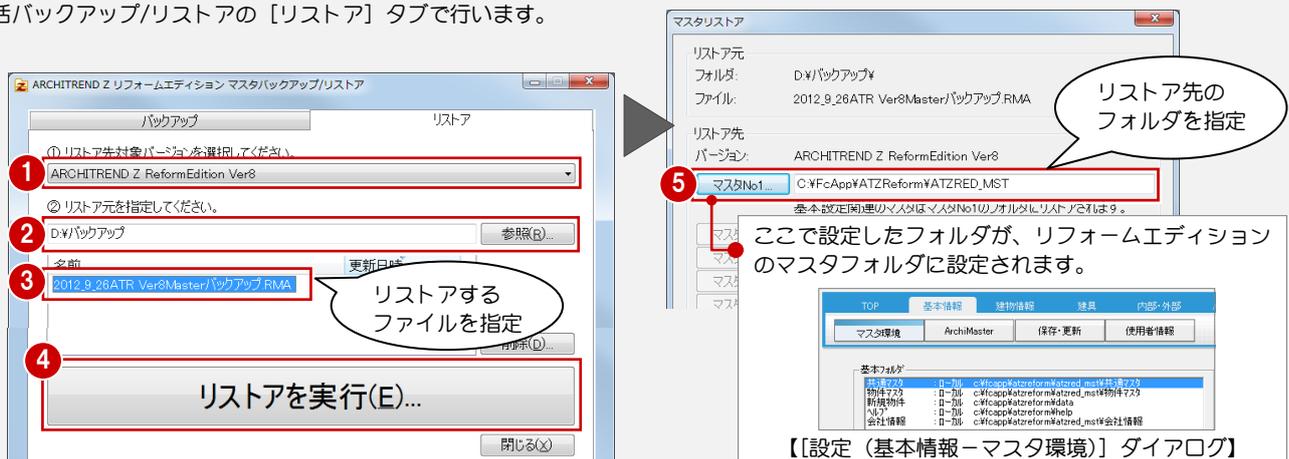
- 1 [ツール] メニューから [ARCHITREND Z リフォームエディション ユーティリティ] を選びます。
- 2 [一括バックアップ/リストア] タブをクリックします。
- 3 確認画面で [OK] をクリックします。
- 4 [バックアップ] タブでバックアップ対象のバージョンを選びます。
- 5 [参照] でバックアップ先のフォルダを設定します。
- 6 [バックアップを実行] をクリックします。
- 7 バックアップのファイル名を入力して、[OK] をクリックします。
バックアップが開始されます。
- 8 確認画面で [OK] をクリックします。



個別にマスタをバックアップするには物件マスタのみをバックアップしたいというように、個別にマスタをバックアップ (リストア) したい場合は、ユーティリティの [バックアップ] ([リストア]) タブで行います。



一括バックアップしたファイルのマスタを一括してリストアするには一括バックアップ/リストアの [リストア] タブで行います。



Memo
